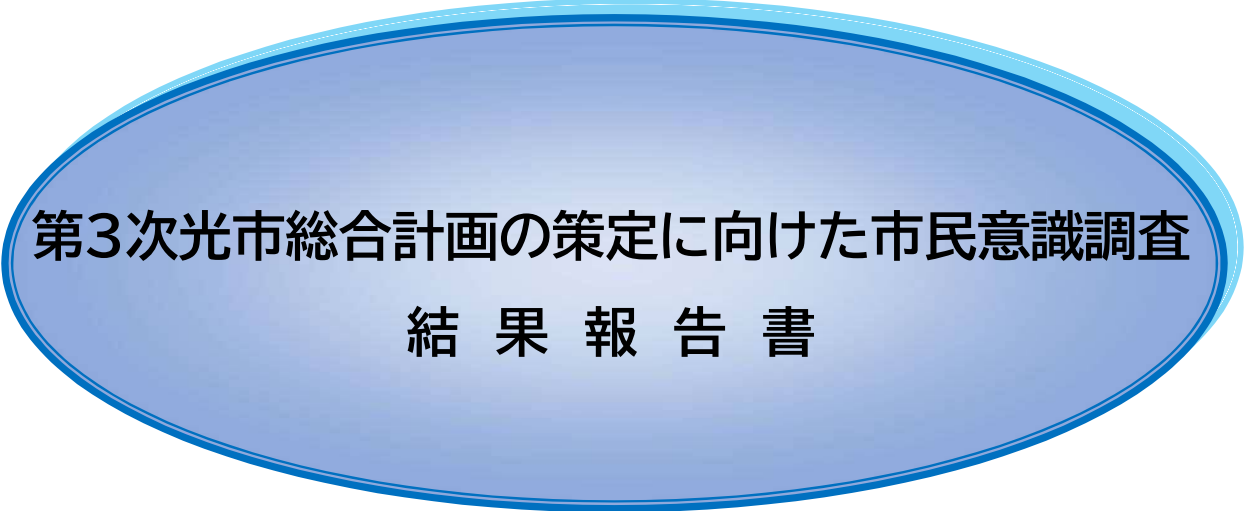


A blue oval graphic with a gradient from light blue to a darker blue, featuring a thin white border and a slight 3D effect.

第3次光市総合計画の策定に向けた市民意識調査 結 果 報 告 書

令和3年6月

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の実施方法	1
3	地域別の集計について	2
II	市民調査結果	3
1	あなた（回答者）ご自身について	3
2	3つの都市宣言について	7
3	行財政運営について	29
4	分野別の目標について	37
5	社会情勢の変化への対応について	55
6	「ゆたかな社会」の実現に向けて	63
III	転出者調査結果	71
1	あなた（回答者）ご自身について	71
2	現在お住まいの場所について	73
3	光市について	78
IV	【参考】第3次光市総合計画の策定に向けた市民意識調査 調査票	93
1	市民調査【調査票】	93
2	転出者調査【調査票】	105

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和4年度から令和8年度までの基本的な方向性を示す「第3次光市総合計画」の策定にあたって、まちづくりに対する市民や転出者の意識を把握し、総合計画の策定・推進の基礎資料とするために実施したものです。

2 調査の実施方法

区 分	市民調査	転出者調査
(1) 調査対象	16歳以上の市民2,500人を、住民基本台帳から無作為に抽出	平成29年4月から令和2年3月までに光市から転出した16歳以上の転出者500人を、住民基本台帳から無作為に抽出
(2) 調査方法	郵送による配付・回収（無記名回答方式）	郵送による配付・回収（無記名回答方式）
(3) 調査期間	令和2年11月18日～12月2日	令和2年11月18日～12月2日
(4) 配付回収状況	配付数 2,500 有効配付数(A) 2,498 回収数(B) 1,508 回収率(B/A) 60.4%	配付数 500 有効配付数(A) 433 回収数(B) 176 回収率(B/A) 40.6%
(5) 調査項目	1 あなた（回答者）ご自身について 2 3つの都市宣言について 3 行財政運営について 4 分野別の目標について 5 社会情勢の変化への対応について 6 「ゆたかな社会」の実現に向けて	1 あなた（回答者）ご自身について 2 現在お住まいの場所について 3 光市について

3 地域別の集計について

本調査の集計にあたっては、全体集計に加えて地域別集計を行い、地域ごとのまちづくりに関する意識等を把握しました。

なお、地域の設定は、総合計画等で示す4つの地域（東部地域、西部地域、南部地域、北部地域）としました。



地域	
東部地域	岩田、三輪、塩田、東荷、岩田立野地区
西部地域	浅江、島田地区
南部地域	室積、光井地区
北部地域	三井、周防、上島田地区

《 結果のとりまとめにあたって 》

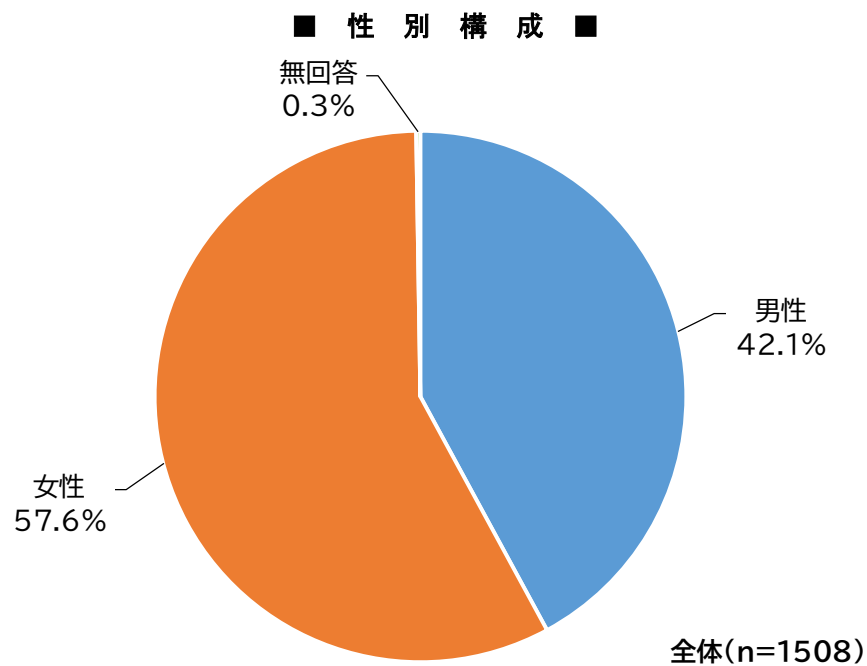
- 回答比率は、百分比のポイント以下2位を四捨五入していますので、合計は必ずしも100%にならないことがあります。
- 2つ以上の回答を求めた（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超えます。
- 図に表示された「n」は、回答者数を示しています。

Ⅱ 市民調査結果

1 あなた（回答者）ご自身について

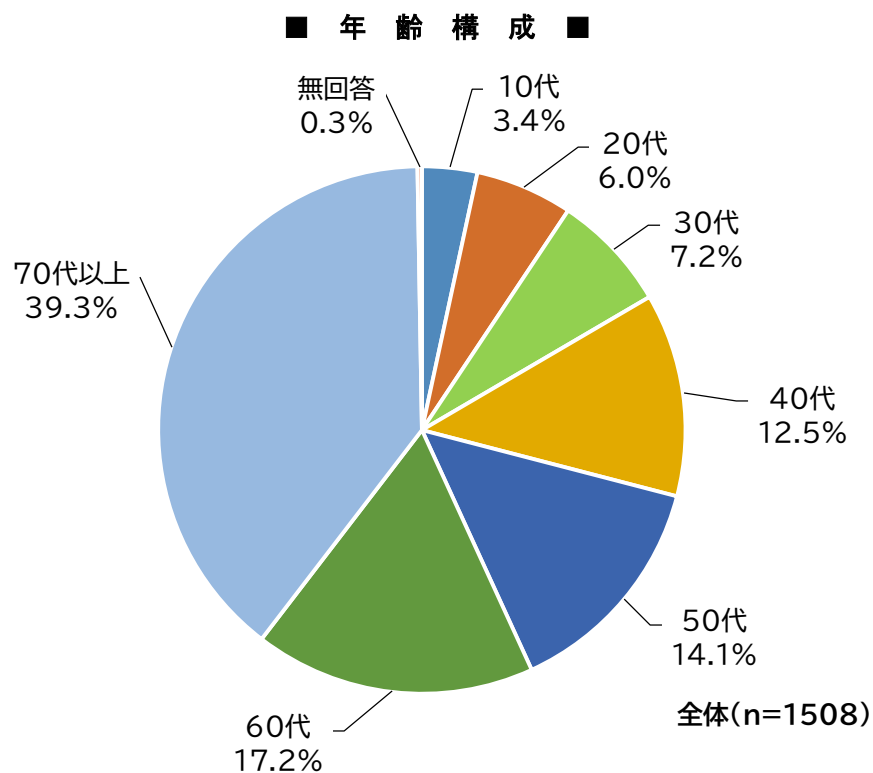
（１）性別（設問１）

男性が 42.1%、女性が 57.6%となっています。



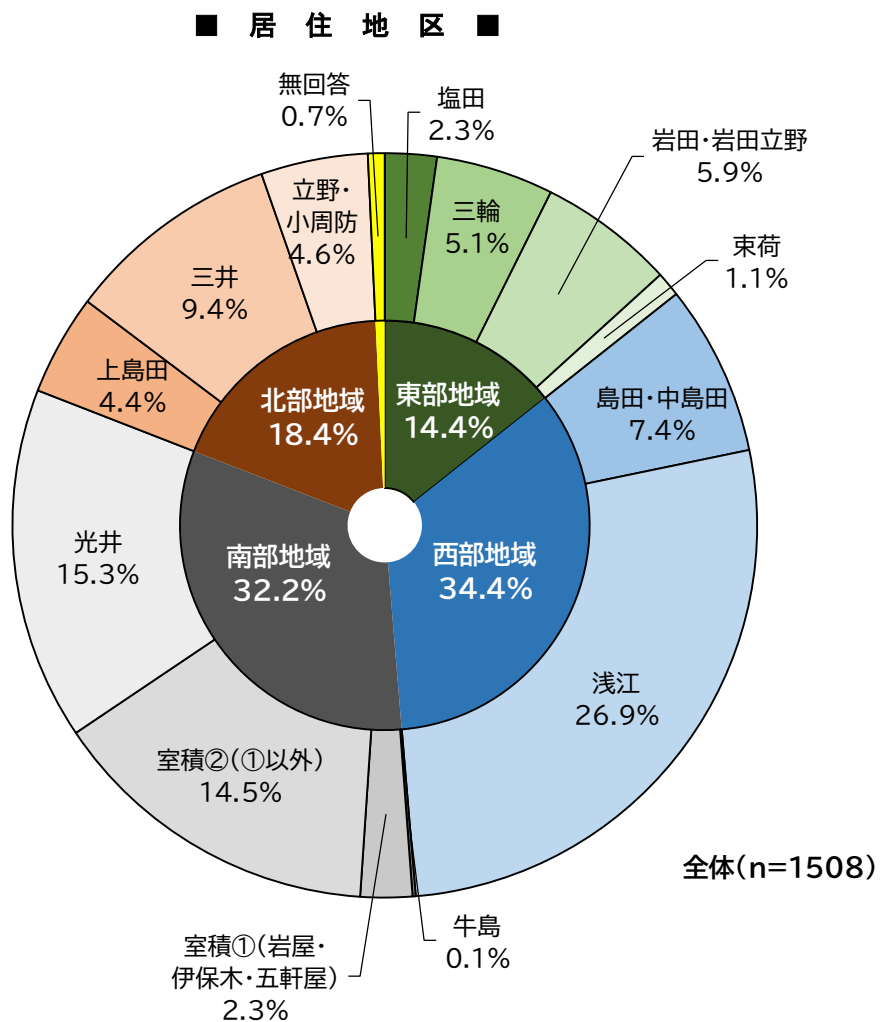
（２）年齢（設問２）

60代以上が 56.5%、30代以下が 16.6%と、高齢者の占める割合が高くなっています。



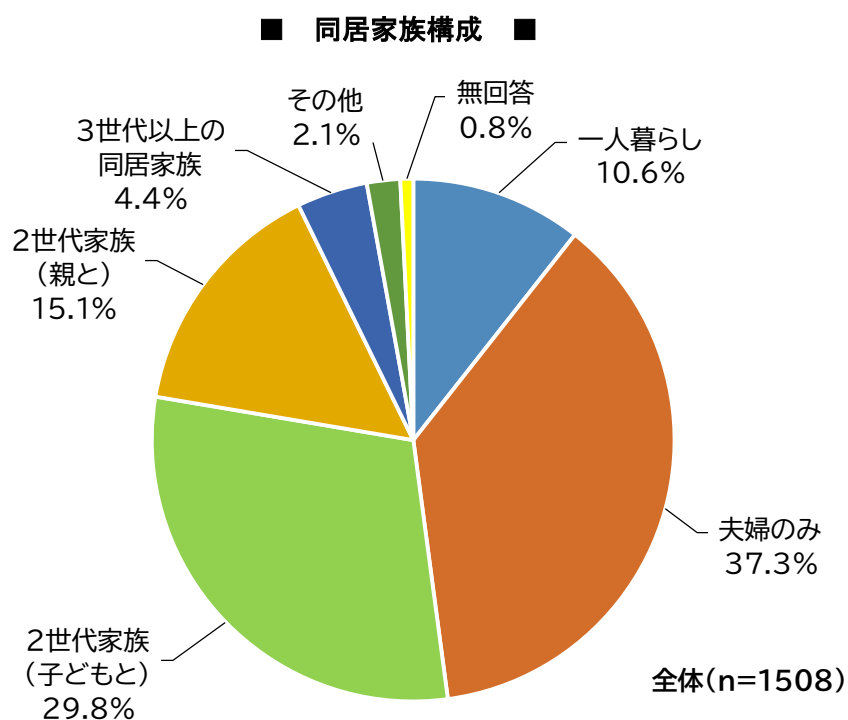
(3) 居住地区（設問3）

地域別では、西部地域が34.4%、次いで南部地域が32.2%、北部地域が18.4%、東部地域が14.4%となっています。また、地区別では、浅江地区が26.9%、光井地区が15.3%、室積②（①以外）地区が14.5%と多くなっています。



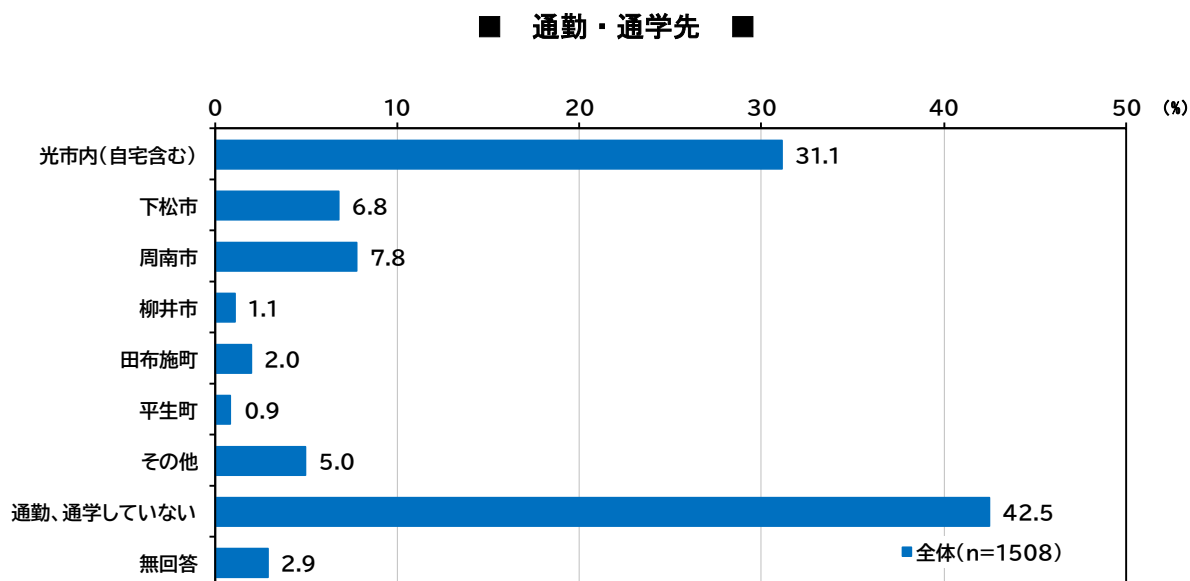
(4) 同居家族（設問4）

一人暮らしや夫婦のみの世帯を合わせると 47.9%、約半数を占めています。また、3 世代以上の同居家族は 4.4%となっています。



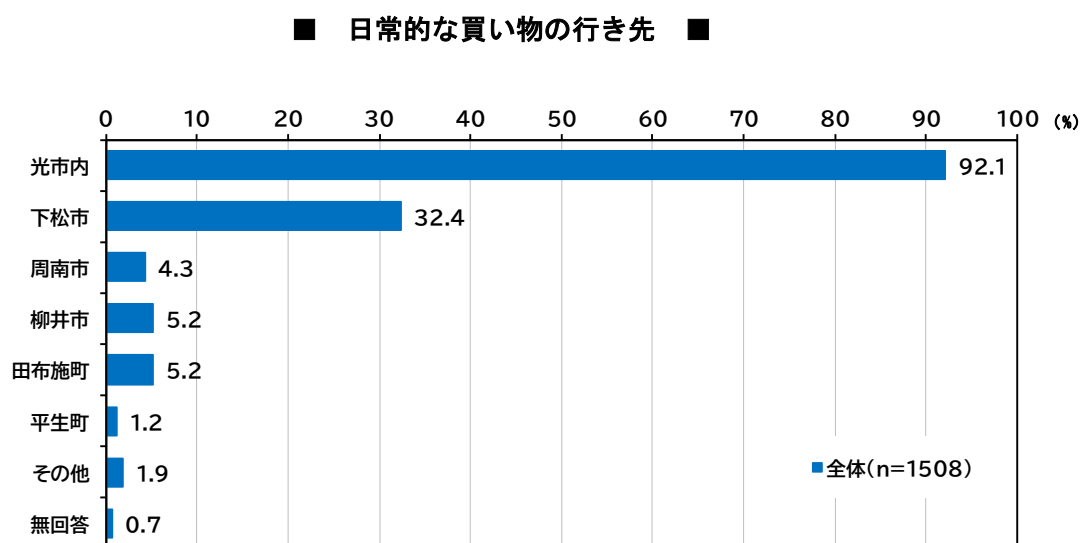
(5) 通勤・通学先（設問5）

光市内が 31.1%と多く、次いで周南市が 7.8%、下松市が 6.8%となっています。また、通勤・通学をしている人のうち、約 6 割が市内、約 4 割が市外となっています。



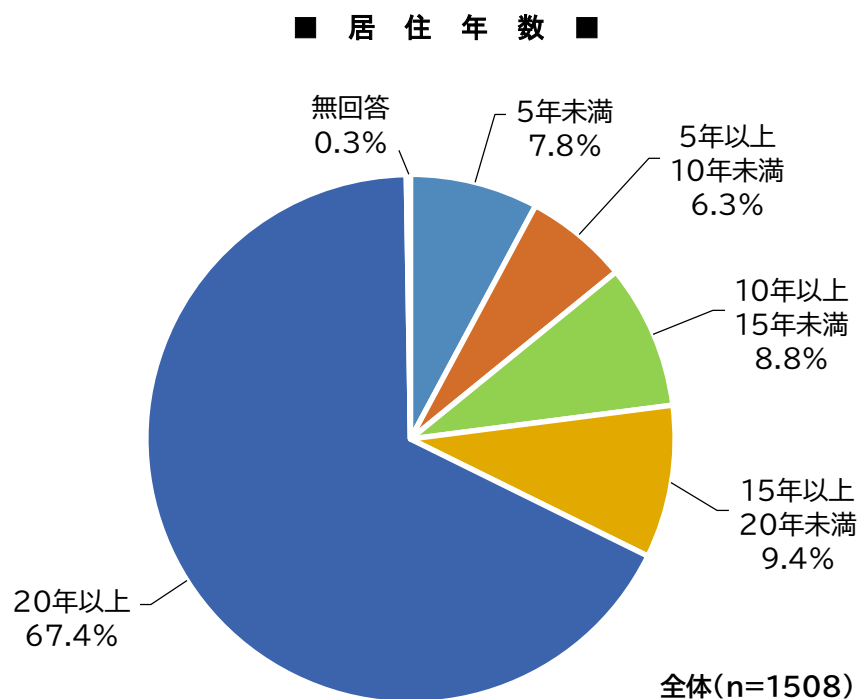
（６）日常的な買い物先（設問６） 〈複数回答（２つまで）〉

光市内が 92.1%と多く、次いで下松市が 32.4%と特に多くなっており、次いで柳井市と田布施町が 5.2%、周南市が 4.3%となっています。



（７）居住年数（設問７）

20 年以上が 67.4%、また、10 年以上の人を合わせると 85.6%と、本市に長期にわたって居住する人の割合が高くなっています。



2 3つの都市宣言について

(1) 「おっぱい都市宣言」に基づくまちづくりについて（設問8、設問8－1）

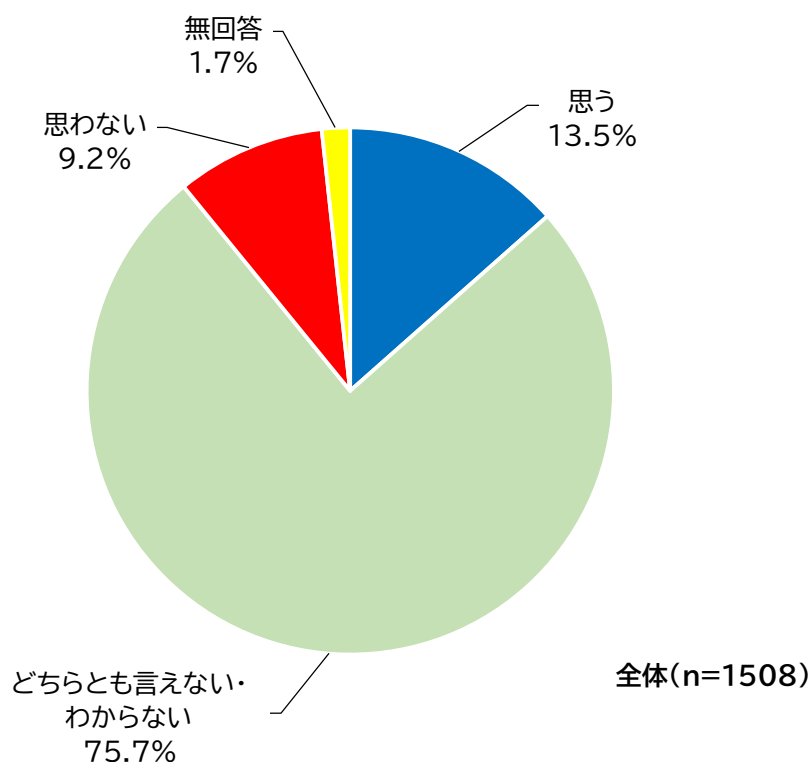
ア 「おっぱい都市宣言」に対する意識（実感度）

「おっぱい都市宣言」に基づくまちづくりが進められていると思うかという問いに対して、「思う」が13.5%、「どちらとも言えない・わからない」が75.7%、「思わない」が9.2%となっています。

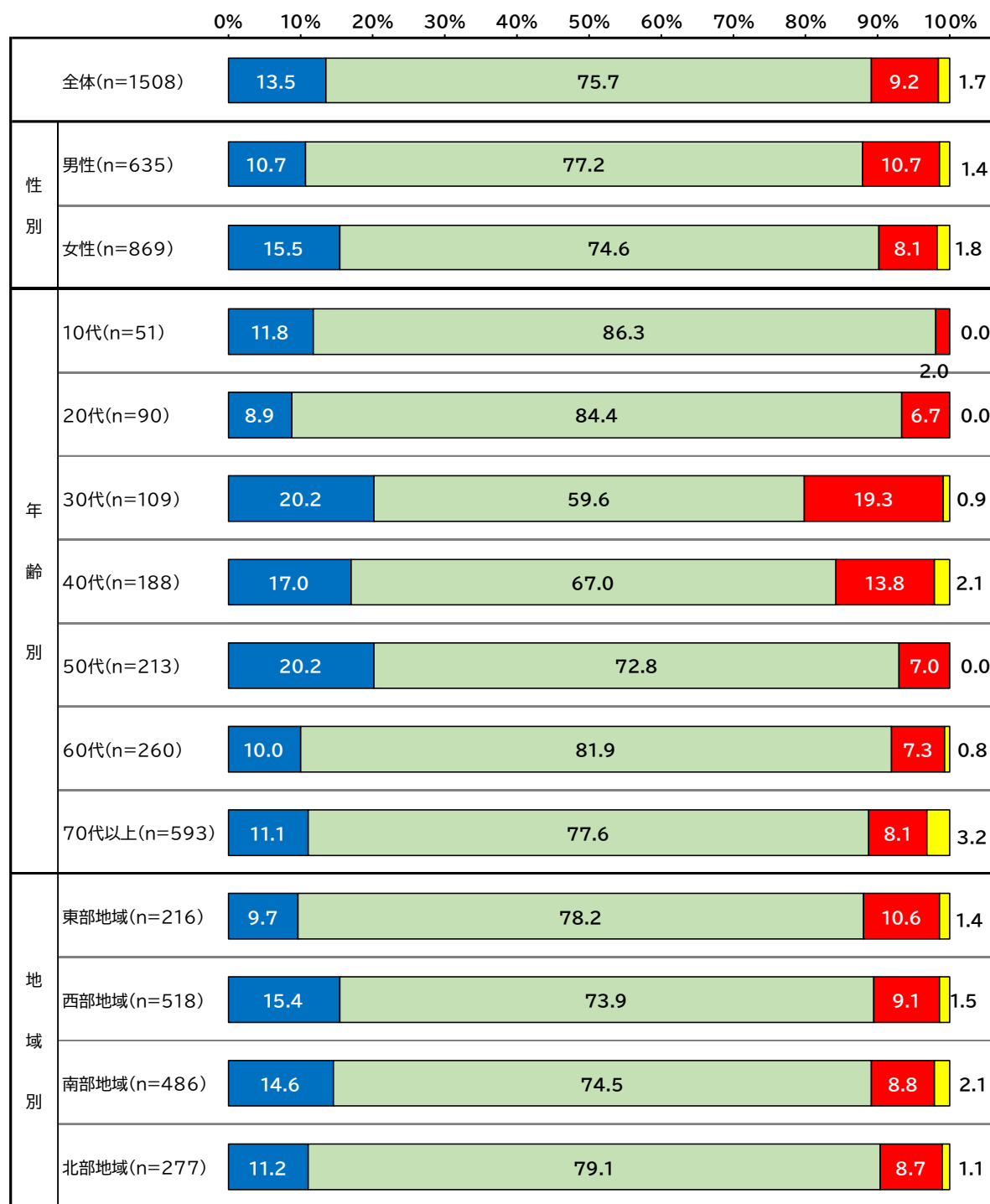
【属性別特徴】

- 性別にみると、「思う」において女性の方が多くなっています。
- 年齢別にみると、「思う」において30代と50代が多く、20代が最も少なくなっています。また、「思わない」において30代が多くなっており、「思う」の割合と拮抗しています。
- 地域別にみると、「思う」において西部地域と南部地域が多く、東部地域が少なくなっています。

設問8 「おっぱい都市宣言」に基づくまちづくりが進められていると思いますか？
<1つだけに○印>



■ 属性別にみた「おっばい都市宣言」に対する意識（実感度） ■



■ 思う ■ どちらとも言えない・わからない ■ 思わない ■ 無回答

イ 「おっぱい都市宣言」に基づくまちづくりが進められていると思う理由・思わない理由

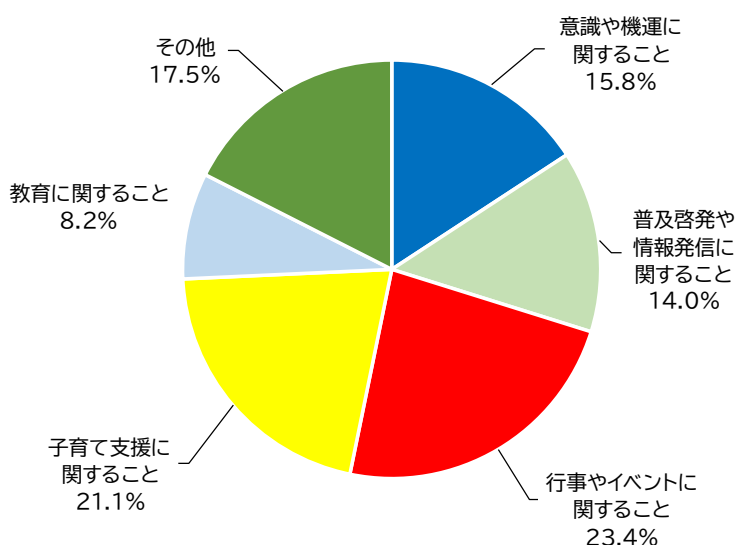
① 思う理由

「おっぱい都市宣言」に基づくまちづくりが進められていると思う理由としては、168 人から 171 件の具体的な理由をいただきました。内容の内訳と主な理由は下記のとおりです。

設問 8-1 設問 8 で回答した理由を教えてください。〈ご自由に記入してください〉

【内容の内訳】

		件数 (件)	割合 (%)
意識や機運に関すること		27	15.8
普及啓発や情報発信に関すること		24	14.0
市民 や 地 域 の 活 動	行事やイベントに関すること	40	23.4
	子育て支援に関すること	36	21.1
	教育に関すること	14	8.2
	その他	30	17.5
合 計		171	100.0



【主な理由】

《意識や機運に関すること》

- 「おっぱい都市宣言」は、子どもと触れ合うことが多いと思うので、まちに活気が出る。
- おっぱいまつりの開催や、まちぐるみで子育て応援することを考えている。
- お母さん、お父さんをみんなで応援し、愛情豊かな光市であり続けたらよいと思う。
- 大切な子育ての第一歩としてのきっかけとなり住みやすいまちに続くことだと思う。
- とても良いことと思う。地域の人みんなで進め、応援したいと思う。
- 近年の少子化社会においても、毎年盛大に「おっぱいまつり」を開催して、その意義を広めていると思う。
- 光市と言えば、おっぱい都市と昔から思われている。地域の人たちとのふれあいがあった。
- 行政が先頭に立ち、市民（若い世代）が積極的に参加しているように思う。
- 子どもが孫を産み、光市の運動の一貫性が分かった。
- 実際に自分が出産し、病院などで育児指導を受ける中で、そのように感じた。
- 親子の絆を思えば、とても良いことだと思う。
- 大変立派なことと思う。現在、未来のため益々の発展と活躍を祈る。家庭でも地域の人々を支え

合う愛が大切と思う。

- 父母、近所、地域みんなが子どもを育てようという都市宣言は、とても良いことだ。

《普及啓発や情報に関すること》

- 「おっぱい都市宣言」は他市にない取組みだと思う。強力で押し進めて魅力ある光市にしてほしい。
- PRが浸透していると思う。
- 「おっぱいまつり」や、父親の育児参加のリーフレット等、おっぱい都市としての発信はしていると思う。
- ポスターなどで「おっぱい都市宣言」という文字を見かける。
- よく耳にするし、本気で関わっている人を知っているから。
- 「広報ひかり」、近くの病院などで盛んに推進活動が行われている。
- 産婦人科病院等での宣伝効果が大きいと思うから。
- 全国的にも有名。子育てにはとても必要だと思う。
- 毎年あいぱーく光で「おっぱいまつり」の開催があり、市内外にも知らされている。

《行事やイベントに関すること》

- 「おっぱいまつり」などで県外の方にも知られている。
- 「おっぱいまつり」の開催、母親教室、あいぱーく光の遊び場などあるから。
- 「おっぱいまつり」や「パパも出番ですよ！事業」など行事が活発。
- コミュニティの行事などたくさんあり、地域の皆さんとの交流ができ、子育てしやすい。
- 現在妊娠中なのでサークルなどあるところ。
- 産婦人科を筆頭に、光市全体で催し物を通じて市民に根付いていると思う。
- 子どもが市のイベントに参加できて、とても楽しんでいる。
- 子どもが赤ちゃんの時に、イベントサークルに参加し、ママ友や知り合いがたくさんできた。
- 子どもと触れ合うイベントが他の市町村と比べて多いと思う。
- 私自身も地域の子どもを育てる会の会員であり、色々行事をし、子どもたちと触れ合い絆を深めている。
- 出産して母親教室に参加して、健康増進課の方にはよくして頂いた。
- 毎年あいぱーく光で「おっぱいまつり」が開催されているから。

《子育て支援に関すること》

- 産前産後のプレママ教室や家庭訪問、必要な時期に、その時の育児情報を頂けてとても助かる。
- あいぱーく光等で乳児健診等実施されている。
- チャイベビステーションでお世話になった。
- 育児支援が充実していると思うから。
- 子どもをもつ世帯への補助がしっかりしていると思うから。
- 子ども関係の福祉が充実していて、子育てがしやすいまちだと感じる。
- 子育て世帯への支援が充実していると思うから。
- 若いお母さんが子どもを育てるのにとても良い環境で、もっと子どもが増加するよう願っている。

- 孫を育てている娘を見て、しっかりとサポート、ふれあい場所等進められていると思う。妊娠、出産、育児への手厚い制度等。
- 母子保健推進員の方も協力されていていいと思う。
- 母子保健推進員さんやあいぱーく光等で子育てについて相談しやすい取組みがあり、心強い。

《教育に関すること》

- コミュニティ・スクールなど盛んに行われているように感じる。
- 小学校の学習の時からこの活動に参加したり、授業で学んだりしていたから。
- 小学児童下校時見守り活動の推進。未来のパパママ応援事業の実施。
- 小学生と地域のお年寄りの交流が盛ん。通学時の見守りや、お年寄りの学校行事の参加など。
- 地域の方、おやじ会の皆さんからたくさんの愛情を頂き、中学生では乳幼児とのふれあいで慈しむ体験をさせて頂いた。
- 中学生の時、子育てなどに関する体験を授業で体験したから。
- 中学生への出産、育児等の教育、啓発をするなど、若い世代への教育が行われている。
- 未来のパパママ応援事業など中学生から啓発しているから。

《その他》

- 昔と違い、地域の方々の応援も多く、色々な行事や勉強や運動のお手伝いなど地域ぐるみで子どもたちを育てている。
- 地域見守り隊の皆様が小学生の登下校を温かく見守り、地域ぐるみの愛情豊かなふれあいの子育てを感じる。
- 子育てしやすい環境だと思う。学校行事に地域の方も参加され、お世話になりまちの人にも子どもを育てられていると思う。
- 産婦人科の病院が2施設ある。出産は市内ではなかったけど、たくさんサポートして頂いた。
- 子どもに優しいから。色々な面で。
- 大きな産婦人科院が2つもあり、安心して出産ができる。
- 保育園やサンホームに待機児童がおらず、周辺の市町に比べ恵まれていると思う。

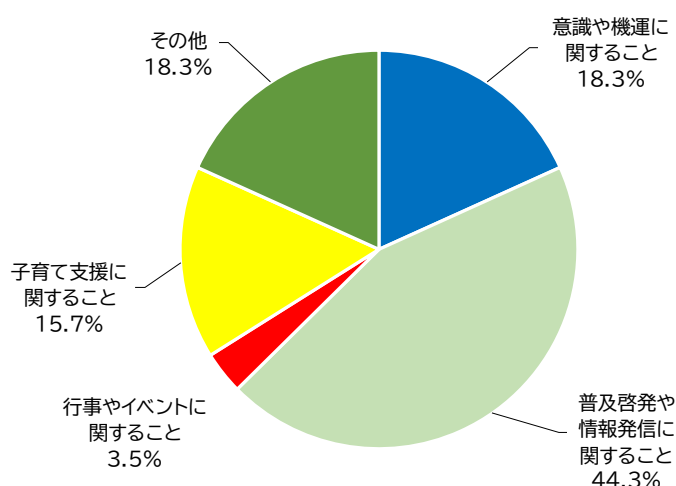
② 思わない理由

「おっぱい都市宣言」に基づくまちづくりが進められていると思わない理由としては、114 人から 115 件の具体的な理由をいただきました。内容の内訳と主な理由は下記のとおりです。

設問 8-1 設問 8 で回答した理由を教えてください。〈ご自由に記入してください〉

【内容の内訳】

		件数 (件)	割合 (%)
意識や機運に関すること		21	18.3
普及啓発や情報発信に関する こと		51	44.3
市民 活 や 地 域 の	行事やイベントに関する こと	4	3.5
	子育て支援に関する こと	18	15.7
	その他	21	18.3
合 計		115	100.0



【主な理由】

《意識や機運に関すること》

- これまで子育てにおいて、地域の方との関わりがほとんどなかった。
- 結局、他の市と何が違うのか、また、実感がない。
- 市民の意識が薄いと思う。
- 実際、子育てに特化した強みを感じられないから。
- 出産した頃は身近に感じていたが、今は関わることもない（子育てが終わっているため）ので、意識したことはない。また、宣言と言われても実感はない。
- 宣言したほどの成果は少ないように思える。
- 全体像と方向性、経過的、結果が見えない。
- 地域ぐるみでの子育ての推進が見受けられない、行われているにしても明確でない。

《普及啓発や情報に関すること》

- 「おっぱい都市宣言」を聞いたことがない。
- あまり浸透していないように見える。
- はじめて宣言の内容を知った。おっぱい＝母乳なので、乳幼児を大切に育てる意味だと思っていた。

- 具体的にどのようなことをされているのかを知らないから。
- 継続的に宣伝されていないので、周知されていないと思う。
- 光市にきた時や子育て時代は少し感じたが、今は進められている実感がない。
- 宣言した当初はメディアに取り上げられたりして目に付いていたが、最近は「おっぴまつり」以外で目にすることが少ない気がする。
- 地域の子どもと一緒に過ごす催し物、ボランティア等があるのかも分からない。もう少し発信してほしい。ネーミングも古くさい気がする。

《行事やイベントに関すること》

- 実感がないため。大きな催し物がないため。
- あいぱく光でもイベントは毎年開催されているが、それ以外はさほど耳にしないし、目にしない。
- この宣言が始まった頃は、イベント等も盛んにあったような気がするが、私の子どもたちも大人になり、子育てを終えてしまったのもあるのかもしれない。
- 経験豊かな高齢者をもっと都市宣言に参加させよう。壁が高い。

《子育て支援に関すること》

- 「おっぴ都市宣言」に繋がる子どものための公園、遊び場が少なすぎる。子どもたちの発表する場。習い事や特技他。
- おっぴ都市と言うわりには、子育てに対する支援が特化しているとは思えない。
- 最近の家はほとんどが共働き、もしくはパートという家が多く、父親の育児必須ですので、もっと父親と子どもの触れ合える場が多くなると、祖父、祖母にしか負担がいきません。父親と子ども参加の遊び場など、充実した子育て支援を望む。
- 子どもの医療費などがかかるから。もう少し子育ての負担が減ったらよいと思う。
- 子育てにおいてサポートしてもらっている実感がなかった。
- 少しの間、子どもを預ける施設もなく、不便に感じている。子ども行事が下松市などに比べ、すごく少ないと思う。
- 特に子育てしやすい市だという実感がない。医療費もやっと未就学児に福祉医療費受給者証が配布されたが、義務教育中も医療費の負担をなくしてほしい。
- 乳幼児と遊べる所が少ない（室内）。公園も小さな所しかない。全体的に下松の方が子育てしやすい。

《その他》

- 赤ちゃんの間のことはよく考えられているけど、小学生などが遊ぶ大きな遊具の充実した公園もないし、水泳教室などお稽古も次々なくなり、身体を動かす機会、場がない。
- 子どもがいないのでよくわからない。
- 子どものいる家庭のためのまちづくりを象徴している。独身の方には絆やふれあいを実感することがないので、全ての人の中には入らない。
- 人口の減少に歯止めがかからないから。
- 老人が増して若者が少なくなるから。

(2) 「自然敬愛都市宣言」に基づくまちづくりについて（設問9、設問9－1）

ア 「自然敬愛都市宣言」に対する意識（実感度）

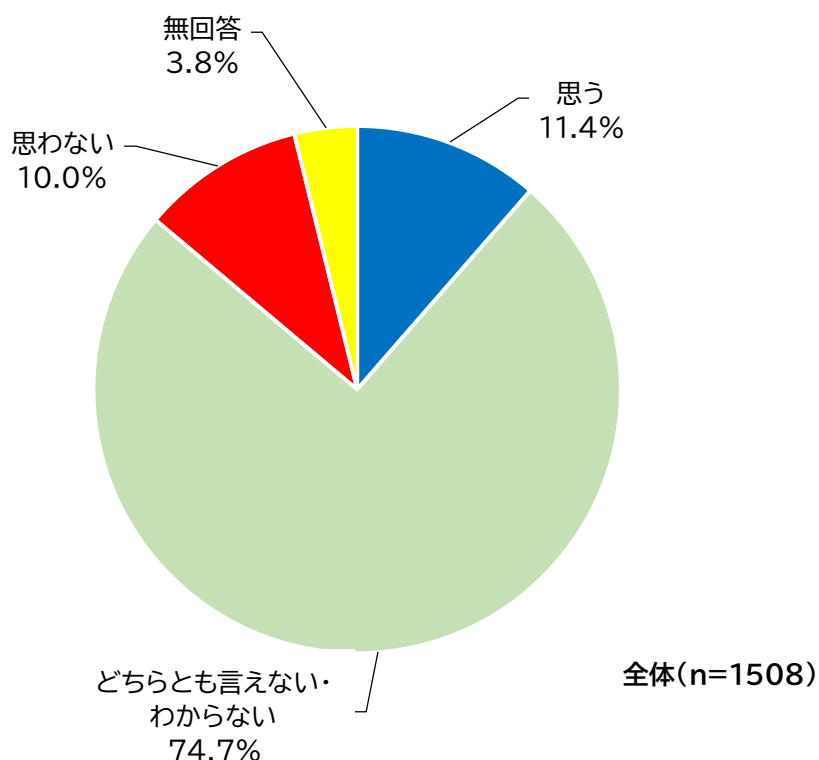
「自然敬愛都市宣言」に基づくまちづくりが進められていると思うかという問いに対して、「思う」が11.4%、「どちらとも言えない・わからない」が74.7%、「思わない」が10.0%となっています。

【属性別特徴】

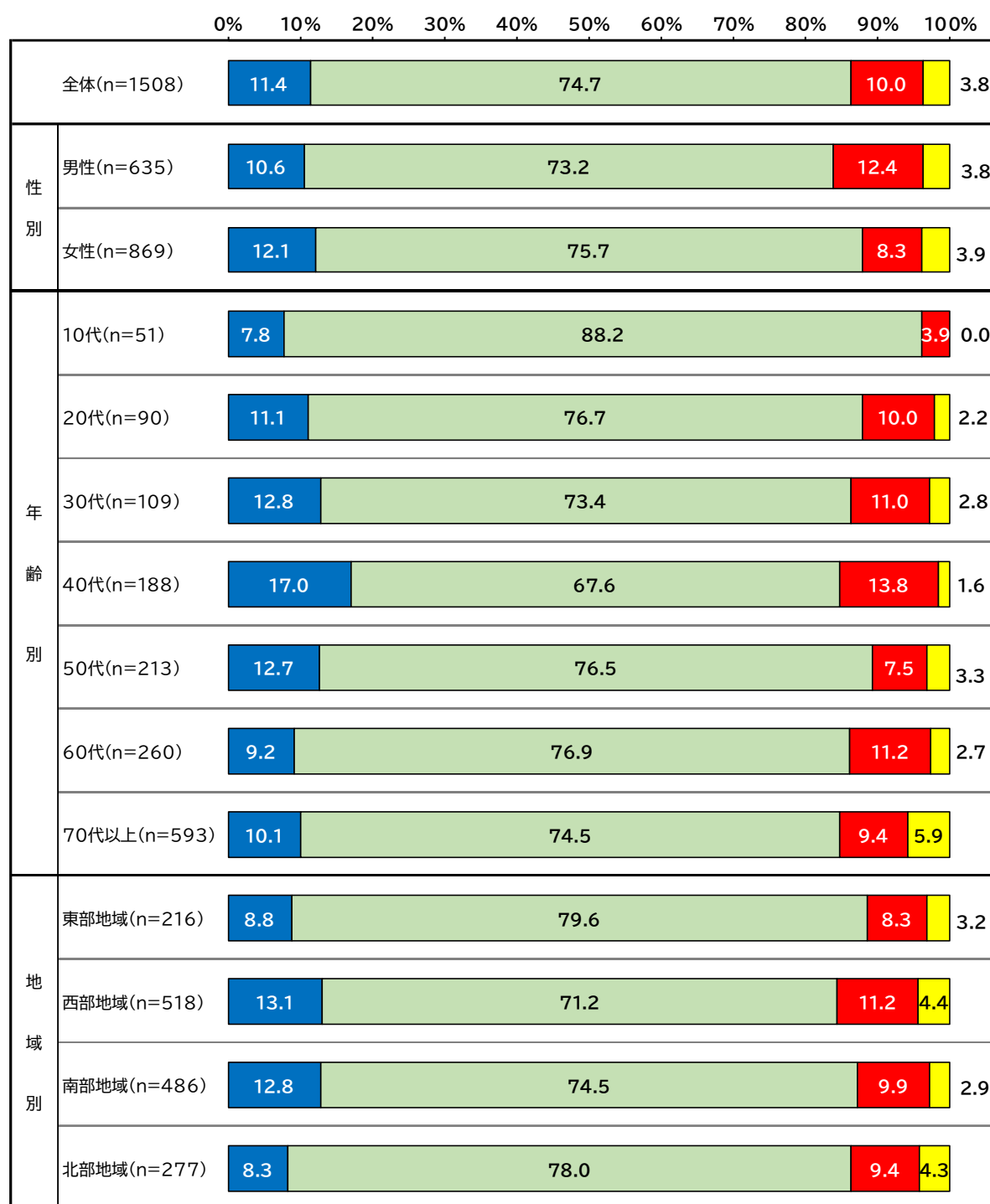
- 性別にみると、「思う」において差はあまりありませんが、「思わない」において男性の方が女性よりも少し多くなっています。
- 年齢別にみると、「思う」において40代が最も多くなっていますが、「思わない」においても40代が最も多くなっています。
- 地域別にみると、「思う」において西部地域、南部地域が10%を上回り、東部地域と北部地域が10%を下回っています。

設問9 「自然敬愛都市宣言」に基づくまちづくりが進められていると思いますか？

<1つだけに○印>



■ 属性別にみた「自然敬愛都市宣言」に対する意識（実感度） ■



■ 思う ■ どちらとも言えない・わからない ■ 思わない ■ 無回答

イ 「自然敬愛都市宣言」に基づくまちづくりが進められていると思う理由・思わない理由

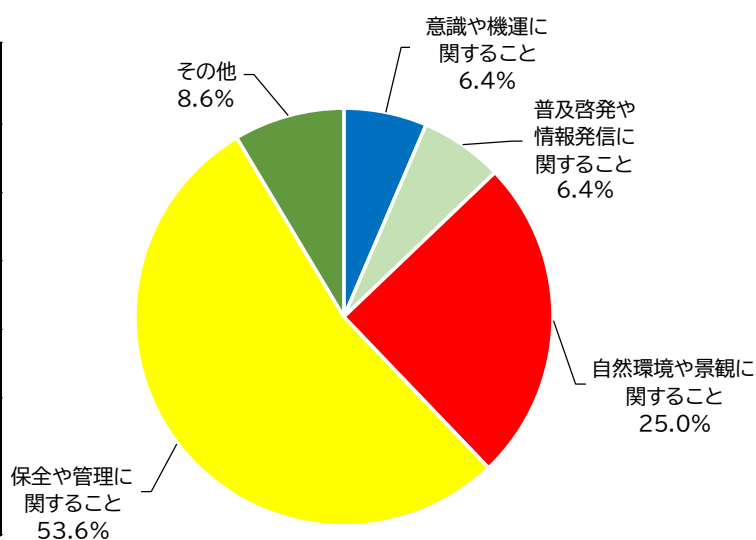
① 思う理由

「自然敬愛都市宣言」に基づくまちづくりが進められていると思う理由としては、140 人から 140 件の具体的な理由をいただきました。内容の内訳と主な理由は下記のとおりです。

設問 9-1 設問9で回答した理由を教えてください。<ご自由に記入してください>

【内容の内訳】

	件数 (件)	割合 (%)
意識や機運に関すること	9	6.4
普及啓発や情報発信に関すること	9	6.4
市民 活 動 地 域 の		
自然環境や景観に関すること	35	25.0
保全や管理に関すること	75	53.6
その他	12	8.6
合 計	140	100.0



【主な理由】

《意識や機運に関すること》

- 山、川、海と素晴らしい自然に対して、敬愛の心を持って、保全や創造、再生に取り組み、市民みんなで心豊かな社会発展に努めよう。
- 四季の変化に気づいたり、心豊かに自然に目を向けて過ごせる光市の環境はとても大切。自然が教えてくれることが人格づくりにも繋がります。長く続いた花壇コンクール、まちのいろんな場所に広がっていた花壇、今思えば心が癒やされる場所だった。
- 自然に親しむ施設が多くあるため、宣言が実行されていると思う。
- 自然を大切にしていることが分かる。
- 自然環境を大切にすることで私たちは心豊かになるし、後世にも残したいと思うから。
- やはり、地域の意識は高いと思う。色々な活動グループが多いと思いました。

《普及啓発や情報に関すること》

- 光市の自然の良さがアピールされているから。
- 光市は海（虹ヶ浜海水浴場他室積の方）がとても美しく、県外にも、もっとPRして頂きたい。

海、山は本当に自然の宝と感じ、光市の誇り。

- 瀬戸内海国立公園を大切にしているから。また、花火大会等、海の行事で、その魅力をアピールしているから。
- 毎月市の広報で情報が入る。色々な活動をしているようだ。

《自然環境や景観に関すること》

- きれいな海や山が維持されていて、心地よく自然を愛する心が育まれる。
- 海、山、川自然に恵まれた光市は日頃から身近に感じ、生活の中で自治会を通じて自然敬愛の活動にも参加している。
- 海や梅など自然が大切にされているから。
- 光は白砂青松に恵まれ、海、山も緑いっぱいのまちです。今後もこの環境を維持していきたい。
- 光市は山、川、海がすぐ側にあり、美しい自然の広がり人間を育み癒やしにもなっている。
- 自然豊かなまちを守るため、色々な行事を行っている。花を植え、ごみをなくし、いつまでも美しいまちにしたい。
- 周囲を見回しても美しい環境づくりがされており、住民として住みよいまちづくりを感じる。
- 瀬戸の海岸線、松林、砂浜、電車から見る風景は素晴らしい。瀬戸風線完成を心待ちにしている。
- 島田川や海岸は本当に美しい眺めと思う。
- 虹ヶ浜在住ですが、毎日見ている虹ヶ浜の海岸の美しさには感動する。子どもの頃から見慣れた美しい景色は、それを維持する取組がしっかりなされているからだと思う。
- 日々の努力が海、山に行った時に感じられる。みんなの気持ちが自然を豊かにすると思う。
- 白砂青松の光市、市民の熱意が感じ取れる。

《保全や管理に関すること》

- クリーン光大作戦にみんなが参加しているから。
- クリーン光大作戦など自然を敬い共存する文化が根付いている。
- クリーン光大作戦で自然に対する敬愛をもつことができていると思う。
- クリーン光大作戦や海岸清掃など、地域ぐるみで小・中学校ともに活動をしている所は続けてほしい。
- 海岸の清掃や松林の保護を行っているから。
- 冠山総合公園が、とても手入れされ、素晴らしい。
- 光井川の草刈りなど常にボランティアの方々が美しくしているから。
- クリーン光大作戦などの活動を通して、市民のみんなで自然敬愛の活動ができているから。
- 自然環境はよく整備されていると思う。海がきれい。
- 定期的に松林の保護、花壇の手入れ、公園の清掃などされているから。
- 道路の横を見ると、良く花がきれいにしてある。クリーン光大作戦などあるから。
- 虹ヶ浜海岸や室積の松の管理をよくしている。冠山総合公園は四季折々素晴らしい。
- 海岸や公園など定期的に清掃活動に取り組み、市民に浸透していると思う。
- 海岸や島田川の清掃に力を入れている。
- 小さな頃から海岸清掃活動に参加することが多かったから。
- 緑や公園が多い。海や浜辺がきれいに清掃されている。

《その他》

- ごみの仕分けが進んでいると思うから。
- 高年齢なので参加できないが、広報等での若い人たちの活動を嬉しく思っている。
- 子ども向けで、桜や松など植物に触れる機会、イベントがある。

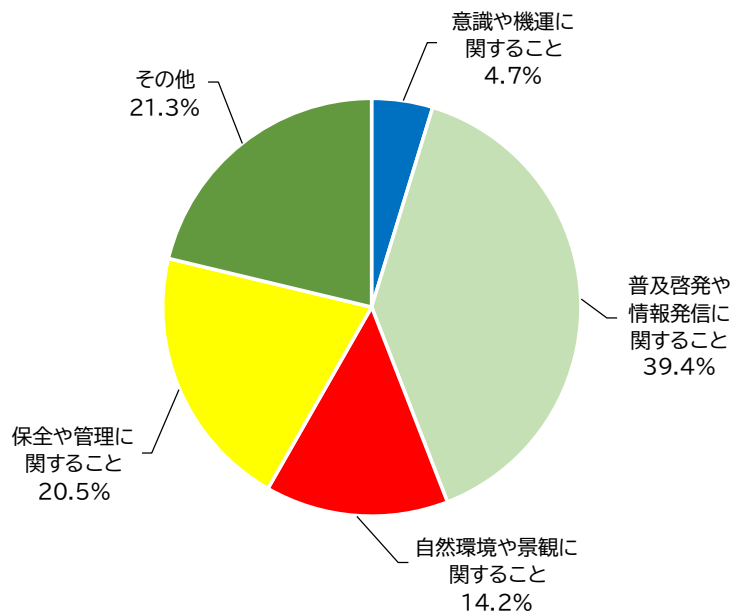
② 思わない理由

「自然敬愛都市宣言」に基づくまちづくりが進められていると思わない理由としては、120 人から 127 件の具体的な理由をいただきました。内容の内訳と主な理由は下記のとおりです。

設問 9-1 設問 9 で回答した理由を教えてください。〈ご自由に記入してください〉

【内容の内訳】

	件数 (件)	割合 (%)
意識や機運に関すること	6	4.7
普及啓発や情報発信に関すること	50	39.4
市民 活 や 動 地 域 の		
自然環境や景観に関すること	18	14.2
保全や管理に関すること	26	20.5
その他	27	21.3
合 計	127	100.0



【主な理由】

《意識や機運に関すること》

- 自然を愛することは心で思っているだけでは成り立たない。行動するには人材不足だと思う。
- 昔の方が自然と向き合っていたような気がする。10 年ぶりに帰って来たが、だいぶ変わっていると思う。
- 宣言するだけでなく、自然を散策する催しなど、市民が参加し、自然の素晴らしさを知り体験することが必要。
- 特に宣言したことにより、まちづくりが進められていることを感じない。

《普及啓発や情報に関すること》

- 「自然敬愛都市宣言」を初めて聞いた。
- イベントが少ないため。
- このアンケートをきっかけに初めて知った。生活の中で、「自然敬愛都市宣言」という言葉を目にすることがなく、実際、何の活動が行われているか知らないため。
- 具体的な活動がどう行われているのか知らない。
- 考えとしては素晴らしいと思うが、こちらの発信が薄い。具体的な活動についても、普段暮らしていて感じられない。
- 残念ながら具体的に感じられない。光市のトレードマーク松林をもっと大事にしてほしい。

- 市民に周知しているとは思えないし、活動内容が分からない。
- 進められていると思うが、成果が見えない。
- 浅江地区の取組は広報等でよく分かるが、他の地区の取組みは分からない。
- 虹ノ松原という美しい浜があるので、もっと内外にアピールしても良いのでは。
- 目に見えるような施策がない。
- 理解が浸透していないのではないか。

《自然環境や景観に関すること》

- 海や山がいっぱいある市だとは思いますが、宣言しているとは思わない。
- 貴重な財産である松原を大事にしていることはよく理解しているが、活用する工夫が必要。
- 山も海もあり、とても良い自然に囲まれているが、生かしていない。
- 自然を大切にするのも良いが、もう少し自然と触れ合うことのできる公園（環境）や設備（海の家的な）があるとより良いと思う。
- 身近に自然と触れ合える場所がない。海も山もあるのに光市にはアピールできる施設がない。遠方の孫が来ても行きたい場所がない。
- 段差がひどくなる砂浜。道路沿いの伸び放題の草木、整備して景観を良好にすれば、自然に対する敬愛の心が生まれるのではないか。
- 歩道、車道の雑草が背丈くらい繁茂し、景観が悪い。運転しにくい。

《保全や管理に関すること》

- 花壇の手入れ、草刈りなど十分でないと思う。
- 海岸が汚れている。
- 自然を大切にするのであれば、海岸線の草木の手入れも必要と思う。
- 草やごみが多すぎる。子どもの頃のように、海や山で自然を楽しむことができなくなっている（特に海）。
- 大和スポーツセンターの植樹は素晴らしいと思うが、光市の虹ヶ浜と海がもう少しきれいになるとよいと思う。
- 道路沿いの雑草が目につく。
- 遊歩道の整備不足。

《その他》

- リサイクル、リユースが少ない。
- 近隣の野焼きがひどい。あちこちで野焼きされていて、環境汚染している人々が多いと思う。
- ごみが捨てられている。
- 海、川を抱えた自然豊かな市でありながら、ごみ（ビニール、缶等）の放置が目立つ。自治会の清掃奉仕を10数年行っているが、一向にごみの減少が見られない。
- 虹ヶ浜周辺、ごみのポイ捨てがひどい。

(3) 「安全・安心都市宣言」に基づくまちづくりについて（設問 10、設問 10－1）

ア 「安全・安心都市宣言」に対する意識（実感度）

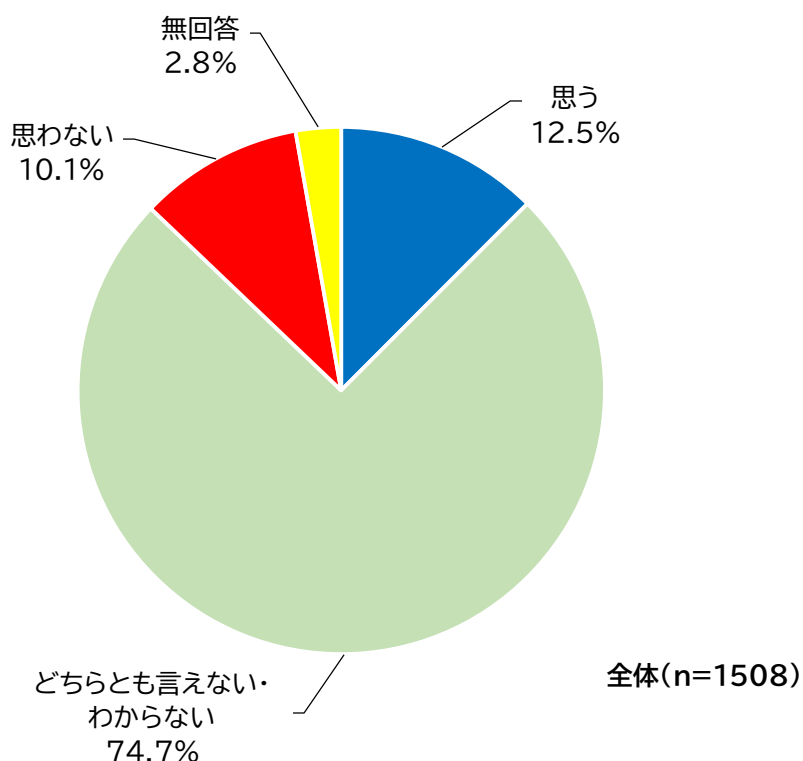
「安全・安心都市宣言」に基づくまちづくりが進められていると思うかという問いに対して、「思う」が 12.5%、「どちらとも言えない・わからない」が 74.7%、「思わない」が 10.1%となっています。

【属性別特徴】

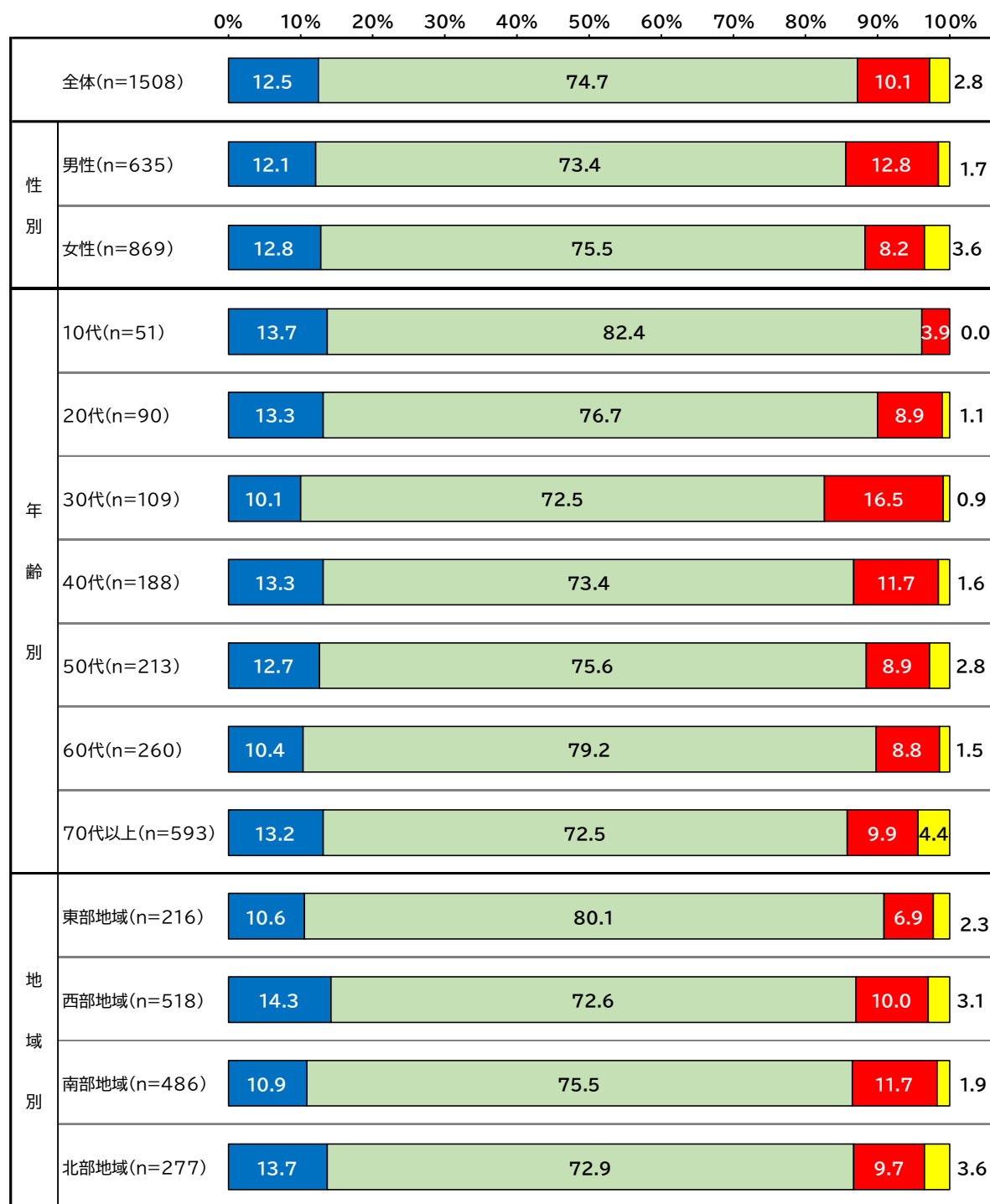
- 性別にみると、「思う」において差はあまりありませんが、「思わない」においては男性の方が女性よりも少し多くなっています。
- 年齢別にみると、「思う」において差はあまりみられませんが、「思わない」において 30 代が最も多く、10 代が最も少なくなっており、年齢別の差がみられます。
- 地域別にみると、「思う」において西部地域や北部地域に比べて、東部地域や南部地域がやや少なくなっています。

設問 10 「安全・安心都市宣言」に基づくまちづくりが進められていると思いますか？

< 1 つだけに○印 >



■ 属性別にみた「安全・安心都市宣言」に対する意識（実感度） ■



■ 思う ■ どちらとも言えない・わからない ■ 思わない ■ 無回答

イ 「安全・安心都市宣言」に基づくまちづくりが進められていると思う理由・思わない理由

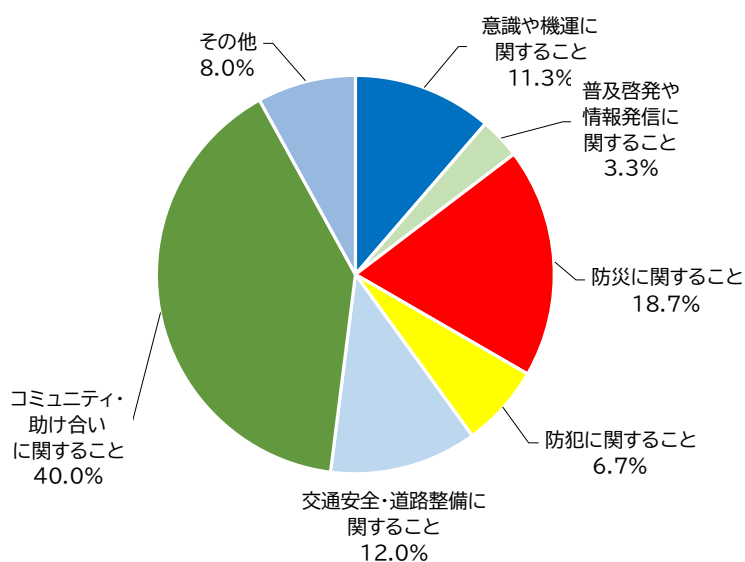
① 思う理由

「安全・安心都市宣言」に基づくまちづくりが進められていると思う理由としては、150 人から150 件の具体的な理由をいただきました。内容の内訳と主な理由は下記のとおりです。

設問 10-1 設問 10 で回答した理由を教えてください。〈ご自由に記入してください〉

【内容の内訳】

		件数 (件)	割合 (%)
意識や機運に関すること		17	11.3
普及啓発や情報発信に関すること		5	3.3
市民 や 地 域 の 活 動	防災に関すること	28	18.7
	防犯に関すること	10	6.7
	交通安全・道路整備に関すること	18	12.0
	コミュニティ・助け合いに関すること	60	40.0
	その他	12	8.0
合 計		150	100.0



【主な理由】

《意識や機運に関すること》

- 安全・安心して住めている。
- 光市は安心して住めるまちだ。
- 高齢者ですが、多くの方々に支えて頂き、何の不安もなく、安全・安心を実感して生活しており、住みやすいまちだと思う。
- 今が安全、安心なのでこれからも持続してほしい。
- 自分を含め、周りの方々も安全で安心して生活できていると思う。

《普及啓発や情報に関すること》

- 市の広報により推察。
- 公民館、地区社協等の活動報告等見ることから始まる、得られるものがあると思う。

《防災に関すること》

- 2年前の豪雨災害以降、島田川流域の整備をしている。
- 最近、甚大な自然災害が発生しており、地域の防災活動の意識が浸透している。
- 災害による避難指示、情報、火災防火情報等、こまめに放送されている。
- 災害時には色々な手助けがあった。
- 自治会の活動防災訓練等が活発に行われている、声かけも推進されている。
- 自治防災組織などが機能していると思う。
- 地域と学校と一緒にあって、防災に力を入れていると思う。
- 平成30年の西日本豪雨での災害ボランティア活動で、地域の方が積極的に取り組んでいた姿を見たから。
- 防災についての意識付けが積極的に行われている。
- 防災等におけるアナウンスが良くできていると思う。

《防犯に関すること》

- よくパトカーが巡回している。
- 安全パトロールをはじめ、常に子どもたちを見守っている。
- 最近はそのように犯罪もないので、安全だと思う。安全なら安心かな。
- 子どもの見守り、LED照明設備で明るくなった。
- 治安が良く、身近で怖いなと思うことがあまりないから。
- 地域の見守りや夕方に「子どもたちを見守りましょう」と車で走るとは、とても防犯になっていると思う。
- 防犯、歩道パトロールの実施や、車両等も活用した子ども110番事業が推進されている。

《交通安全・道路整備に関すること》

- 道路に緑の歩道などの取組みなど細かい所にも進められている。
- 下校時の子どもたちに対する見守りの推進、PR。
- 学校に行く時間、信号に立つ方にとっても感謝している。
- 交通安全等、しっかり歩道に立つボランティア活動の実施。
- 交通信号が歩車分離化されてきている。
- 交通整備と規制がよくなされている。安全運転を実行できる。
- 高齢者が交通指導をされている。道路が整備されて見通しがよい。
- 朝、交通量が多い国道などに地域の方々や警察の方が立ち、子どもたちを見守っていて、とても安全、安心感がある。
- 朝、地域の人たちが交通整理されており、安全な登下校ができる。

《コミュニティ・助け合いに関すること》

- お年寄りによる見守り隊の活動。子どもたちの登下校の安全に役立っていると感じる。
- 隣近所に声かけ、挨拶等、気軽に行われているように思う。
- ボランティア活動に精力的に取り組んでいる方々が身近にいる。
- 学校関係でもコミュニティが活発で、安心・安全な都市づくりに向かっていると思う。

- 子どもからお年寄りの方たちが色々活動する中で、よく交流の場が設けられていると思う。
- 子どもの見守り隊、一人住まいの方、年寄りの方のお手伝い、草刈り、庭の剪定、買い物などの助け合い隊など、安心。
- 子どもの登下校、見守り隊の活動が行われている。
- 子どもたちの登下校を見守っている。
- 自治会長を中心に、色々助け合い住みよいまち。
- 地域の人が子どもをよく見ている。
- 地域の方との交流が多い地域に住んでいて、いつも高齢者の方々に子どもの登下校を見守ってもらったり、挨拶をしたり、子どもの教育面でもとてもありがたい。
- 登下校時のパトロール等でそう感じた。

《その他》

- 17、18時のチャイムは青少年に取っていい取組み。
- あまり危険を感じたことが光市内ではないから。
- おかげさまで安全であり、安心して暮らしている。
- 人はとても優しい、安心感が高そう。
- 野犬が少ない。ほとんど見ないので。

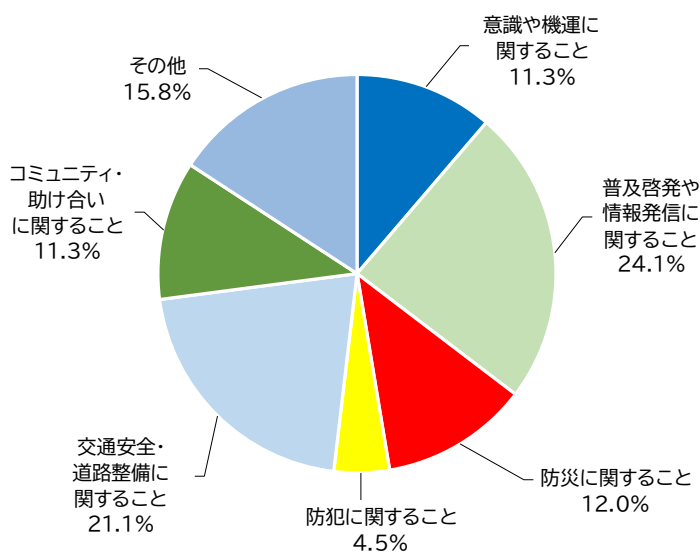
② 思わない理由

「安全・安心都市宣言」に基づくまちづくりが進められていると思わない理由としては、126 人から 133 件の具体的な理由をいただきました。内容の内訳と主な理由は下記のとおりです。

設問 10-1 設問 10 で回答した理由を教えてください。〈ご自由に記入してください〉

【内容の内訳】

		件数 (件)	割合 (%)
意識や機運に関すること		15	11.3
普及啓発や情報発信に関すること		32	24.1
市民や地域の活動	防災に関すること	16	12.0
	防犯に関すること	6	4.5
	交通安全・道路整備に関すること	28	21.1
	コミュニティ・助け合いに関すること	15	11.3
	その他	21	15.8
合 計		133	100.0



【主な理由】

《意識や機運に関すること》

- みんなの士気を高めるため、市に垂れ幕をするとか、身近に考えないと難しい問題である。
- 市民自らが安全意識の高揚はなかなか難しいように思う。右を見ても左を見ても高齢者では。
- 実感がない。
- 宣言だけで終わってほしくない。

《普及啓発や情報に関すること》

- アピール不足。具体的な取組を提示し、地区単位、自治会単位で取り組むのか示してほしい。
- どんな活動をしているのか知らない。
- 何に対して安全・安心か具体性がない。年輩の方をターゲットにする等、明確に取り組んだ方が良いと感じる。
- 市民の皆さんが、3つの宣言を理解しているとは思えない。もう少し宣伝と言うか、市の宣言としてことあるごとに知らせるべきでは。
- 初めて聞いた。

- 題字でおよそのことはわかるが、具体的に何をするのか分からない。
- 内容を知らなかった。
- 特に目立った行事やお知らせがあるように思えない。もっと目玉が必要か。

《防災に関すること》

- 災害の多い昨今、近所の付き合いも希薄。助け合いが果たしてできるか心配している。
- 災害対策は万全でない。避難場所、広場に行くまでが不安、不便。道路は車、歩行者、自転車など区別なく安全な道は少ない。
- 自主防災組織が市内のどの地域にもあるのかどうか不明。
- 自然災害などに対して、市は何をどうしてくれるのか分からない。近所づきあいも少ない中、同じ地域の人の顔、名前すら知らない。
- 地域の支え合い、助け合いは十分だと思う。ただ、災害時の避難先の体育館や、コミュニティセンターの老朽化が気になる。安全ですか？
- 防災無線は屋内では全く聞こえない。屋外に出ている時でも、山への反射等でほとんど聞き取れない。高齢者はメール等も難しい。家庭で受信できる受信機を考えては。
- 水災が多い。山崩れが多い。

《防犯に関すること》

- 外灯が少なく、夜危ないと感じることが多々ある。
- 防犯カメラがほとんどない。

《交通安全・道路整備に関すること》

- 交差点など特に右折の時、草木が邪魔して見えにくい。
- 交通マナーの悪さ。国道沿いに住んでいるのですが、ここはサーキットですかと、言いたくなるくらい猛スピードで走行する車が多い。うるさいし、家にぶつかられたら怖い。毎晩のこと。
- 市の仕事ではないかもしれないが、あまりにも道路の横断歩道の白線がない。
- 市民の意識も大事だが、まず、道路が整備されていないと思う。外灯も少ないし、道路の白線も消えている所があり、車線からはみ出して運転する人もいる。環境を整えてほしい。
- 道幅の狭い通学路でスピードの速い車が多いが、歩道、防護柵等の整備が不十分。速度が出せない対策も必要では。
- 道路標識や信号、ミラー等、不十分な場所が多々ある。市民の声に耳を傾けてはどうか。
- 特に車道、歩道、特に横断歩道の白線が消えかかっている場所が多い。
- 歩道が草に覆われ、車道を歩かなければならない所があり、危険。木や草が道路に覆い被さり、通行に危険を感じることもある。
- 歩道に立つ木々の剪定にもう少し力を入れてほしい。運転側からすると、横断待ちをしている人を確認するのに遅れる時がある。
- 高齢者、人口増大、道路に高齢者エリアの標識設定を。

《コミュニティ・助け合いに関すること》

- 集まりの中に出ていけないので、家から出ないから助け合いができるのだろうかと思ってしまう。

- 新しく家を建てて移住して来た人の多い地区は、自治会組織が全く機能していない。災害の時は非常に心細い。諦めている。
- 地域との絆は希薄であると感じる。主要箇所に防犯カメラなど設置してほしい。
- 特別「力を合わせて」との意識はない。個人、家族単位での取組みとなっている。
- 比較的安全なまちだとは思いますが、地域の繋がりが薄れている。地域の繋がりに頭を使って税金を使ってほしい。
- 隣近所の付き合いもない時代になったと思う。自治会も高齢になり、協力も薄れている。

《その他》

- 空き家が多い。過去につくった設備が機能していない。
- 光駅のホームは高齢者には難しい。危険です。
- 全体としてのどこかで住みやすいまちだと思う。一方、大和病院の存続を軸とした医療、福祉分野の更なる充実を期待したい。
- 他の都市と何ら特別な推進はしていないと思う。

3 行財政運営について

(1) 持続可能で健全な行財政運営について（設問 11、設問 11-1、11-2）

ア 行財政運営に対する意識（実感度）

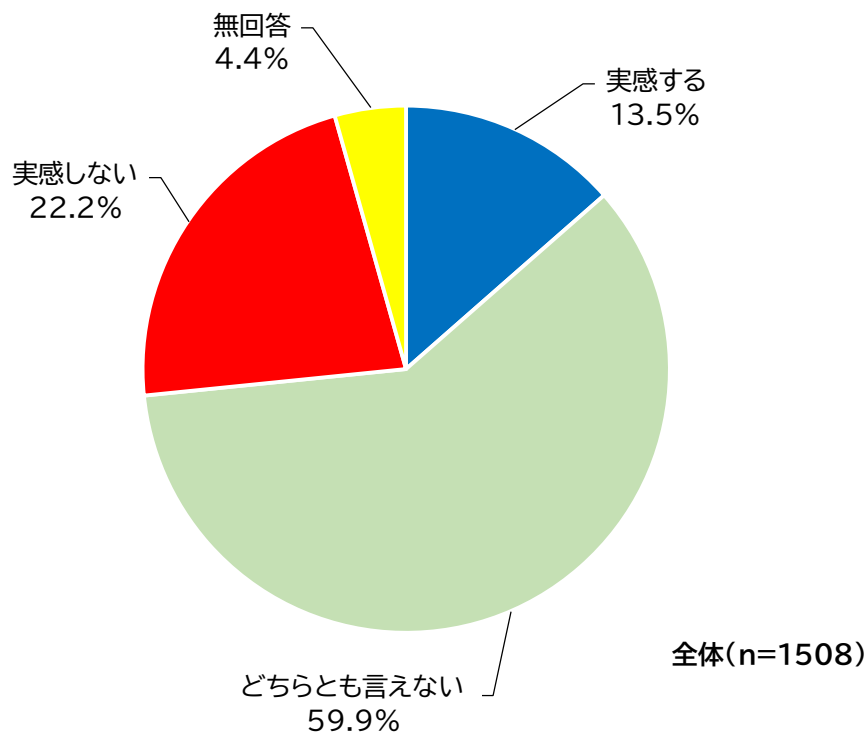
市政の持続可能で健全な行財政運営が行われていると実感できるかどうかについては、「実感する」が 13.5%、「どちらとも言えない」が 59.9%、「実感しない」が 22.2%となっています。

【属性別特徴】

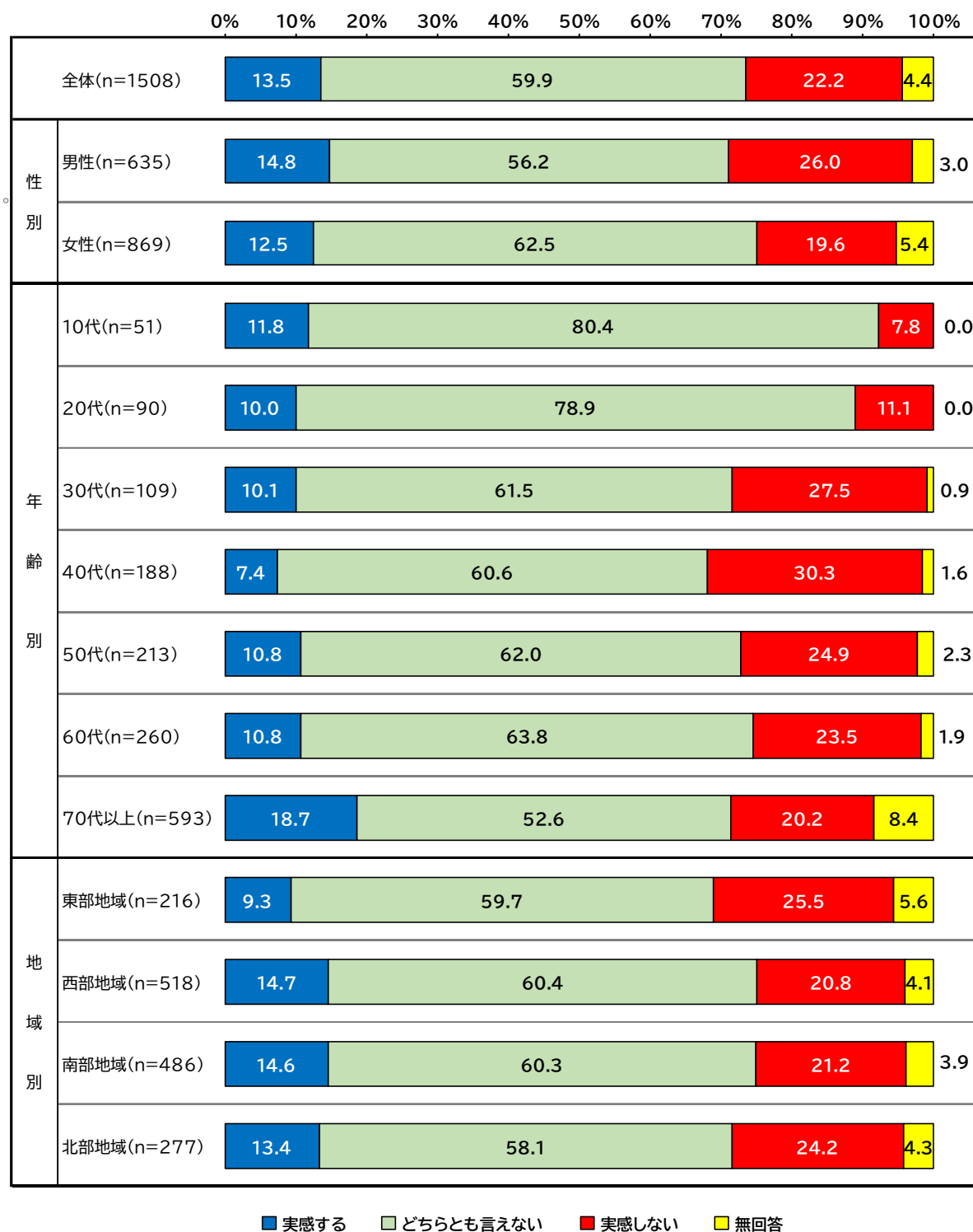
- 性別にみると、「実感する」においてとあまり差はありませんが、「実感していない」において男性の方が女性よりも多くなっています。
- 年齢別にみると、「実感する」において 70 代以上では多くなっていますが、60 代以下では 10% 前後にとどまっています。一方、「実感しない」において 40 代で最も多く、10 代、20 代では少なくなっています。
- 地域別にみると、「実感する」において東部地域が最も少なく、「実感しない」において東部地域が最も多くなっています。

設問 11 市政について、持続可能で健全な行財政運営が行われていると実感しますか？

<1 つだけに○印>



■ 属性別にみた行財政運営に対する意識（実感度） ■



イ 市政の持続可能で健全な行財政運営が行われていると実感する理由・実感しない理由

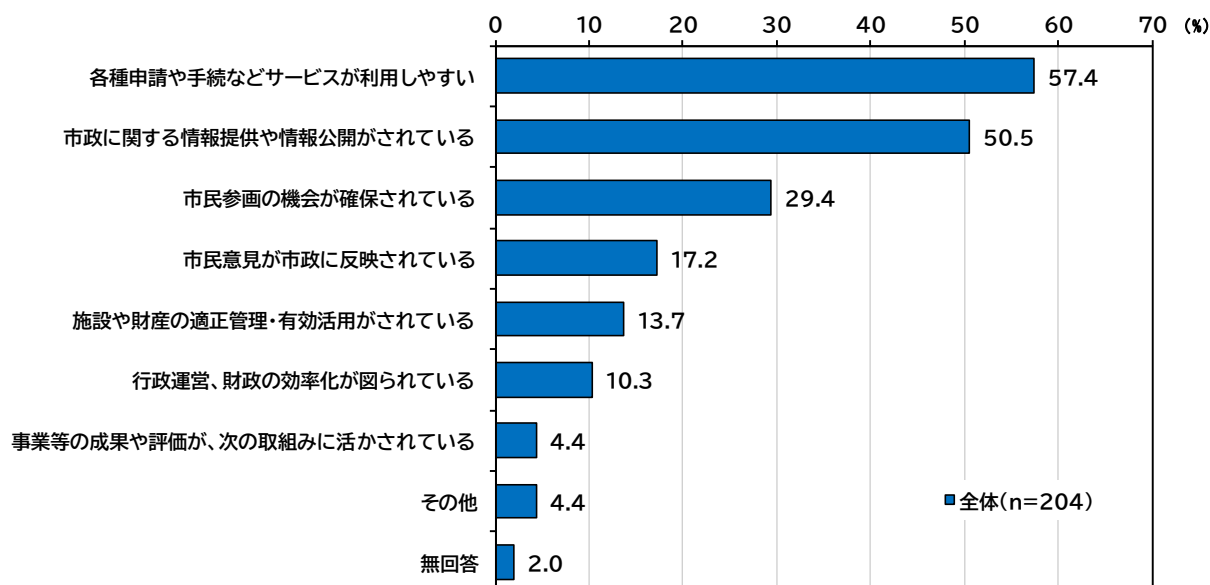
① 実感する理由

実感する理由としては、「各種申請や手続などサービスが利用しやすい」(57.4%)と「市政に関する情報提供や情報公開がされている」(50.5%)が半数を超え、次いで「市民参画の機会が確保されている」(29.4%)となっています。

【属性別特徴】

- 性別にみると、「各種申請や手続などサービスが利用しやすい」と「市政に関する情報提供や情報公開がされている」において男女とも多くなっています。

設問 11-1 実感する理由は何ですか？ <あてはまるもの全部に○印>



■ 属性別にみた市政の持続可能で健全な行財政運営が行われていると実感する理由 ■

上段：人 下段：%		サン プル 数	ビ各種 スが申 利用請 や手続 やすい などサ ー	情市政 報政に 開関さ れる情 報提供 や	れて市 民参画 の機会 が確保 さ	れて市 民意見 が市政 に反映 さ	有施設 効活や 財産の 適正管 理・	が行政 図運営 、財政 の効率 化	い次の 事業等 の成果 や評価 が、	その他	無回 答
全体		204 100.0	117 57.4	103 50.5	60 29.4	35 17.2	28 13.7	21 10.3	9 4.4	9 4.4	4 2.0
性別	男性	94 100.0	55 58.5	50 53.2	28 29.8	17 18.1	15 16.0	17 18.1	7 7.4	4 4.3	2 2.1
	女性	109 100.0	62 56.9	52 47.7	32 29.4	18 16.5	13 11.9	4 3.7	2 1.8	5 4.6	2 1.8
	無回答	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
年齢別	10代	6 100.0	2 33.3	- -	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	- -	- -	1 16.7
	20代	9 100.0	4 44.4	4 44.4	1 11.1	1 11.1	2 22.2	- -	- -	- -	- -
	30代	11 100.0	5 45.5	6 54.5	4 36.4	1 9.1	1 9.1	- -	- -	1 9.1	- -
	40代	14 100.0	9 64.3	7 50.0	1 7.1	1 7.1	1 7.1	3 21.4	2 14.3	1 7.1	- -
	50代	23 100.0	14 60.9	14 60.9	4 17.4	3 13.0	4 17.4	1 4.3	1 4.3	2 8.7	- -
	60代	28 100.0	17 60.7	15 53.6	7 25.0	7 25.0	4 14.3	5 17.9	2 7.1	- -	- -
	70代以上	111 100.0	66 59.5	55 49.5	41 36.9	20 18.0	14 12.6	11 9.9	4 3.6	5 4.5	3 2.7
	無回答	2 100.0	- -	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -
地域別	東部地域	20 100.0	10 50.0	12 60.0	10 50.0	8 40.0	- -	5 25.0	- -	1 5.0	- -
	西部地域	76 100.0	46 60.5	37 48.7	19 25.0	13 17.1	13 17.1	4 5.3	5 6.6	5 6.6	1 1.3
	南部地域	71 100.0	42 59.2	35 49.3	17 23.9	7 9.9	12 16.9	9 12.7	3 4.2	3 4.2	2 2.8
	北部地域	37 100.0	19 51.4	19 51.4	14 37.8	7 18.9	3 8.1	3 8.1	1 2.7	- -	1 2.7
	無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

(注) 太字は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

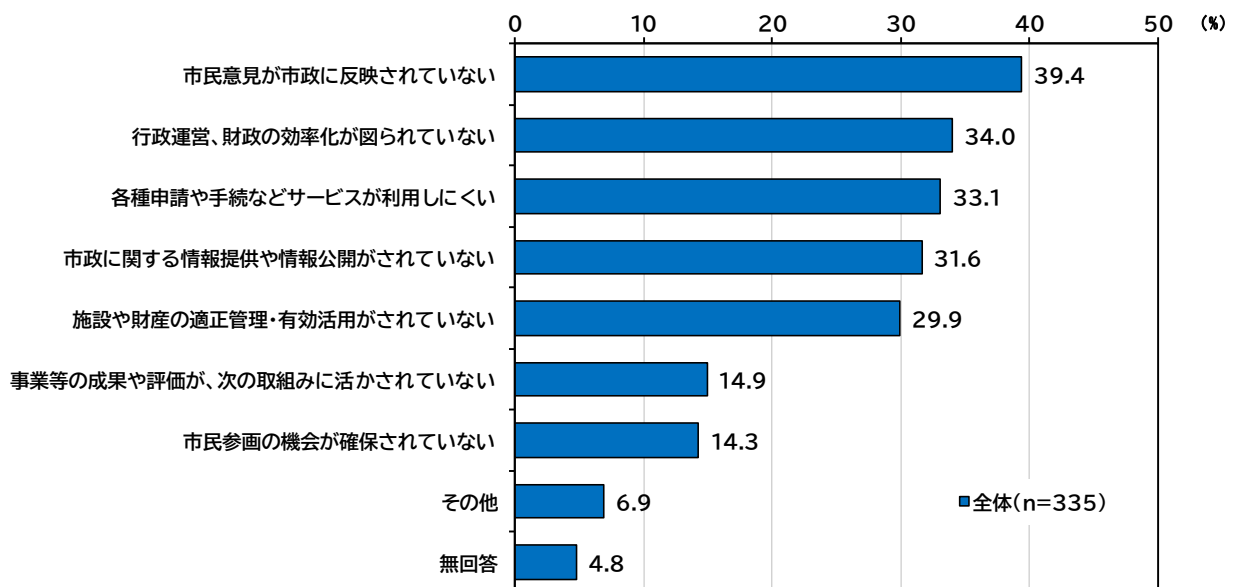
② 実感しない理由

実感しない理由としては、「市民意見が市政に反映されていない」が 39.4%と最も多く、次いで「行政運営、財政の効率化が図られていない」が 34.0%、「各種申請や手続などサービスが利用しにくい」が 33.1%、「市政に関する情報提供や情報公開がされていない」が 31.6%、「施設や財産の適正管理・有効活用がされていない」が 29.9%となっています。

【属性別特徴】

- 性別にみると、「各種申請や手続などサービスが利用しにくい」において女性が多くなっています。
- 地域別にみると、「市民意見が市政に反映されていない」において北部地域、「行政運営、財政の効率化が図られていない」において南部地域、「各種申請や手続などサービスが利用しにくい」において東部地域、西部地域が最も多くなっています。

設問 11-2 実感しない理由は何ですか？ <あてはまるもの全部に○印>



■ 属性別にみた市政の持続可能で健全な行財政運営が行われていると実感しない理由 ■

上段：人 下段：%		サン プル 数	市民意見が市政に反映さ れていない	行政運営、財政の効率化 が図られていない	各種申請や手続きなどサ ビスが利用しにくい	市政に関する情報提供や 情報公開が不十分	施設や財産の適正管理・ 有効活用がされていない	事業等の成果や評価が、 次の取り組みに活かされて いない	市民参画の機会が確保さ れていない	その他	無 回 答
全体		335 100.0	132 39.4	114 34.0	111 33.1	106 31.6	100 29.9	50 14.9	48 14.3	23 6.9	16 4.8
性 別	男性	165 100.0	59 35.8	62 37.6	46 27.9	55 33.3	50 30.3	28 17.0	29 17.6	12 7.3	8 4.8
	女性	170 100.0	73 42.9	52 30.6	65 38.2	51 30.0	50 29.4	22 12.9	19 11.2	11 6.5	8 4.7
	無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
年 齢 別	10代	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -	- -	- -
	20代	10 100.0	6 60.0	3 30.0	6 60.0	3 30.0	8 80.0	2 20.0	2 20.0	- -	- -
	30代	30 100.0	7 23.3	16 53.3	11 36.7	11 36.7	9 30.0	6 20.0	6 20.0	2 6.7	- -
	40代	57 100.0	25 43.9	22 38.6	23 40.4	15 26.3	23 40.4	8 14.0	6 10.5	6 10.5	- -
	50代	53 100.0	15 28.3	16 30.2	17 32.1	18 34.0	11 20.8	5 9.4	6 11.3	4 7.5	3 5.7
	60代	61 100.0	25 41.0	20 32.8	22 36.1	20 32.8	19 31.1	11 18.0	10 16.4	3 4.9	2 3.3
	70代以上	120 100.0	53 44.2	36 30.0	31 25.8	38 31.7	30 25.0	18 15.0	18 15.0	8 6.7	11 9.2
	無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
地 域 別	東部地域	55 100.0	21 38.2	17 30.9	21 38.2	19 34.5	12 21.8	7 12.7	8 14.5	- -	3 5.5
	西部地域	108 100.0	39 36.1	29 26.9	41 38.0	27 25.0	30 27.8	20 18.5	14 13.0	15 13.9	5 4.6
	南部地域	103 100.0	41 39.8	44 42.7	26 25.2	37 35.9	34 33.0	12 11.7	19 18.4	7 6.8	4 3.9
	北部地域	67 100.0	31 46.3	23 34.3	23 34.3	22 32.8	24 35.8	10 14.9	7 10.4	1 1.5	4 6.0
	無回答	2 100.0	- -	1 50.0	- -	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -

(注) 太字は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

（２）これからの行財政と市民の役割について（設問 12）

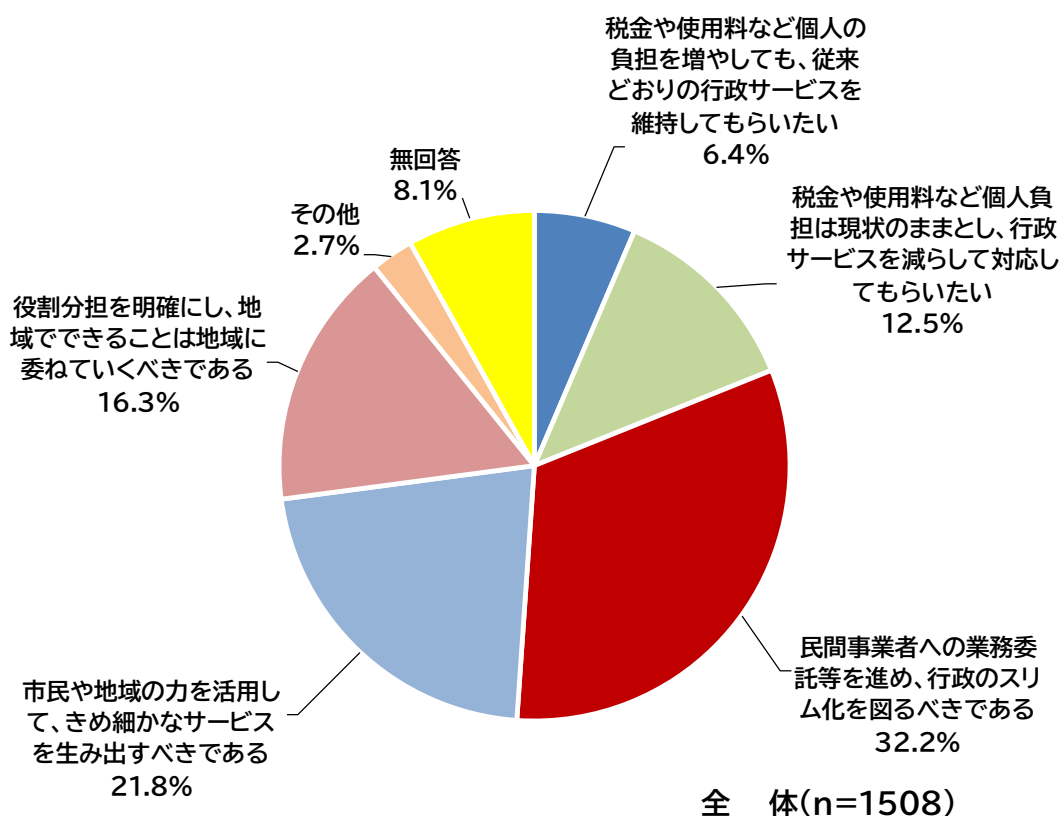
これからの行政と市民の役割については、「民間事業者への業務委託等を進め、行政のスリム化を図るべきである」が 32.2%と最も多く、次いで「市民や地域の力を活用して、きめ細かなサービスを生み出すべきである」が 21.8%となっています。

【属性別特徴】

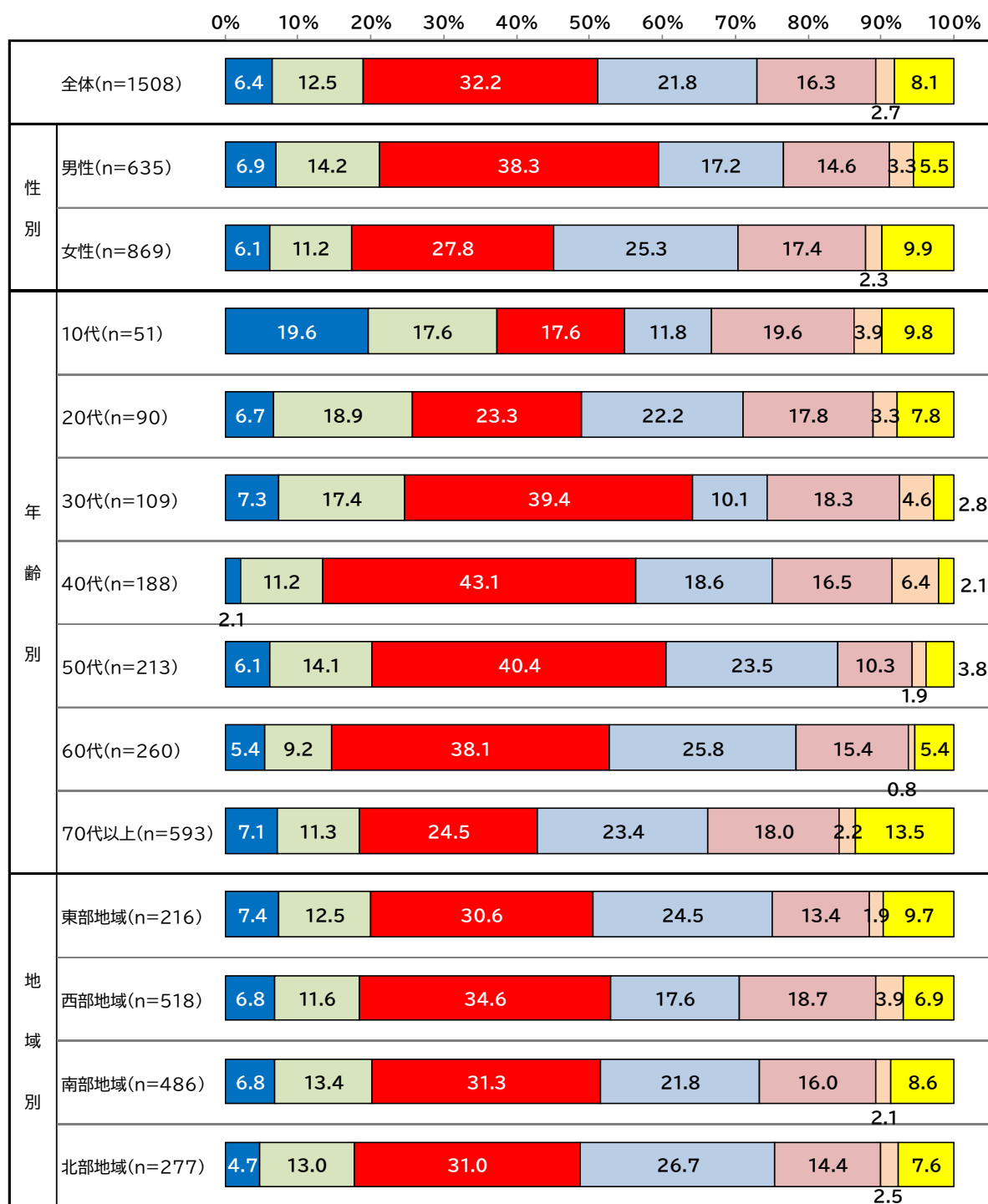
- 性別にみると、「民間事業者への業務委託等を進め、行政のスリム化を図るべきである」において男性の方が女性よりも多くなっています。
- 年齢別にみると、「民間事業者への業務委託等を進め、行政のスリム化を図るべきである」において 40 代が特に多くなっています。

設問 12 これからの行政と市民の役割について、あなたの考えに最も近いものはどれですか？

< 1 つだけに○印 >



■ 属性別にみたこれからの行財政と市民の役割 ■



- 税金や使用料など個人の負担を増やしても、従来どおりの行政サービスを維持してもらいたい
- 税金や使用料など個人負担は現状のままとし、行政サービスを減らして対応してもらいたい
- 民間事業者への業務委託等を進め、行政のスリム化を図るべきである
- 市民や地域の力を活用して、きめ細かなサービスを生み出すべきである
- 役割分担を明確にし、地域でできることは地域に委ねていくべきである
- その他
- 無回答

4 分野別の目標について

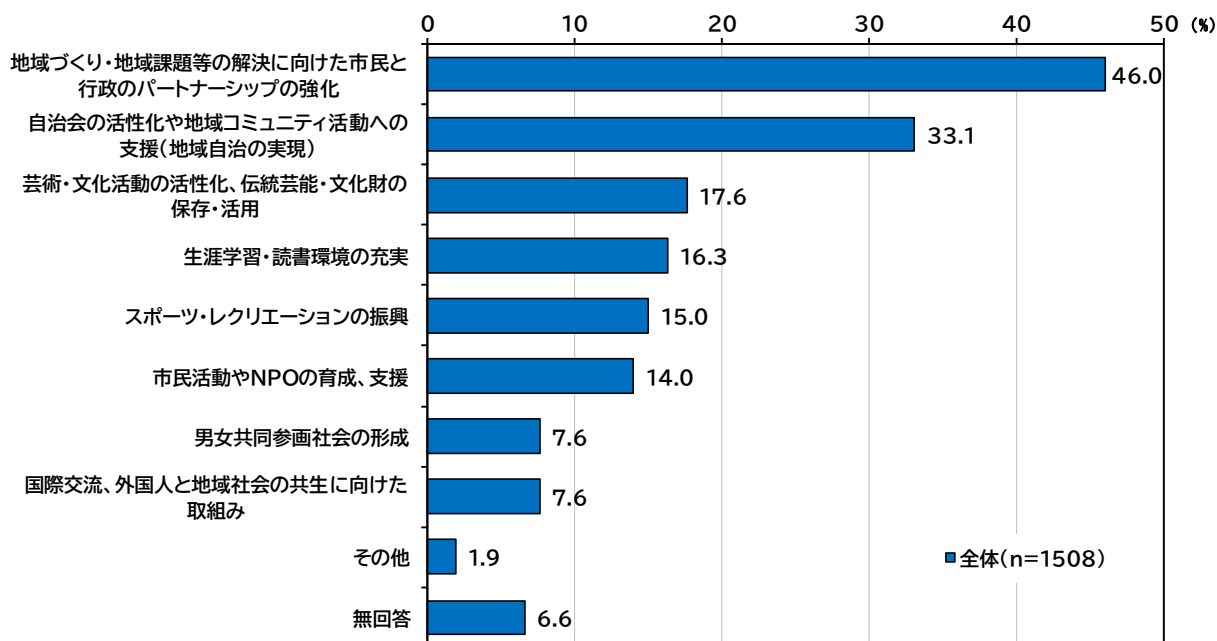
(1) 【コミュニティづくり】や【人づくり】に関する取組みについて（設問 13）

【コミュニティづくり】や【人づくり】に関する取組みについて、特に必要だと思うこととしては、「地域づくり・地域課題等の解決に向けた市民と行政のパートナーシップの強化」が 46.0%と最も多く、次いで「自治会の活性化や地域コミュニティ活動への支援（地域自治の実現）」が 33.1%となっています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、「地域づくり・地域課題等の解決に向けた市民と行政のパートナーシップの強化」において 60 代、「自治会の活性化や地域コミュニティ活動への支援（地域自治の実現）」において 60 代、70 代以上、「生涯学習・読書環境の充実」において 30 代、「スポーツ・レクリエーションの振興」において 30 代以下が多くなっています。
- 地域別にみると、「地域づくり・地域課題等の解決に向けた市民と行政のパートナーシップの強化」において北部地域が半数を超えています。

設問 13 【コミュニティづくり】や【人づくり】に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？＜2 つまでに○印＞



■ 属性別にみた【コミュニティづくり】や【人づくり】に関する必要だと思う取組み ■

上段：人 下段：%		サ ン プ ル 数	強政の地域 化の解決に 向けたパ ートナー シップと 行政の行	地域の活 性化（地 域自治の 実現）	自治会の 活性化や 地域コ ミュニテ ィ活動の 支援	芸術・文 化活動の 活性化の 財の	保存・活 用	生涯学 習・読書 環境の充 実	スポーツ・ レクリエ ー ションの 振興	市民活動 やNPOの 育成	男女共同 参画社会 の形成	国際交流 、外国人 と地域 の共生に 向けた取 組	その他	無 回 答
全体		1508 100.0	693 46.0	499 33.1	266 17.6	246 16.3	226 15.0	211 14.0	114 7.6	114 7.6	28 1.9	99 6.6		
性 別	男性	635 100.0	294 46.3	234 36.9	125 19.7	98 15.4	115 18.1	83 13.1	51 8.0	52 8.2	14 2.2	25 3.9		
	女性	869 100.0	395 45.5	263 30.3	141 16.2	147 16.9	111 12.8	128 14.7	63 7.2	62 7.1	14 1.6	74 8.5		
	無回答	4 100.0	4 100.0	2 50.0	- -	1 25.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -		
年 齢 別	10代	51 100.0	23 45.1	12 23.5	9 17.6	10 19.6	13 25.5	5 9.8	2 3.9	9 17.6	1 2.0	2 3.9		
	20代	90 100.0	37 41.1	26 28.9	14 15.6	13 14.4	21 23.3	8 8.9	11 12.2	11 12.2	3 3.3	4 4.4		
	30代	109 100.0	43 39.4	23 21.1	20 18.3	27 24.8	28 25.7	11 10.1	11 10.1	15 13.8	2 1.8	2 1.8		
	40代	188 100.0	94 50.0	39 20.7	39 20.7	32 17.0	32 17.0	25 13.3	18 9.6	23 12.2	3 1.6	1 0.5		
	50代	213 100.0	102 47.9	62 29.1	36 16.9	41 19.2	36 16.9	34 16.0	14 6.6	18 8.5	5 2.3	13 6.1		
	60代	260 100.0	136 52.3	101 38.8	45 17.3	42 16.2	24 9.2	48 18.5	18 6.9	12 4.6	3 1.2	12 4.6		
	70代以上	593 100.0	257 43.3	236 39.8	102 17.2	80 13.5	72 12.1	79 13.3	40 6.7	25 4.2	11 1.9	64 10.8		
	無回答	4 100.0	1 25.0	- -	1 25.0	1 25.0	- -	1 25.0	- -	1 25.0	- -	1 25.0		
地 域 別	東部地域	216 100.0	108 50.0	70 32.4	35 16.2	36 16.7	24 11.1	33 15.3	20 9.3	6 2.8	5 2.3	14 6.5		
	西部地域	518 100.0	212 40.9	159 30.7	96 18.5	89 17.2	101 19.5	77 14.9	34 6.6	42 8.1	7 1.4	31 6.0		
	南部地域	486 100.0	224 46.1	168 34.6	92 18.9	84 17.3	61 12.6	67 13.8	41 8.4	39 8.0	5 1.0	32 6.6		
	北部地域	277 100.0	146 52.7	100 36.1	40 14.4	34 12.3	39 14.1	32 11.6	19 6.9	25 9.0	11 4.0	20 7.2		
	無回答	11 100.0	3 27.3	2 18.2	3 27.3	3 27.3	1 9.1	2 18.2	- -	2 18.2	- -	2 18.2		

(注) **太字**は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

(2) 【子育て】や【教育】に関する取組みについて（設問 14）

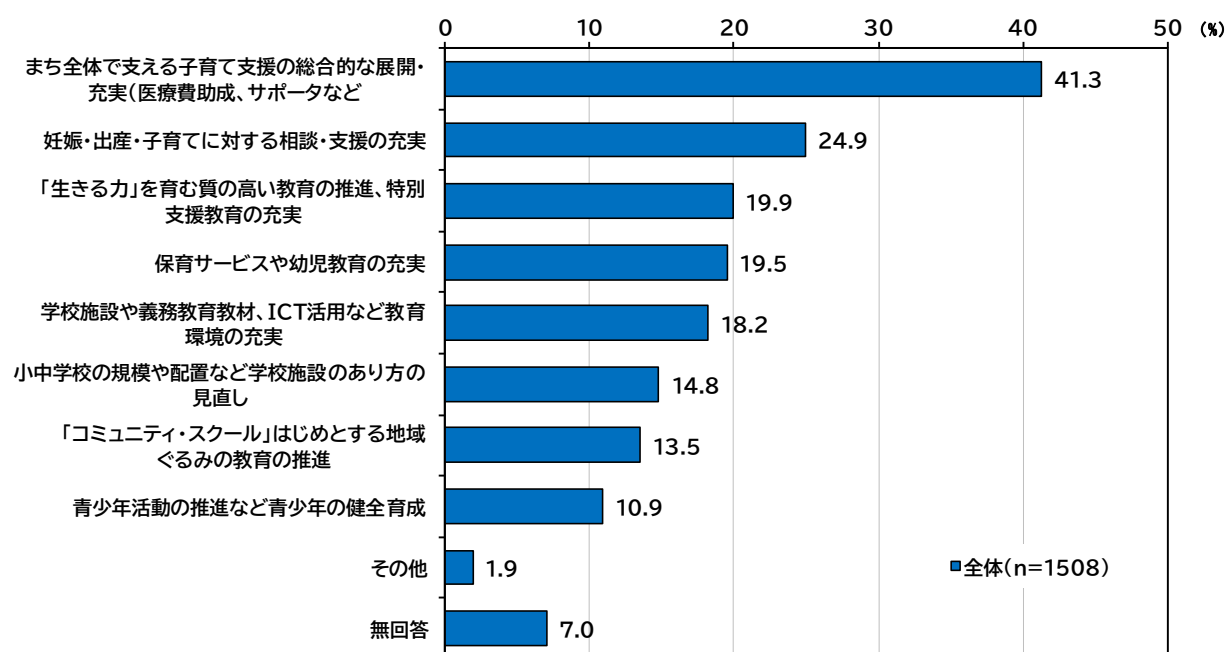
【子育て】や【教育】に関する取組みについて、特に必要だと思うこととしては、「まち全体で支える子育て支援の総合的な展開・充実（医療費助成、サポートなど）」が 41.3%と特に多く、次いで「妊娠・出産・子育てに対する相談・支援の充実」が 24.9%となっています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、「妊娠・出産・子育てに対する相談・支援の充実」において 10 代、20 代では最も多くなっており、特に 20 代では半数に達しています。また、「保育サービスや幼児教育の充実」においても 20 代が多くなっています。
- 地域別にみると、「小中学校の規模や配置など学校施設のあり方の見直し」において東部地域が多くなっています。

設問 14 【子育て】や【教育】に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？

< 2 つまでに○印 >



■ 属性別にみた【子育て】や【教育】に関する必要だと思う取組み ■

[illegible]

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

(3) 【福祉】や【医療】に関する取組みについて（設問 15）

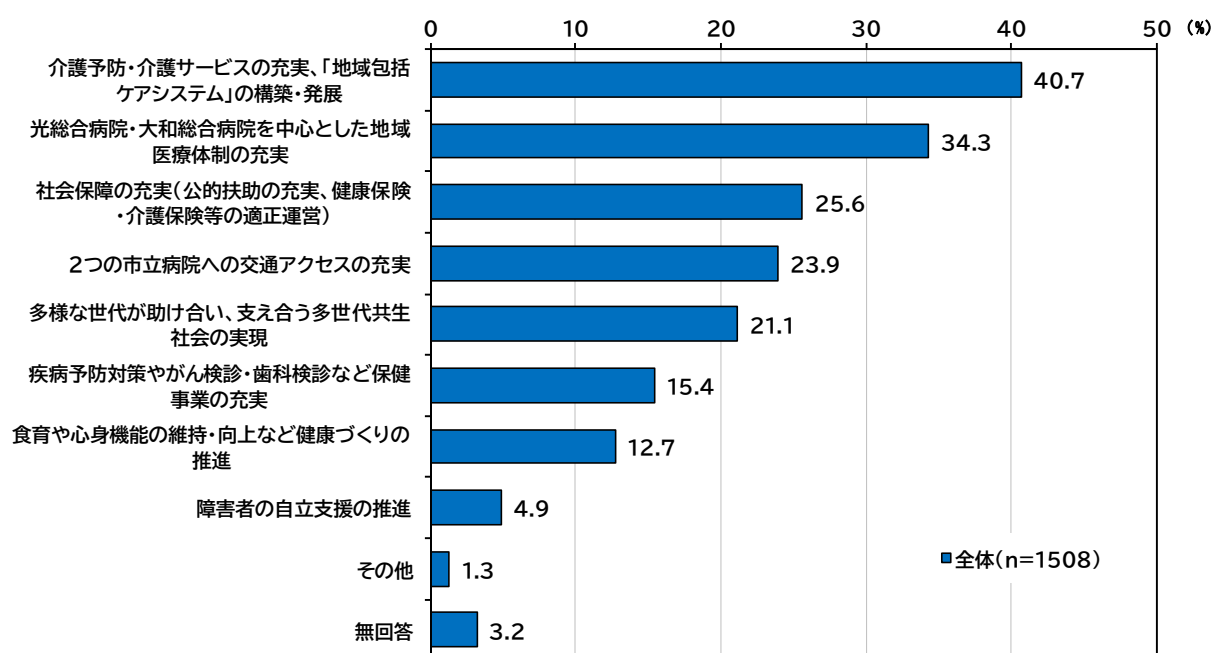
【福祉】や【医療】に関する取組みについて、特に必要だと思うこととしては、「介護予防・介護サービスの充実」、「地域包括ケアシステム」の構築・発展」が 40.7%と最も多く、次いで「光総合病院・大和総合病院を中心とした地域医療体制の充実」が 34.3%、「社会保障の充実（公的扶助の充実、健康保険・介護保険等の適正運営）」が 25.6%となっています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、「疾病予防対策やがん検診・歯科検診など保健事業の充実」において 30 代が最も多くなっています。
- 地域別にみると、「光総合病院・大和総合病院を中心とした地域医療体制の充実」において東部地域が特に多くなっています。

設問 15 【福祉】や【医療】に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？

< 2 つまでに○印>



■ 属性別にみた【福祉】や【医療】に関する必要だと思う取組み ■

上段：人 下段：％		サ ン プ ル 数	介護予防・介護サービスの充実、「地域包括ケアシステム」の構築・発展	総合病院・大和総合病院を中心とした地域医療体制の充実	社会保険の充実（公的扶助の充実、健康保険・介護保険等の適正運営）	２つの市立病院への交通アクセスの充実	多様な世代が助け合い、支え合う多世代共生社会の実現	診療・歯科検診などが保健事業の充実	疾病予防対策やがん検診・がん相談支援センターの推進	障害者の自立支援の推進	その他	無回答
全体		1508 100.0	614 40.7	517 34.3	386 25.6	361 23.9	318 21.1	232 15.4	191 12.7	74 4.9	20 1.3	48 3.2
性別	男性	635 100.0	248 39.1	225 35.4	168 26.5	152 23.9	135 21.3	100 15.7	78 12.3	33 5.2	10 1.6	13 2.0
	女性	869 100.0	364 41.9	292 33.6	217 25.0	207 23.8	183 21.1	130 15.0	113 13.0	41 4.7	10 1.2	35 4.0
	無回答	4 100.0	2 50.0	－ －	1 25.0	2 50.0	－ －	2 50.0	－ －	－ －	－ －	－ －
年齢別	１０代	51 100.0	18 35.3	11 21.6	9 17.6	8 15.7	16 31.4	12 23.5	7 13.7	7 13.7	1 2.0	2 3.9
	２０代	90 100.0	29 32.2	24 26.7	27 30.0	15 16.7	20 22.2	24 26.7	17 18.9	5 5.6	－ －	1 1.1
	３０代	109 100.0	29 26.6	36 33.0	33 30.3	19 17.4	16 14.7	42 38.5	18 16.5	7 6.4	4 3.7	－ －
	４０代	188 100.0	77 41.0	66 35.1	62 33.0	35 18.6	35 18.6	37 19.7	15 8.0	10 5.3	1 0.5	4 2.1
	５０代	213 100.0	98 46.0	70 32.9	53 24.9	50 23.5	37 17.4	36 16.9	33 15.5	14 6.6	1 0.5	4 1.9
	６０代	260 100.0	114 43.8	88 33.8	74 28.5	51 19.6	72 27.7	32 12.3	40 15.4	10 3.8	4 1.5	2 0.8
	７０代以上	593 100.0	248 41.8	220 37.1	128 21.6	183 30.9	121 20.4	49 8.3	58 9.8	21 3.5	9 1.5	35 5.9
	無回答	4 100.0	1 25.0	2 50.0	－ －	－ －	1 25.0	－ －	3 75.0	－ －	－ －	－ －
	地域別	東部地域	216 100.0	87 40.3	108 50.0	44 20.4	48 22.2	42 19.4	25 11.6	31 14.4	8 3.7	2 0.9
西部地域		518 100.0	195 37.6	194 37.5	138 26.6	92 17.8	102 19.7	89 17.2	69 13.3	30 5.8	7 1.4	19 3.7
南部地域		486 100.0	215 44.2	116 23.9	124 25.5	143 29.4	115 23.7	71 14.6	62 12.8	26 5.3	5 1.0	14 2.9
北部地域		277 100.0	113 40.8	97 35.0	77 27.8	75 27.1	58 20.9	46 16.6	27 9.7	7 2.5	6 2.2	8 2.9
無回答		11 100.0	4 36.4	2 18.2	3 27.3	3 27.3	1 9.1	1 9.1	2 18.2	3 27.3	－ －	1 9.1

(注) **太字**は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

（４）【安全・安心】に関する取組みについて（設問 16）

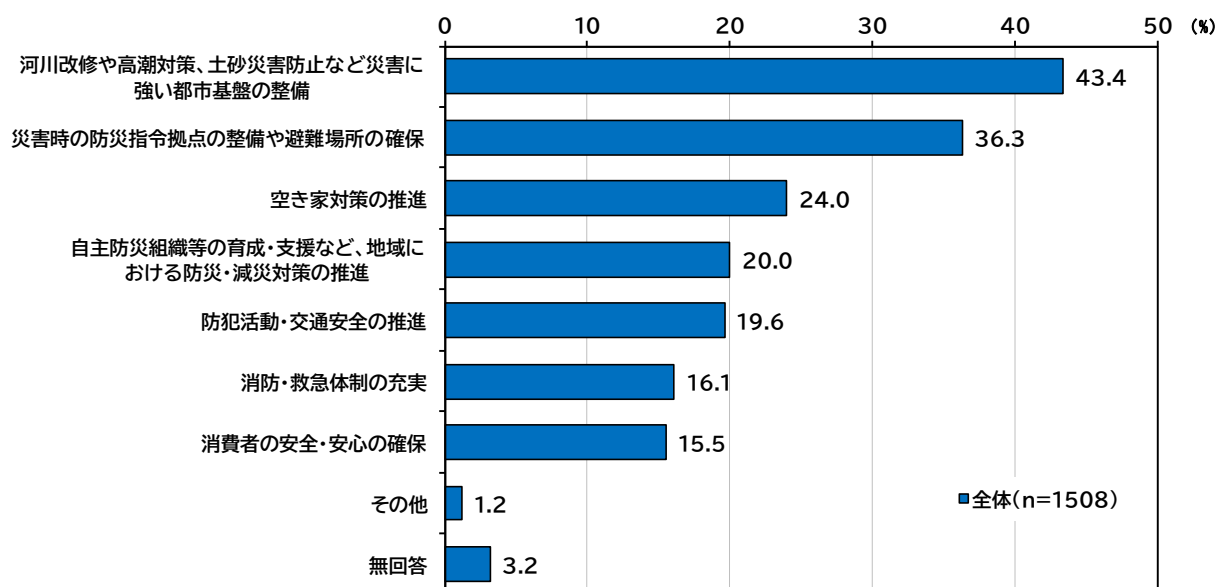
【安全・安心】に関する取組みについて、特に必要だと思うこととしては、「河川改修や高潮対策、土砂災害防止など災害に強い都市基盤の整備」が 43.4%と最も多く、次いで「災害時の防災指令拠点の整備や避難場所の確保」が 36.3%、「空き家対策の推進」が 24.0%となっています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、「河川改修や高潮対策、土砂災害防止など災害に強い都市基盤の整備」において 20 代、30 代、50 代では半数を超えています。
- 地域別みると、「河川改修や高潮対策、土砂災害防止など災害に強い都市基盤の整備」において 北部地域では半数を超えています。

設問 16 【安全・安心】に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？

< 2 つまでに○印 >



■ 属性別にみた【安全・安心】に関する必要だと思う取組み ■

上段：人 下段：%		サン プル 数	い砂河 都市災川 基害改 盤防修 の止や 整備高 の潮 整備対 に策、 強土	整災 備害 や時 避の 難防 場所災 の指 令 確拠 保点 の	空 き家 対策 の推 進	防支自 災援主 ・な防 減災災 対組 策織 の等 推の け育 成 る・	進防 犯活 動・交 通通 安全 の推	消 防・救 急体 制の充 実	保消 費者の 安全・ 安心の 確	そ の他	無 回 答
全体		1508	654	548	362	301	296	243	233	18	49
		100.0	43.4	36.3	24.0	20.0	19.6	16.1	15.5	1.2	3.2
性 別	男性	635	290	221	147	132	153	97	98	8	11
		100.0	45.7	34.8	23.1	20.8	24.1	15.3	15.4	1.3	1.7
	女性	869	363	326	215	168	142	145	134	10	38
		100.0	41.8	37.5	24.7	19.3	16.3	16.7	15.4	1.2	4.4
	無回答	4	1	1	-	1	1	1	1	-	-
		100.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-
年 齢 別	10代	51	25	21	6	13	12	2	5	-	1
		100.0	49.0	41.2	11.8	25.5	23.5	3.9	9.8	-	2.0
	20代	90	52	34	9	20	23	13	9	-	-
		100.0	57.8	37.8	10.0	22.2	25.6	14.4	10.0	-	-
	30代	109	60	44	21	15	30	13	18	2	-
		100.0	55.0	40.4	19.3	13.8	27.5	11.9	16.5	1.8	-
	40代	188	88	78	45	34	40	34	20	4	1
		100.0	46.8	41.5	23.9	18.1	21.3	18.1	10.6	2.1	0.5
	50代	213	111	81	41	46	46	32	22	4	3
		100.0	52.1	38.0	19.2	21.6	21.6	15.0	10.3	1.9	1.4
	60代	260	104	96	67	59	46	48	44	4	6
		100.0	40.0	36.9	25.8	22.7	17.7	18.5	16.9	1.5	2.3
	70代以上	593	213	191	173	113	99	101	114	4	37
		100.0	35.9	32.2	29.2	19.1	16.7	17.0	19.2	0.7	6.2
	無回答	4	1	3	-	1	-	-	1	-	1
		100.0	25.0	75.0	-	25.0	-	-	25.0	-	25.0
地 域 別	東部地域	216	81	76	59	41	47	36	40	3	6
		100.0	37.5	35.2	27.3	19.0	21.8	16.7	18.5	1.4	2.8
	西部地域	518	225	198	115	104	103	87	71	5	21
		100.0	43.4	38.2	22.2	20.1	19.9	16.8	13.7	1.0	4.1
	南部地域	486	202	169	130	94	96	79	73	8	11
		100.0	41.6	34.8	26.7	19.3	19.8	16.3	15.0	1.6	2.3
	北部地域	277	140	101	56	60	49	40	47	2	9
		100.0	50.5	36.5	20.2	21.7	17.7	14.4	17.0	0.7	3.2
	無回答	11	6	4	2	2	1	1	2	-	2
		100.0	54.5	36.4	18.2	18.2	9.1	9.1	18.2	-	18.2

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

（５）【環境保全】に関する取組みについて（設問 17）

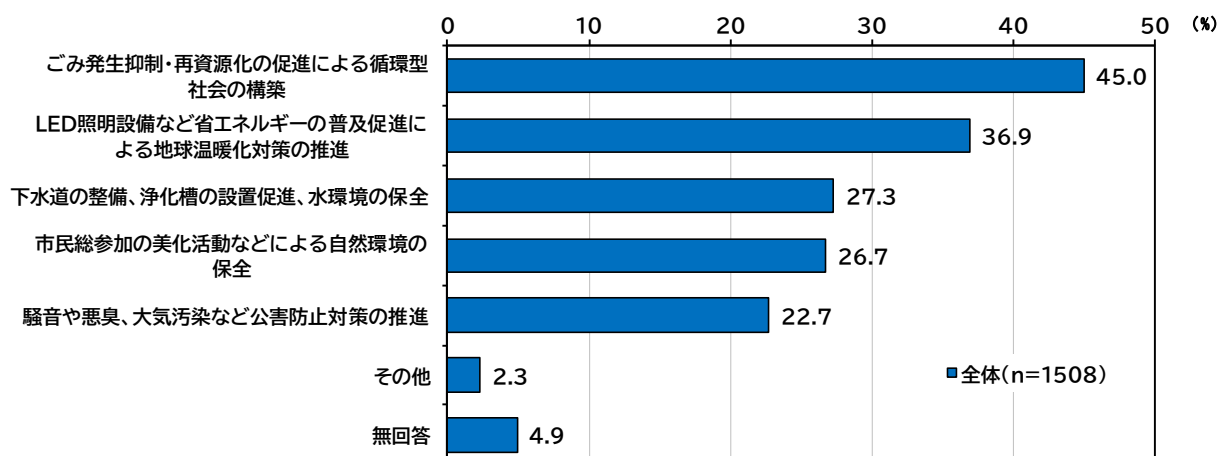
【環境保全】に関する取組みについて、特に必要だと思うこととしては、「ごみ発生抑制・再資源化の促進による循環型社会の構築」が 45.0%と最も多く、次いで「ＬＥＤ照明設備など省エネルギーの普及促進による地球温暖化対策の推進」が 36.9%となっています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、「ＬＥＤ照明設備など省エネルギーの普及促進による地球温暖化対策の推進」において 20～50 代、「下水道の整備、浄化槽の設置促進、水環境の保全」において 10～40 代、「騒音や悪臭、大気汚染など公害防止対策の推進」において 10～30 代が多くなっています。

設問 17 【環境保全】に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？

< 2 つまでに○印 >



■ 属性別にみた【環境保全】に関する必要だと思う取組み ■

上段：人 下段：%		サン プル 数	ののの 構促み 築進生 による 抑制 循環・ 再資 源社 会化	るネL 地球ギD 温暖の 化普設 対策促 の進な 進によ 工	設下 置水道 促進の 整備、 水環 境浄 化槽 の全	ど市 民総 参加 の美 化の 活動 全	ど騒 音や 悪臭、 公害 防止 対策 の大 気汚 染な	そ の 他	無 回 答
全体		1508	679	556	412	403	343	35	74
		100.0	45.0	36.9	27.3	26.7	22.7	2.3	4.9
性 別	男性	635	305	230	192	177	156	18	16
		100.0	48.0	36.2	30.2	27.9	24.6	2.8	2.5
	女性	869	374	325	218	224	186	17	58
		100.0	43.0	37.4	25.1	25.8	21.4	2.0	6.7
	無回答	4	-	1	2	2	1	-	-
		100.0	-	25.0	50.0	50.0	25.0	-	-
年 齢 別	10代	51	20	16	17	11	17	1	1
		100.0	39.2	31.4	33.3	21.6	33.3	2.0	2.0
	20代	90	26	38	30	18	38	2	-
		100.0	28.9	42.2	33.3	20.0	42.2	2.2	-
	30代	109	42	49	41	17	36	6	-
		100.0	38.5	45.0	37.6	15.6	33.0	5.5	-
	40代	188	81	83	77	25	44	3	1
		100.0	43.1	44.1	41.0	13.3	23.4	1.6	0.5
	50代	213	91	97	62	54	34	9	5
		100.0	42.7	45.5	29.1	25.4	16.0	4.2	2.3
	60代	260	136	100	63	77	49	1	10
		100.0	52.3	38.5	24.2	29.6	18.8	0.4	3.8
	70代以上	593	282	173	120	199	123	13	57
		100.0	47.6	29.2	20.2	33.6	20.7	2.2	9.6
	無回答	4	1	-	2	2	2	-	-
		100.0	25.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-
地 域 別	東部地域	216	92	85	65	60	44	4	9
		100.0	42.6	39.4	30.1	27.8	20.4	1.9	4.2
	西部地域	518	256	174	138	128	126	12	27
		100.0	49.4	33.6	26.6	24.7	24.3	2.3	5.2
	南部地域	486	208	190	121	145	102	13	20
		100.0	42.8	39.1	24.9	29.8	21.0	2.7	4.1
	北部地域	277	119	104	84	67	68	6	16
		100.0	43.0	37.5	30.3	24.2	24.5	2.2	5.8
	無回答	11	4	3	4	3	3	-	2
		100.0	36.4	27.3	36.4	27.3	27.3	-	18.2

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

（６）【都市基盤】や【生活環境】に関する取組みについて（設問 18）

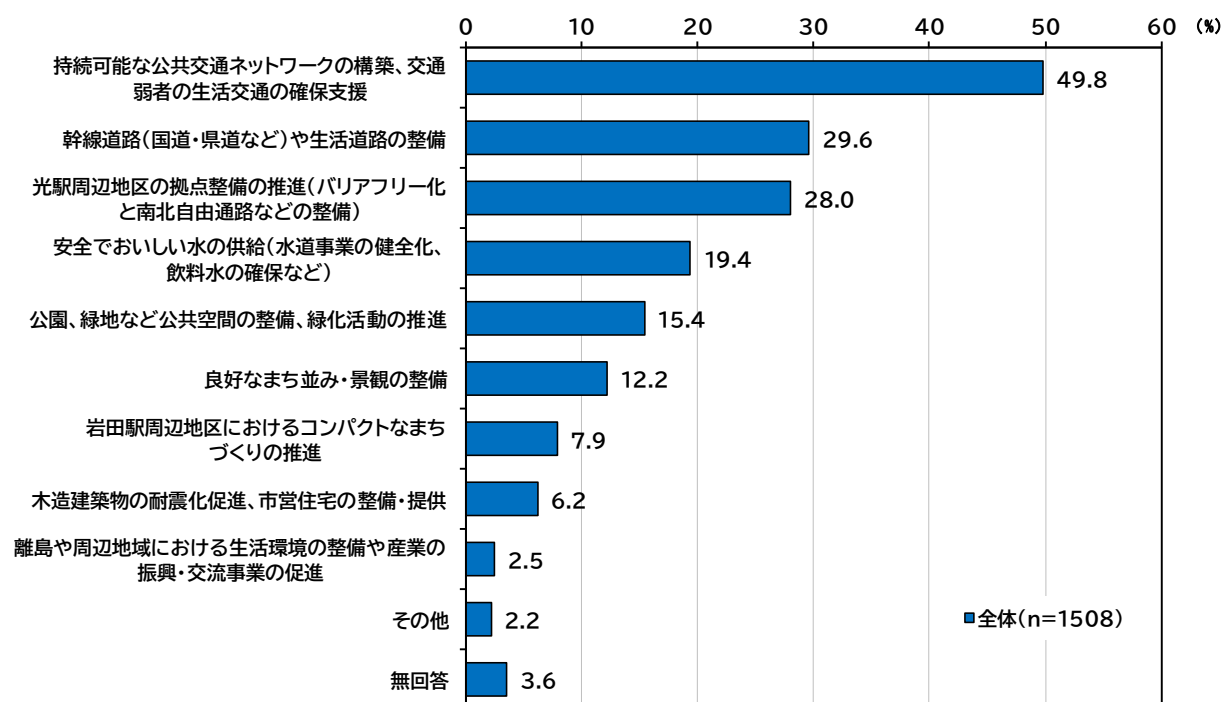
【都市基盤】や【生活環境】に関する取組みについて、特に必要だと思うこととしては、「持続可能な公共交通ネットワークの構築、交通弱者の生活交通の確保支援」が 49.8%と特に多く、次いで「幹線道路（国道・県道など）や生活道路の整備」が 29.6%、「光駅周辺地区の拠点整備の推進（バリアフリー化と南北自由通路などの整備）」が 28.0%となっています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、「光駅周辺地区の拠点整備の推進（バリアフリー化と南北自由通路などの整備）」において 10 代では最も多くなっています。
- 地域別にみると、「光駅周辺地区の拠点整備の推進（バリアフリー化と南北自由通路などの整備）」において西部地域、「岩田駅周辺地区におけるコンパクトなまちづくりの推進」において東部地域が特に多くなっています。

設問 18 【都市基盤】や【生活環境】に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？

< 2 つまでに○印 >



■ 属性別にみた【都市基盤】や【生活環境】に関する必要だと思う取組み ■

上段：人 下段：％		サン プル 数	持続可能な公共交通ネットワークの確保支援	幹線道路（国道・県道など）や生活道路の整備	光駅周辺地区の拠点整備の推進（バリアフリー化と南北自由通路などの整備）	安全でおいしい水の供給（水道事業の健全化、飲料水の確保など）	公園、緑地など公共空間の整備、緑化活動の推進	良好なまち並み・景観の整備	岩田駅周辺地区におけるコンパクトなまちづくりの推進	木造建築物の耐震化促進、市営住宅の整備・提供	離島や周辺地域における生活環境の整備や産業の振興・交流事業の促進	その他	無回答
全体		1508 100.0	751 49.8	447 29.6	422 28.0	293 19.4	232 15.4	184 12.2	119 7.9	94 6.2	37 2.5	33 2.2	54 3.6
性別	男性	635 100.0	302 47.6	210 33.1	175 27.6	116 18.3	106 16.7	82 12.9	61 9.6	38 6.0	21 3.3	18 2.8	16 2.5
	女性	869 100.0	447 51.4	235 27.0	247 28.4	176 20.3	126 14.5	101 11.6	58 6.7	56 6.4	16 1.8	15 1.7	38 4.4
	無回答	4 100.0	2 50.0	2 50.0	- -	1 25.0	- -	1 25.0	- -	- -	- -	- -	- -
年齢別	10代	51 100.0	21 41.2	9 17.6	22 43.1	5 9.8	10 19.6	9 17.6	1 2.0	4 7.8	- -	2 3.9	1 2.0
	20代	90 100.0	31 34.4	21 23.3	28 31.1	23 25.6	22 24.4	15 16.7	8 8.9	11 12.2	5 5.6	3 3.3	- -
	30代	109 100.0	42 38.5	36 33.0	40 36.7	18 16.5	34 31.2	14 12.8	6 5.5	5 4.6	3 2.8	3 2.8	- -
	40代	188 100.0	95 50.5	52 27.7	54 28.7	39 20.7	29 15.4	29 15.4	16 8.5	12 6.4	4 2.1	3 1.6	2 1.1
	50代	213 100.0	108 50.7	72 33.8	63 29.6	51 23.9	30 14.1	27 12.7	12 5.6	11 5.2	6 2.8	2 0.9	3 1.4
	60代	260 100.0	144 55.4	94 36.2	64 24.6	48 18.5	34 13.1	34 13.1	24 9.2	12 4.6	7 2.7	3 1.2	6 2.3
	70代以上	593 100.0	308 51.9	163 27.5	150 25.3	108 18.2	72 12.1	56 9.4	51 8.6	39 6.6	12 2.0	17 2.9	41 6.9
	無回答	4 100.0	2 50.0	- -	1 25.0	1 25.0	1 25.0	- -	1 25.0	- -	- -	- -	1 25.0
地域別	東部地域	216 100.0	109 50.5	58 26.9	13 6.0	27 12.5	25 11.6	19 8.8	93 43.1	13 6.0	7 3.2	5 2.3	9 4.2
	西部地域	518 100.0	201 38.8	148 28.6	234 45.2	105 20.3	91 17.6	54 10.4	6 1.2	36 6.9	8 1.5	12 2.3	22 4.2
	南部地域	486 100.0	271 55.8	137 28.2	118 24.3	105 21.6	81 16.7	78 16.0	10 2.1	24 4.9	17 3.5	7 1.4	12 2.5
	北部地域	277 100.0	166 59.9	100 36.1	56 20.2	51 18.4	34 12.3	31 11.2	10 3.6	20 7.2	5 1.8	9 3.2	9 3.2
	無回答	11 100.0	4 36.4	4 36.4	1 9.1	5 45.5	1 9.1	2 18.2	- -	1 9.1	- -	- -	2 18.2

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

（７）【産業振興】や【労働】に関する取組みについて（設問 19）

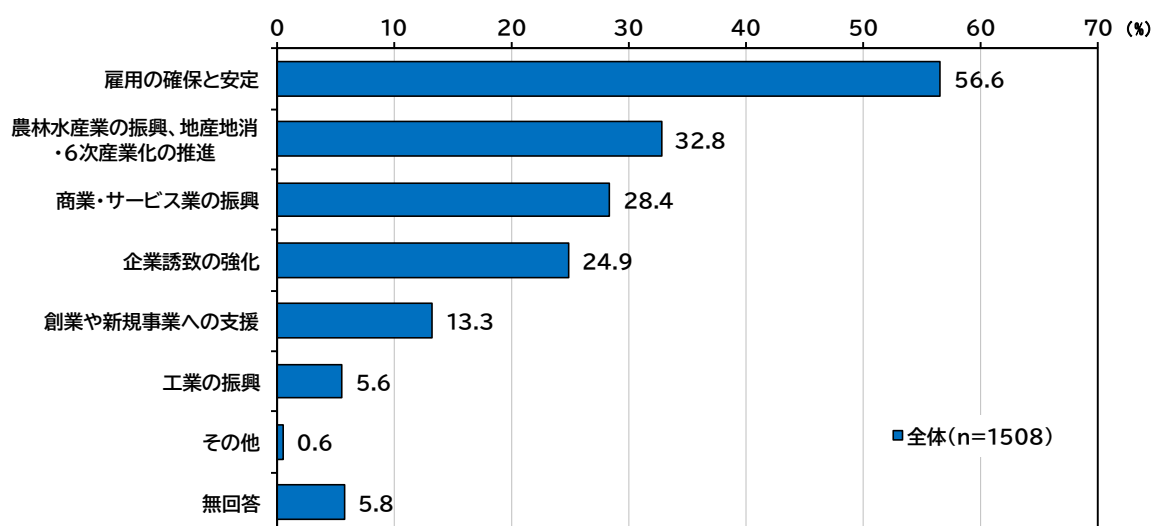
【産業振興】や【労働】に関する取組みについて、特に必要だと思うこととしては、「雇用の確保と安定」が 56.6%と特に多く、次いで「農林水産業の振興、地産地消・6次産業化の推進」が 32.8%、「商業・サービス業の振興」が 28.4%、「企業誘致の強化」が 24.9%となっています。

【属性別特徴】

- 性別にみると、「企業誘致の強化」において男性が多くなっています。
- 年齢別にみると、「雇用の確保と安定」において 20～50 代が特に多くなっています。また、「商業・サービス業の振興」において 10 代、20 代が多くなっています。

設問 19 【産業振興】や【労働】に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？

< 2 つまでに○印 >



■ 属性別にみた【産業振興】や【労働】に関する必要だと思う取組み ■

上段：人 下段：%		サン プル 数	雇 用 の 確 保 と 安 定	農 林 水 産 業 の 振 興、 地 産 地 消・ 6 次 産 業 化 の 推 進	商 業・ サ ー ビ ス 業 の 振 興	企 業 誘 致 の 強 化	創 業 や 新 規 事 業 へ の 支 援	工 業 の 振 興	そ の 他	無 回 答
全体		1508 100.0	854 56.6	495 32.8	429 28.4	375 24.9	201 13.3	85 5.6	9 0.6	87 5.8
性 別	男性	635 100.0	340 53.5	212 33.4	179 28.2	212 33.4	105 16.5	56 8.8	8 1.3	17 2.7
	女性	869 100.0	511 58.8	283 32.6	248 28.5	163 18.8	96 11.0	29 3.3	1 0.1	70 8.1
	無回答	4 100.0	3 75.0	- -	2 50.0	- -	- -	- -	- -	- -
年 齢 別	10代	51 100.0	25 49.0	11 21.6	20 39.2	10 19.6	7 13.7	6 11.8	- -	2 3.9
	20代	90 100.0	56 62.2	18 20.0	37 41.1	15 16.7	10 11.1	9 10.0	- -	4 4.4
	30代	109 100.0	73 67.0	21 19.3	34 31.2	28 25.7	23 21.1	10 9.2	- -	- -
	40代	188 100.0	129 68.6	58 30.9	61 32.4	41 21.8	26 13.8	9 4.8	2 1.1	- -
	50代	213 100.0	140 65.7	57 26.8	64 30.0	51 23.9	23 10.8	17 8.0	4 1.9	3 1.4
	60代	260 100.0	153 58.8	113 43.5	68 26.2	67 25.8	29 11.2	8 3.1	- -	8 3.1
	70代以上	593 100.0	278 46.9	215 36.3	142 23.9	162 27.3	82 13.8	26 4.4	3 0.5	70 11.8
	無回答	4 100.0	- -	2 50.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -
地 域 別	東部地域	216 100.0	116 53.7	86 39.8	57 26.4	48 22.2	27 12.5	10 4.6	- -	14 6.5
	西部地域	518 100.0	297 57.3	153 29.5	157 30.3	123 23.7	68 13.1	31 6.0	1 0.2	37 7.1
	南部地域	486 100.0	277 57.0	153 31.5	133 27.4	138 28.4	67 13.8	31 6.4	6 1.2	19 3.9
	北部地域	277 100.0	159 57.4	100 36.1	78 28.2	63 22.7	38 13.7	13 4.7	2 0.7	15 5.4
	無回答	11 100.0	5 45.5	3 27.3	4 36.4	3 27.3	1 9.1	- -	- -	2 18.2

(注) 太字は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

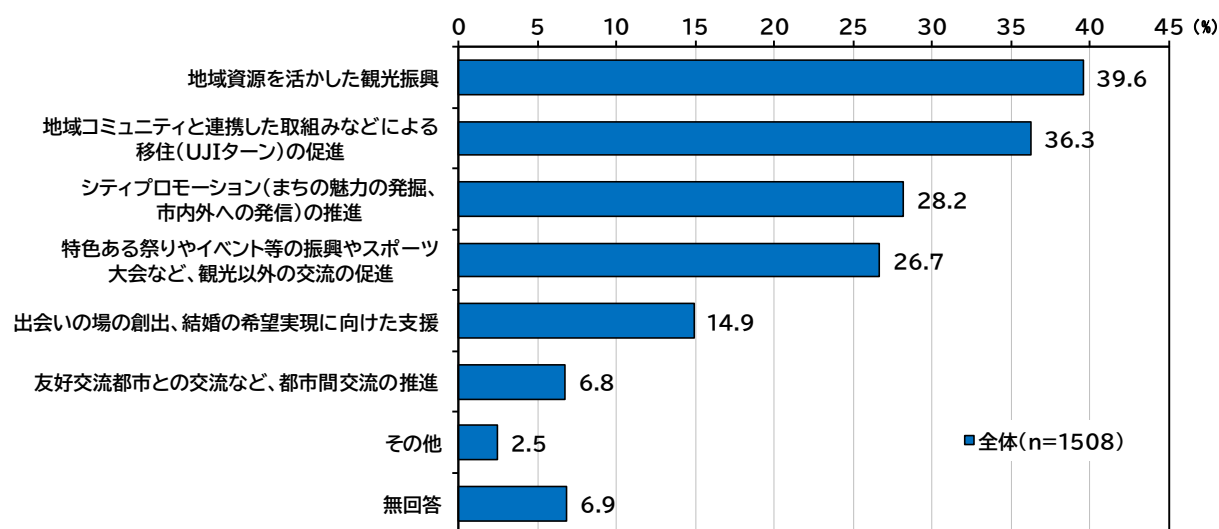
（８）【交流】や【移住・定住】に関する取組みについて（設問 20）

【交流】や【移住・定住】に関する取組みについて、特に必要だと思うこととしては、「地域資源を活かした観光振興」が 39.6%と最も多く、次いで「地域コミュニティと連携した取組みなどによる移住（U J I ターン）の促進」が 36.3%、「シティプロモーション（まちの魅力の発掘、市内外への発信）の推進」が 28.2%、「特色ある祭りやイベント等の振興やスポーツ大会など、観光以外の交流の促進」が 26.7%となっています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、「特色ある祭りやイベント等の振興やスポーツ大会など、観光以外の交流の促進」において 10～30 代で特に多くなっています。「地域コミュニティと連携した取組みなどによる移住（U J I ターン）の促進」において 10 代、60 代が多くなっています。

設問 20 【交流】や【移住・定住】に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？
< 2 つまでに○印 >



■ 属性別にみた【交流】や【移住・定住】に関する必要だと思う取組み ■

上段：人 下段：%		サン プル 数	振地 興域 資 源 を 活 か し た 観 光	進住 した （U J I タ ー ン） 組 み な ど に よ る 連 携 の 推 進	地 域 コ ミ ュ ニ ティ と の 推 進	シ ティ の 魅 力 の 推 進	内 外 へ の 交 流 の 推 進	促 進	等 の 振 興 以 外 の 交 流 の 推 進	特 色 あ る 祭 り や ス ポ ー ツ 大 会 の 推 進	出 会 い の 場 の 創 出 、 結 婚 の 希 望 実 現 に 向 け た 支 援	友 好 交 流 都 市 と の 交 流 の 推 進	そ の 他	無 回 答
全体		1508 100.0	597 39.6	548 36.3	426 28.2	403 26.7	225 14.9	103 6.8	38 2.5	104 6.9				
性 別	男性	635 100.0	258 40.6	233 36.7	188 29.6	183 28.8	107 16.9	58 9.1	17 2.7	28 4.4				
	女性	869 100.0	337 38.8	313 36.0	237 27.3	220 25.3	118 13.6	45 5.2	21 2.4	76 8.7				
	無回答	4 100.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	- -	- -	- -	- -	- -				
	10代	51 100.0	11 21.6	21 41.2	7 13.7	23 45.1	10 19.6	2 3.9	1 2.0	1 2.0				
年 齢 別	20代	90 100.0	39 43.3	26 28.9	25 27.8	36 40.0	10 11.1	10 11.1	2 2.2	2 2.2				
	30代	109 100.0	35 32.1	35 32.1	29 26.6	43 39.4	21 19.3	11 10.1	7 6.4	2 1.8				
	40代	188 100.0	69 36.7	65 34.6	57 30.3	54 28.7	24 12.8	17 9.0	8 4.3	7 3.7				
	50代	213 100.0	99 46.5	81 38.0	62 29.1	52 24.4	27 12.7	13 6.1	8 3.8	8 3.8				
	60代	260 100.0	110 42.3	123 47.3	82 31.5	62 23.8	38 14.6	8 3.1	1 0.4	9 3.5				
	70代以上	593 100.0	233 39.3	196 33.1	162 27.3	132 22.3	95 16.0	40 6.7	11 1.9	75 12.6				
	無回答	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	- -	2 50.0	- -	- -				
	地 域 別	東部地域	216 100.0	78 36.1	86 39.8	66 30.6	53 24.5	22 10.2	10 4.6	5 2.3	19 8.8			
		西部地域	518 100.0	211 40.7	157 30.3	149 28.8	144 27.8	85 16.4	36 6.9	14 2.7	41 7.9			
南部地域		486 100.0	207 42.6	189 38.9	132 27.2	131 27.0	69 14.2	35 7.2	8 1.6	26 5.3				
北部地域		277 100.0	98 35.4	111 40.1	78 28.2	71 25.6	47 17.0	21 7.6	11 4.0	16 5.8				
無回答		11 100.0	3 27.3	5 45.5	1 9.1	4 36.4	2 18.2	1 9.1	- -	2 18.2				

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

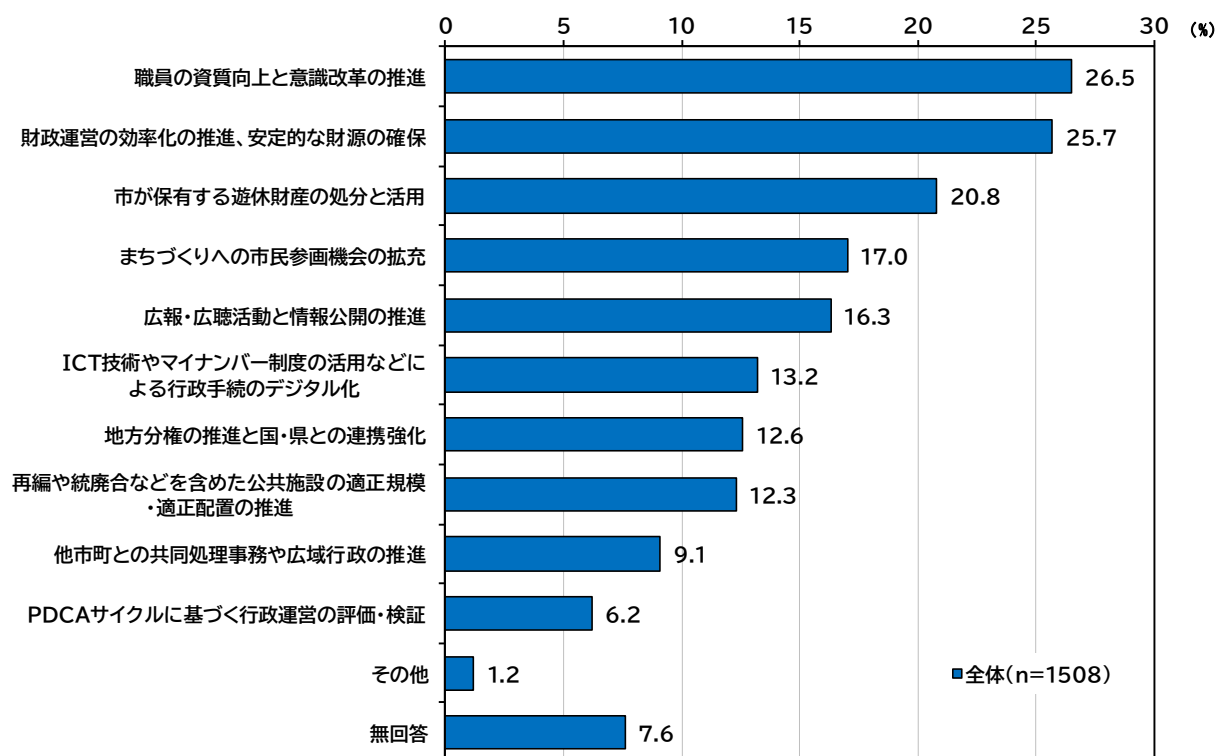
（９）【市民参画】や【行財政運営】に関する取組みについて（設問 21）

【市民参画】や【行財政運営】に関する取組みについて、特に必要だと思うこととしては、「職員の資質向上と意識改革の推進」が 26.5%と最も多く、次いで「財政運営の効率化の推進、安定的な財源の確保」が 25.7%、「市が保有する遊休財産の処分と活用」が 20.8%となっています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、「まちづくりへの市民参画機会の拡充」において 10 代では最も多くなっています。

設問 21 【市民参画】や【行財政運営】に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？
 ＜2 つまでに○印＞



■ 属性別にみた【市民参画】や【行財政運営】に関する必要だと思う取組み ■

上段：人 下段：％		サ ン プ ル 数	推 進 員 の 資 質 向 上 と 意 識 改 革 の	定 財 政 的 な 財 源 の 確 保	市 が 保 有 す る 遊 休 財 産 の 処 分 と 活 用	の ま ち づ く り へ の 市 民 参 画 機 会 の 拡 充	広 報 ・ 広 聴 活 動 と 情 報 公 開 の 推 進	度 の デ ジ タ ル 化 な ど に よ る 行 政 手 続 制 の 改 善	地 方 分 権 の 推 進 と 国 ・ 県 と の 連 携 強 化	再 編 や 統 合 な ど を 含 め た 公 共 施 設 の 適 正 規 模 ・ 適 正 配 置 の 推 進	他 市 町 の 推 進 の 共 同 処 理 事 務 や 広 域 行 政 の 推 進	P D C A サ イ ク ル に 基 づ く 行 政 運 営 の 評 価 ・ 検 証	そ の 他	無 回 答
全体		1508 100.0	399 26.5	388 25.7	313 20.8	256 17.0	246 16.3	199 13.2	190 12.6	185 12.3	137 9.1	94 6.2	18 1.2	114 7.6
性 別	男性	635 100.0	160 25.2	174 27.4	124 19.5	105 16.5	108 17.0	103 16.2	83 13.1	98 15.4	70 11.0	61 9.6	10 1.6	28 4.4
	女性	869 100.0	238 27.4	214 24.6	189 21.7	150 17.3	137 15.8	94 10.8	107 12.3	87 10.0	66 7.6	33 3.8	8 0.9	86 9.9
	無回答	4 100.0	1 25.0	- -	- -	1 25.0	1 25.0	2 50.0	- -	- -	1 25.0	- -	- -	- -
年 齢 別	10代	51 100.0	12 23.5	8 15.7	6 11.8	15 29.4	7 13.7	10 19.6	6 11.8	3 5.9	3 5.9	6 11.8	1 2.0	1 2.0
	20代	90 100.0	21 23.3	20 22.2	18 20.0	12 13.3	15 16.7	19 21.1	13 14.4	12 13.3	6 6.7	7 7.8	2 2.2	5 5.6
	30代	109 100.0	23 21.1	23 21.1	31 28.4	23 21.1	25 22.9	19 17.4	12 11.0	10 9.2	14 12.8	12 11.0	2 1.8	1 0.9
	40代	188 100.0	51 27.1	51 27.1	51 27.1	23 12.2	20 10.6	29 15.4	20 10.6	28 14.9	19 10.1	10 5.3	3 1.6	7 3.7
	50代	213 100.0	56 26.3	60 28.2	45 21.1	40 18.8	27 12.7	38 17.8	26 12.2	21 9.9	16 7.5	19 8.9	4 1.9	11 5.2
	60代	260 100.0	78 30.0	80 30.8	43 16.5	49 18.8	41 15.8	24 9.2	43 16.5	38 14.6	31 11.9	13 5.0	- -	14 5.4
	70代以上	593 100.0	156 26.3	146 24.6	119 20.1	92 15.5	110 18.5	60 10.1	70 11.8	72 12.1	47 7.9	27 4.6	6 1.0	75 12.6
	無回答	4 100.0	2 50.0	- -	- -	2 50.0	1 25.0	- -	- -	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -
地 域 別	東部地域	216 100.0	56 25.9	56 25.9	41 19.0	38 17.6	36 16.7	23 10.6	21 9.7	28 13.0	23 10.6	13 6.0	4 1.9	18 8.3
	西部地域	518 100.0	130 25.1	131 25.3	123 23.7	89 17.2	96 18.5	64 12.4	74 14.3	45 8.7	45 8.7	27 5.2	7 1.4	42 8.1
	南部地域	486 100.0	142 29.2	128 26.3	100 20.6	82 16.9	73 15.0	64 13.2	53 10.9	65 13.4	43 8.8	36 7.4	4 0.8	32 6.6
	北部地域	277 100.0	70 25.3	69 24.9	49 17.7	45 16.2	40 14.4	45 16.2	41 14.8	46 16.6	25 9.0	17 6.1	3 1.1	19 6.9
	無回答	11 100.0	1 9.1	4 36.4	- -	2 18.2	1 9.1	3 27.3	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	- -	3 27.3

(注) 太字は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

5 社会情勢の変化への対応について

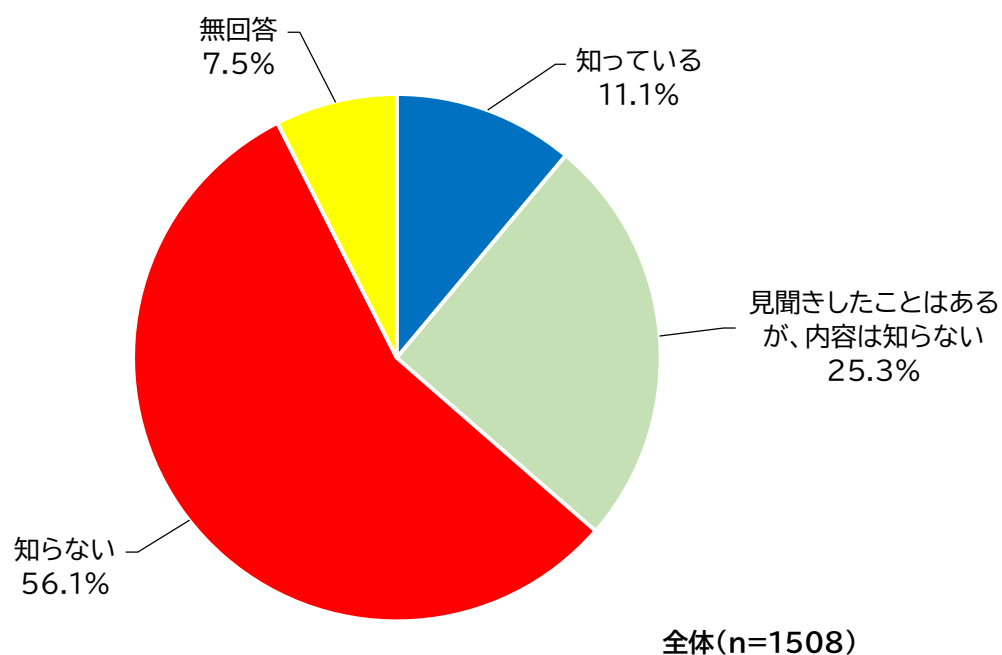
(1) 『SDGs (エス・ディ・ジーズ)』の認知状況 (設問22)

『SDGs (エス・ディ・ジーズ)』については、「知っている」が11.1%、「見聞きしたことはあるが、内容は知らない」が25.3%、「知らない」が56.1%となっています。

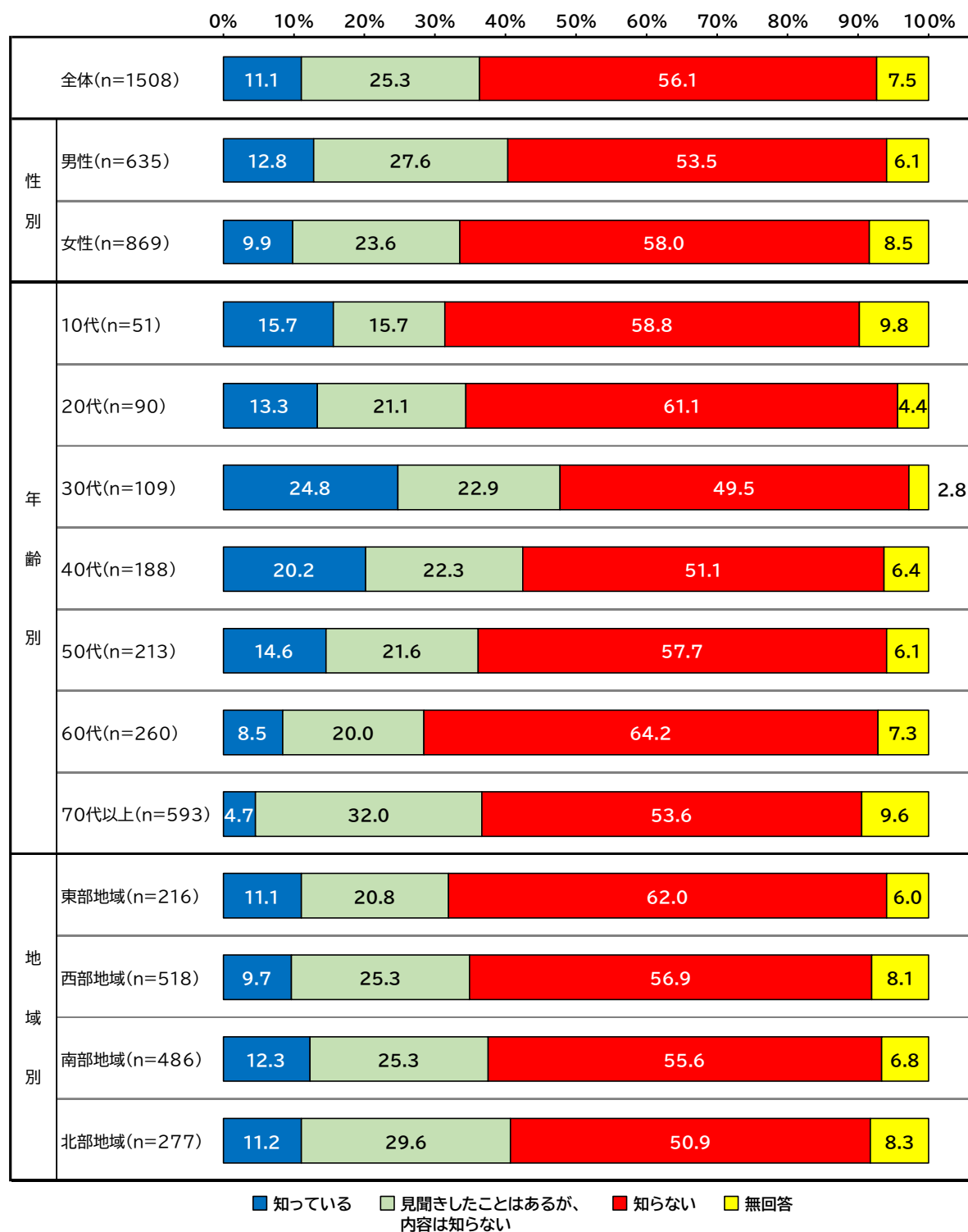
【属性別特徴】

- 性別にみると、「知っている」、「見聞きしたことはあるが、内容は知らない」において男性の方がやや多くなっています。
- 年齢別にみると、「知っている」において30代が最も多くなっています。

設問22 2015年の国連サミットで採択された、2030年までに「誰一人取り残さない」持続可能でより良い世界を目指すための国際目標『SDGs (エス・ディ・ジーズ)』を知っていますか。



■ 属性別にみた『SDGs（エス・ディ・ジーズ）』の認知状況 ■



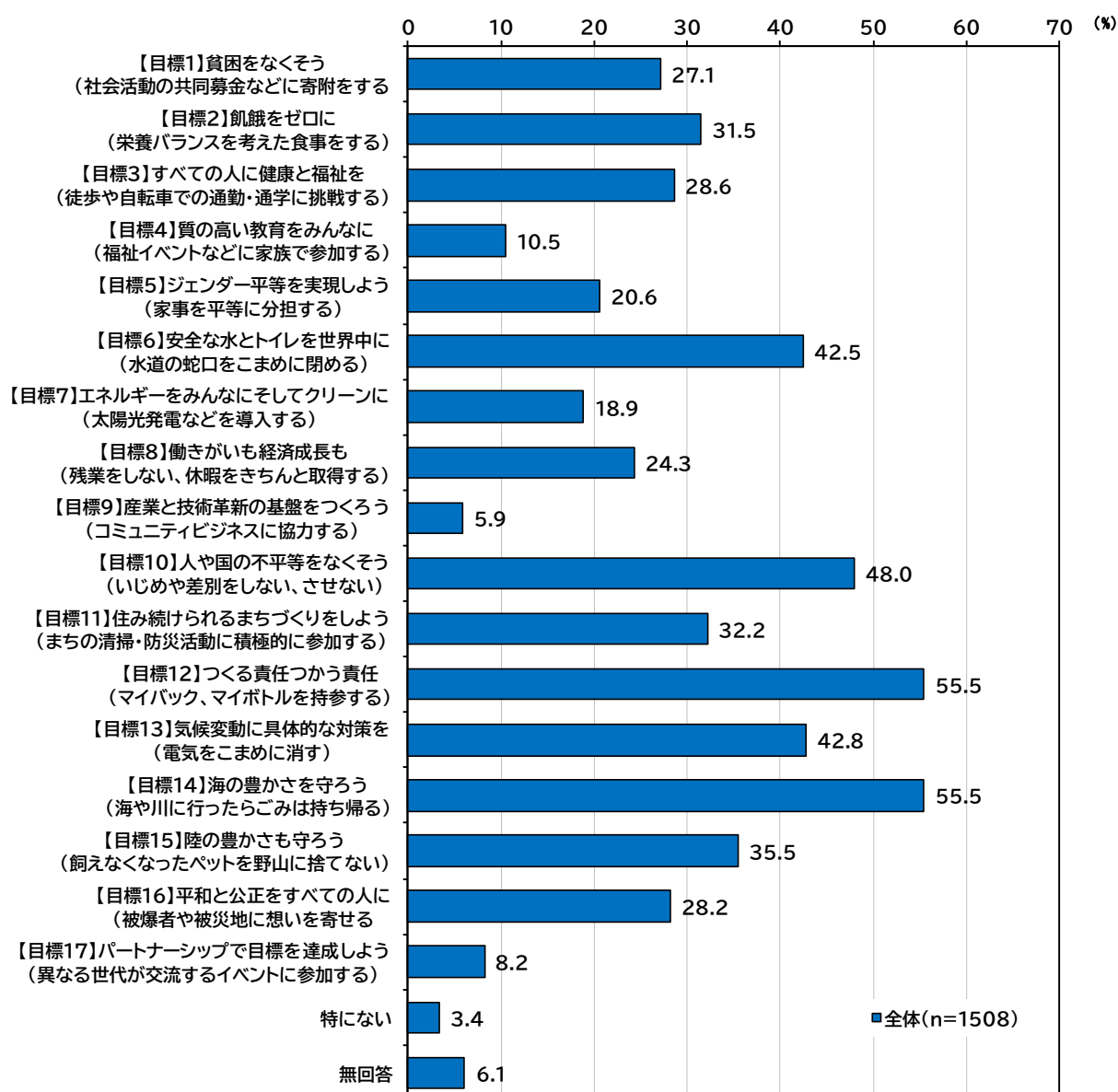
（２）暮らしの中で取り組んでいる・今後取り組みたいSDGsの目標（設問 23）

暮らしの中で取り組んでいる・今後取り組みたいSDGsとしては、「【目標 12】 つくる責任つかう責任（マイバック、マイボトルを持参する）」と「【目標 14】 海の豊かさを守ろう（海や川に行ったらごみは持ち帰る）」が各 55.5%と半数を超えています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、「【目標 10】 人や国の不平等をなくそう（いじめや差別をしない、させない）」において 10 代では最も多くなっています。

設問 23 SDGsに掲げる 17 のゴール（目標）のうち、暮らしの中であなた自身に取り組んでいる、または、今後取り組みたいものは何ですか？ <あてはまるもの全てに○印>



■ 属性別にみた暮らしの中で取り組んでいる・今後取り組みたいSDGsの目標 ■

上段：人 下段：%		サンプル数	【目標1】貧困をなくそう（社会活動の共同募金などに寄附をする）	【目標2】飢餓をゼロに（栄養バランスを考えた食事を考える）	【目標3】すべての人に健康と福祉を（徒歩や自転車での通勤・通学に挑戦する）	【目標4】質の高い教育をみんなに（福祉イベントなどに家族で参加する）	【目標5】ジェンダー平等を実現しよう（家事を平等に分担する）	【目標6】安全な水とトイレを世界中に（水道の蛇口をこまめに閉める）	【目標7】エネルギーをみんなにそしてクリーンに（太陽光発電などを導入する）	【目標8】働きがいも経済成長も（残業をしない、休暇をきちんと取得する）	【目標9】産業と技術革新の基盤をつくろう（コミュニティビジネスに協力する）	【目標10】人や国の不平等をなくそう（いじめや差別をしない、させない）	【目標11】住み続けられるまちづくりをしよう（まちの清掃・防災活動に積極的に参加する）	【目標12】つくる責任つかう責任（マイバック、マイボトルを持参する）	【目標13】気候変動に具体的な対策を（電気をこまめに消す）	【目標14】海の豊かさを守ろう（海や川に行ったらごみは持ち帰る）	【目標15】陸の豊かさを守ろう（飼えなくなったペットを野山に捨てない）	【目標16】平和と公正をすべての人に（被爆者や被災地に想いを寄せる）	【目標17】パートナーシップで目標を達成しよう（異なる世代が交流するイベントに参加する）	特になし	無回答
全体		1508 100.0	408 27.1	475 31.5	431 28.6	159 10.5	310 20.6	641 42.5	285 18.9	366 24.3	89 5.9	724 48.0	485 32.2	837 55.5	645 42.8	837 55.5	536 35.5	426 28.2	124 8.2	52 3.4	92 6.1
性別	男性	635 100.0	152 23.9	156 24.6	190 29.9	67 10.6	131 20.6	229 36.1	128 20.2	158 24.9	35 5.5	276 43.5	216 34.0	284 44.7	222 35.0	320 50.4	193 30.4	140 22.0	45 7.1	37 5.8	38 6.0
	女性	869 100.0	256 29.5	318 36.6	240 27.6	92 10.6	179 20.6	411 47.3	156 18.0	208 23.9	53 6.1	447 51.4	269 31.0	553 63.6	422 48.6	517 59.5	343 39.5	286 32.9	79 9.1	14 1.6	54 6.2
	無回答	4 100.0	- -	1 25.0	1 25.0	- -	- -	1 25.0	1 25.0	- -	1 25.0	1 25.0	- -	- -	1 25.0	- -	- -	- -	- -	1 25.0	- -
年齢別	10代	51 100.0	14 27.5	11 21.6	14 27.5	7 13.7	7 13.7	18 35.3	8 15.7	12 23.5	3 5.9	30 58.8	11 21.6	23 45.1	18 35.3	21 41.2	16 31.4	10 19.6	4 7.8	2 3.9	1 2.0
	20代	90 100.0	22 24.4	30 33.3	18 20.0	8 8.9	28 31.1	40 44.4	12 13.3	35 38.9	3 3.3	44 48.9	18 20.0	47 52.2	38 42.2	47 52.2	29 32.2	25 27.8	6 6.7	10 11.1	1 1.1
	30代	109 100.0	24 22.0	28 25.7	27 24.8	12 11.0	36 33.0	42 38.5	20 18.3	46 42.2	5 4.6	42 38.5	21 19.3	61 56.0	41 37.6	63 57.8	35 32.1	29 26.6	13 11.9	5 4.6	2 1.8
	40代	188 100.0	44 23.4	73 38.8	37 19.7	20 10.6	55 29.3	86 45.7	47 25.0	71 37.8	9 4.8	102 54.3	47 25.0	118 62.8	84 44.7	124 66.0	80 42.6	65 34.6	16 8.5	3 1.6	3 1.6
	50代	213 100.0	56 26.3	72 33.8	58 27.2	27 12.7	52 24.4	94 44.1	36 16.9	82 38.5	13 6.1	108 50.7	63 29.6	137 64.3	98 46.0	123 57.7	94 44.1	65 30.5	21 9.9	10 4.7	6 2.8
	60代	260 100.0	75 28.8	75 28.8	70 26.9	23 8.8	47 18.1	103 39.6	41 15.8	52 20.0	16 6.2	124 47.7	95 36.5	139 53.5	111 42.7	134 51.5	86 33.1	67 25.8	18 6.9	5 1.9	11 4.2
	70代以上	593 100.0	170 28.7	183 30.9	205 34.6	61 10.3	83 14.0	257 43.3	121 20.4	68 11.5	39 6.6	272 45.9	228 38.4	310 52.3	253 42.7	323 54.5	194 32.7	163 27.5	46 7.8	17 2.9	68 11.5
	無回答	4 100.0	3 75.0	3 75.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	- -	- -	1 25.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	- -	- -	- -
地域別	東部地域	216 100.0	48 22.2	53 24.5	53 24.5	23 10.6	42 19.4	77 35.6	33 15.3	42 19.4	8 3.7	102 47.2	68 31.5	112 51.9	89 41.2	101 46.8	74 34.3	57 26.4	16 7.4	3 1.4	17 7.9
	西部地域	518 100.0	149 28.8	176 34.0	163 31.5	62 12.0	117 22.6	233 45.0	113 21.8	127 24.5	38 7.3	246 47.5	161 31.1	287 55.4	228 44.0	302 58.3	167 32.2	143 27.6	49 9.5	16 3.1	28 5.4
	南部地域	486 100.0	124 25.5	157 32.3	133 27.4	44 9.1	93 19.1	221 45.5	76 15.6	128 26.3	26 5.3	237 48.8	158 32.5	277 57.0	209 43.0	285 58.6	185 38.1	138 28.4	33 6.8	17 3.5	27 5.6
	北部地域	277 100.0	82 29.6	87 31.4	79 28.5	28 10.1	55 19.9	107 38.6	63 22.7	65 23.5	17 6.1	133 48.0	95 34.3	157 56.7	117 42.2	145 52.3	106 38.3	87 31.4	26 9.4	16 5.8	18 6.5
	無回答	11 100.0	5 45.5	2 18.2	3 27.3	2 18.2	3 27.3	3 27.3	- -	4 36.4	- -	6 54.5	3 27.3	4 36.4	2 18.2	4 36.4	4 36.4	1 9.1	- -	- -	2 18.2

(注) 太字は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

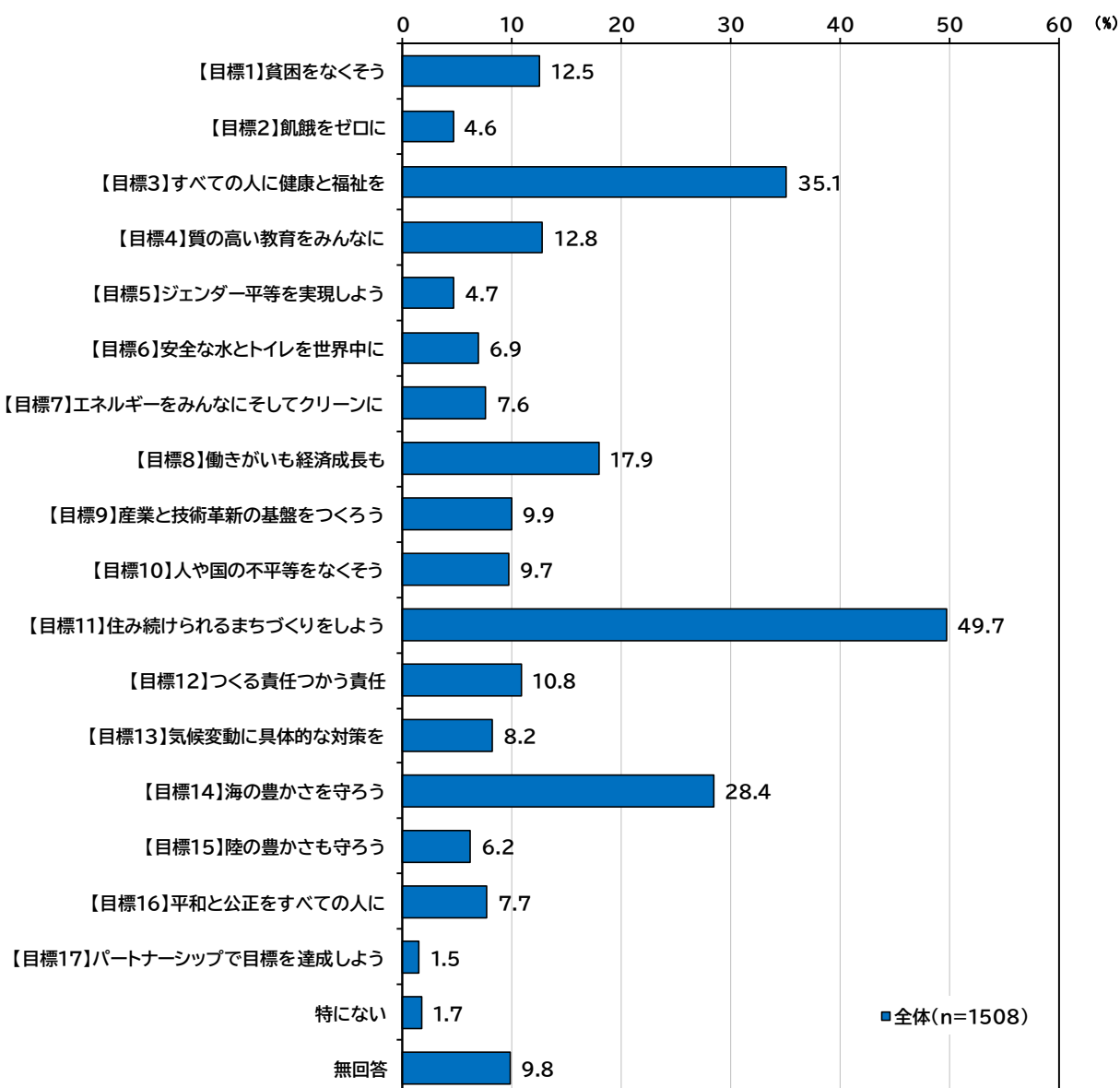
（３）光市のまちづくりで特に必要だと思うSDGsの目標（設問 24）

光市のまちづくりで特に必要だと思うSDGsとしては、「【目標 11】住み続けられるまちづくりをしよう」が 49.7%と最も多く、次いで「【目標 3】すべての人に健康と福祉を」が 35.1%、「【目標 14】海の豊かさを守ろう」が 28.4%となっています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、「【目標 8】働きがいも経済成長も」において 20～40 代が多くなっています。

設問 24 SDGsに掲げる 17 のゴール（目標）のうち、光市のまちづくりで特に必要だと思うものは何ですか？
＜3 つまでに○印＞



■ 属性別にみた光市のまちづくりで特に必要だと思うSDGsの目標 ■

	上段：人 下段：%	サン プル 数	【目標1】 貧困をなくそう	【目標2】 飢餓をゼロに	【目標3】 すべての人に健康と福祉を	【目標4】 質の高い教育をみんなに	【目標5】 ジェンダー平等を実現しよう	【目標6】 安全な水とトイレを世界中に	【目標7】 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	【目標8】 働きがいも経済成長も	【目標9】 産業と技術革新の基盤をつくろう	【目標10】 人や国の不平等をなくそう	【目標11】 住み続けられるまちづくりをしよう	【目標12】 つくる責任つかう責任	【目標13】 気候変動に具体的な対策を	【目標14】 海の豊かさを守ろう	【目標15】 陸の豊かさを守ろう	【目標16】 平和と公正をすべての人に	【目標17】 パートナーシップで目標を達成しよう	特 に な い	無 回 答
全体		1508 100.0	189 12.5	70 4.6	529 35.1	193 12.8	71 4.7	104 6.9	115 7.6	270 17.9	150 9.9	147 9.7	749 49.7	163 10.8	123 8.2	428 28.4	93 6.2	116 7.7	23 1.5	26 1.7	148 9.8
性 別	男性	635 100.0	73 11.5	29 4.6	214 33.7	76 12.0	37 5.8	46 7.2	52 8.2	115 18.1	70 11.0	59 9.3	311 49.0	68 10.7	54 8.5	183 28.8	38 6.0	42 6.6	10 1.6	16 2.5	58 9.1
	女性	869 100.0	116 13.3	41 4.7	313 36.0	116 13.3	34 3.9	57 6.6	63 7.2	155 17.8	79 9.1	88 10.1	436 50.2	95 10.9	68 7.8	244 28.1	55 6.3	74 8.5	13 1.5	10 1.2	90 10.4
	無回答	4 100.0	- -	- -	2 50.0	1 25.0	- -	1 25.0	- -	- -	1 25.0	- -	2 50.0	- -	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -	- -	- -
年 齢 別	10代	51 100.0	5 9.8	- -	15 29.4	13 25.5	3 5.9	4 7.8	4 7.8	8 15.7	7 13.7	6 11.8	23 45.1	4 7.8	3 5.9	15 29.4	4 7.8	6 11.8	1 2.0	1 2.0	1 2.0
	20代	90 100.0	8 8.9	1 1.1	27 30.0	15 16.7	13 14.4	5 5.6	4 4.4	27 30.0	9 10.0	8 8.9	45 50.0	4 4.4	5 5.6	28 31.1	7 7.8	2 2.2	2 2.2	4 4.4	3 3.3
	30代	109 100.0	18 16.5	4 3.7	35 32.1	21 19.3	9 8.3	1 0.9	8 7.3	25 22.9	15 13.8	12 11.0	47 43.1	7 6.4	6 5.5	40 36.7	7 6.4	9 8.3	1 0.9	3 2.8	4 3.7
	40代	188 100.0	23 12.2	10 5.3	57 30.3	37 19.7	12 6.4	8 4.3	7 3.7	53 28.2	23 12.2	26 13.8	81 43.1	17 9.0	9 4.8	59 31.4	13 6.9	15 8.0	4 2.1	3 1.6	11 5.9
	50代	213 100.0	24 11.3	14 6.6	72 33.8	26 12.2	11 5.2	16 7.5	18 8.5	46 21.6	34 16.0	21 9.9	105 49.3	29 13.6	12 5.6	66 31.0	10 4.7	15 7.0	4 1.9	3 1.4	16 7.5
	60代	260 100.0	33 12.7	16 6.2	101 38.8	29 11.2	13 5.0	17 6.5	24 9.2	44 16.9	20 7.7	32 12.3	142 54.6	30 11.5	23 8.8	70 26.9	17 6.5	14 5.4	3 1.2	3 1.2	19 7.3
	70代以上	593 100.0	78 13.2	25 4.2	221 37.3	51 8.6	10 1.7	53 8.9	49 8.3	67 11.3	42 7.1	42 7.1	305 51.4	71 12.0	65 11.0	150 25.3	35 5.9	54 9.1	8 1.3	9 1.5	92 15.5
	無回答	4 100.0	- -	- -	1 25.0	1 25.0	- -	- -	1 25.0	- -	- -	- -	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -	1 25.0	- -	- -	2 50.0
地 域 別	東部地域	216 100.0	25 11.6	9 4.2	85 39.4	32 14.8	11 5.1	20 9.3	15 6.9	33 15.3	13 6.0	17 7.9	104 48.1	31 14.4	25 11.6	47 21.8	23 10.6	14 6.5	5 2.3	6 2.8	16 7.4
	西部地域	518 100.0	72 13.9	26 5.0	167 32.2	56 10.8	22 4.2	36 6.9	44 8.5	89 17.2	57 11.0	62 12.0	246 47.5	57 11.0	43 8.3	164 31.7	27 5.2	35 6.8	5 1.0	7 1.4	57 11.0
	南部地域	486 100.0	54 11.1	14 2.9	175 36.0	71 14.6	23 4.7	31 6.4	40 8.2	98 20.2	52 10.7	38 7.8	255 52.5	44 9.1	26 5.3	152 31.3	23 4.7	44 9.1	8 1.6	6 1.2	44 9.1
	北部地域	277 100.0	37 13.4	20 7.2	98 35.4	33 11.9	13 4.7	15 5.4	16 5.8	50 18.1	26 9.4	29 10.5	141 50.9	31 11.2	28 10.1	64 23.1	20 7.2	23 8.3	5 1.8	7 2.5	28 10.1
	無回答	11 100.0	1 9.1	1 9.1	4 36.4	1 9.1	2 18.2	2 18.2	- -	- -	2 18.2	1 9.1	3 27.3	- -	1 9.1	1 9.1	- -	- -	- -	- -	3 27.3

(注) 太字は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

(4) 新たな日常に対応したまちづくりを進めるために、特に必要なこと（設問 25）

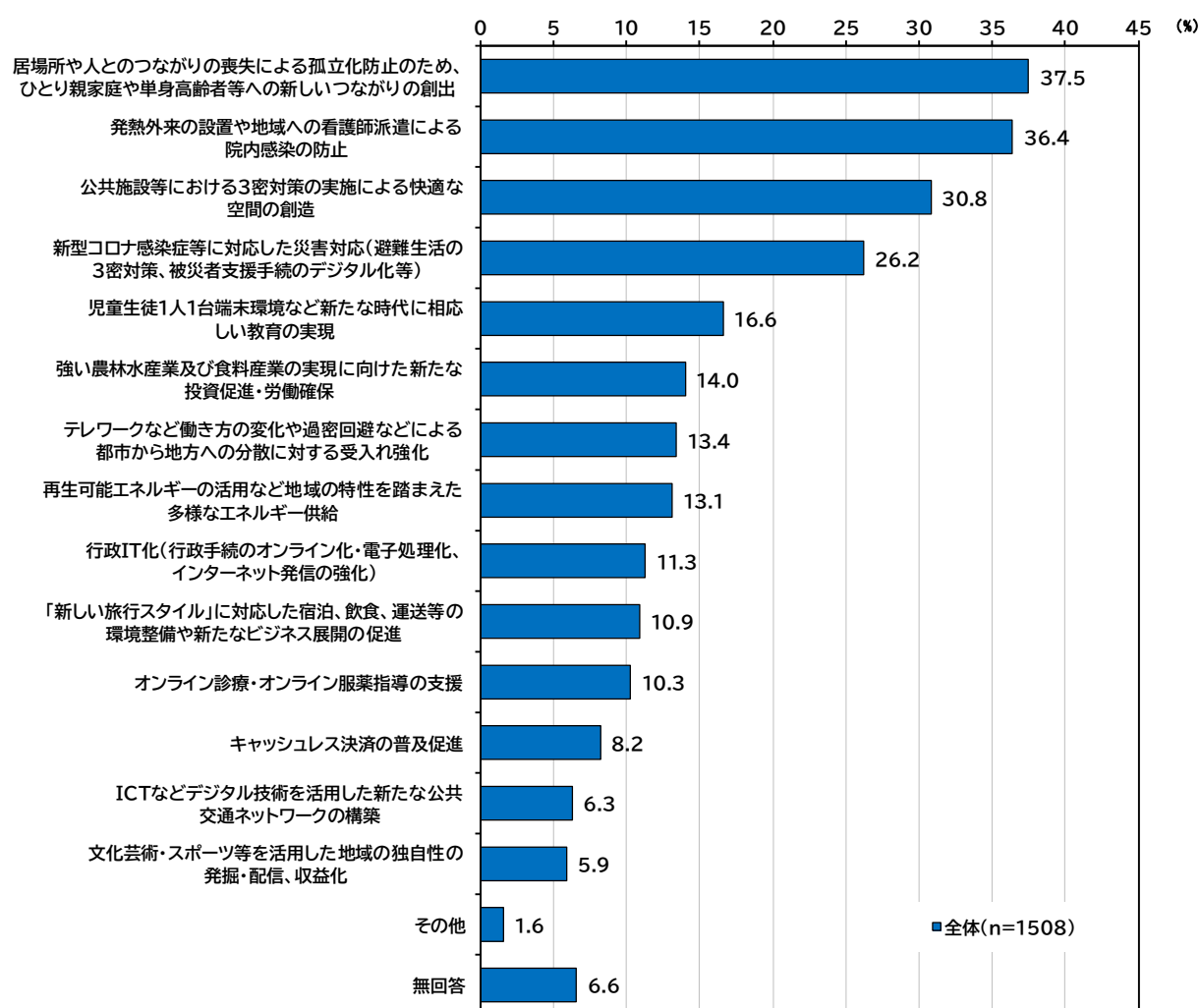
新たな日常に対応したまちづくりを進めるために、特に必要なこととしては、「居場所や人とのつながりの喪失による孤立化防止のため、ひとり親家庭や単身高齢者等への新しいつながりの創出」が 37.5%と最も多く、次いで「発熱外来の設置や地域への看護師派遣による院内感染の防止」が 36.4%、「公共施設等における 3 密対策の実施による快適な空間の創造」が 30.8%となっています。

【属性別特徴】

- 年齢別にみると、「居場所や人とのつながりの喪失による孤立化防止のため、ひとり親家庭や単身高齢者等への新しいつながりの創出」や「発熱外来の設置や地域への看護師派遣による院内感染の防止」において 60 代以上、「公共施設等における 3 密対策の実施による快適な空間の創造」において 10 代、「児童生徒 1 人 1 台端末環境など新たな時代に相応しい教育の実現」において 30 代、40 代が多くなっています。

設問 25 「新たな日常」に対応した、感染症にも経済危機にも強い持続可能なまちづくりを進めるために、特に必要だと思うことは何ですか？

＜3 つまでに○印＞



■ 属性別にみた新たな日常に対応したまちづくりを進めるために、特に必要なこと ■

上段：人 下段：%		サンプル数	居場所や人とのつながりのため、ひとり親家庭や単身高齢者等への新しいつながりの創出	居場所や人とのつながりの喪失による孤立化の防止のため、ひとり親家庭や単身高齢者等への新しいつながりの創出	院内感染の防止	発熱外来の設置や地域への看護師派遣による院内感染の防止	適な空間の創造	公共施設等における3密対策の実施による快適な空間の創造	新型コロナウイルス感染症等に対応した災害対応（避難生活）の3密対策、被災者支援手続のデジタル化等	児童生徒1人1台端末環境など新たな時代に相応しい教育の実現	強い農林水産業及び食料産業の実現に向けた新たな投資促進・労働確保	強化	テレワークなど働き方の変化や過密回避などによる都市から地方への分散に対する受入れ	再生可能エネルギーの活用など地域の特性を踏まえた多様なエネルギー供給	行政IT化（行政手続のオンライン化・電子処理化、インターネット発信の強化）	食の促進	「新しい旅行スタイル」に対応した宿泊、飲食、運送等の環境整備や新たなビジネス展開の促進	オンライン診療・オンライン服薬指導の支援	キャッシュレス決済の普及促進	ICTなどデジタル技術を活用した新たな公共交通ネットワークの構築	文化芸術・スポーツ等を活用した地域の独自の発信・配信、収益化	その他	無回答
全体		1508 100.0	565 37.5	549 36.4	465 30.8	395 26.2	250 16.6	211 14.0	202 13.4	197 13.1	171 11.3	165 10.9	155 10.3	124 8.2	95 6.3	89 5.9	24 1.6	100 6.6					
性別	男性	635 100.0	212 33.4	213 33.5	160 25.2	154 24.3	93 14.6	112 17.6	91 14.3	105 16.5	103 16.2	77 12.1	69 10.9	65 10.2	60 9.4	41 6.5	11 1.7	35 5.5					
	女性	869 100.0	352 40.5	335 38.6	304 35.0	238 27.4	157 18.1	99 11.4	110 12.7	92 10.6	68 7.8	88 10.1	85 9.8	58 6.7	35 4.0	48 5.5	13 1.5	65 7.5					
	無回答	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	3 75.0	- -	- -	1 25.0	- -	- -	- -	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -	- -					
年齢別	10代	51 100.0	10 19.6	11 21.6	23 45.1	17 33.3	7 13.7	1 2.0	10 19.6	4 7.8	9 17.6	8 15.7	10 19.6	7 13.7	4 7.8	3 5.9	- -	1 2.0					
	20代	90 100.0	17 18.9	28 31.1	32 35.6	28 31.1	11 12.2	7 7.8	19 21.1	8 8.9	17 18.9	13 14.4	10 11.1	15 16.7	11 12.2	8 8.9	2 2.2	2 2.2					
	30代	109 100.0	19 17.4	31 28.4	31 28.4	25 22.9	39 35.8	13 11.9	22 20.2	9 8.3	26 23.9	13 11.9	14 12.8	20 18.3	9 8.3	5 4.6	3 2.8	4 3.7					
	40代	188 100.0	55 29.3	63 33.5	50 26.6	45 23.9	55 29.3	31 16.5	35 18.6	17 9.0	34 18.1	36 19.1	23 12.2	21 11.2	16 8.5	10 5.3	3 1.6	4 2.1					
	50代	213 100.0	67 31.5	70 32.9	56 26.3	62 29.1	23 10.8	25 11.7	29 13.6	22 10.3	34 16.0	22 10.3	34 16.0	29 13.6	19 8.9	11 5.2	2 0.9	13 6.1					
	60代	260 100.0	130 50.0	119 45.8	82 31.5	64 24.6	48 18.5	43 16.5	29 11.2	40 15.4	24 9.2	25 9.6	25 9.6	12 4.6	8 3.1	12 4.6	2 0.8	11 4.2					
	70代以上	593 100.0	265 44.7	225 37.9	190 32.0	154 26.0	67 11.3	91 15.3	57 9.6	97 16.4	27 4.6	48 8.1	37 6.2	20 3.4	28 4.7	40 6.7	11 1.9	65 11.0					
	無回答	4 100.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	- -	- -	- -	1 25.0	- -	- -	- -	2 50.0	- -	- -	- -	1 25.0	- -					
	地域別	東部地域	216 100.0	91 42.1	99 45.8	64 29.6	52 24.1	33 15.3	30 13.9	28 13.0	31 14.4	16 7.4	20 9.3	16 7.4	14 6.5	9 4.2	10 4.6	3 1.4	17 7.9				
西部地域		518 100.0	189 36.5	177 34.2	176 34.0	124 23.9	87 16.8	63 12.2	68 13.1	59 11.4	58 11.2	55 10.6	51 9.8	39 7.5	31 6.0	38 7.3	11 2.1	36 6.9					
南部地域		486 100.0	173 35.6	173 35.6	143 29.4	133 27.4	90 18.5	79 16.3	69 14.2	68 14.0	56 11.5	62 12.8	51 10.5	48 9.9	29 6.0	27 5.6	5 1.0	29 6.0					
北部地域		277 100.0	108 39.0	94 33.9	78 28.2	82 29.6	40 14.4	39 14.1	34 12.3	39 14.1	40 14.4	28 10.1	36 13.0	22 7.9	26 9.4	14 5.1	4 1.4	16 5.8					
無回答		11 100.0	4 36.4	6 54.5	4 36.4	4 36.4	- -	- -	3 27.3	- -	1 9.1	- -	1 9.1	1 9.1	- -	- -	1 9.1	2 18.2					

(注) 太字は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

6 「ゆたかな社会」の実現に向けて

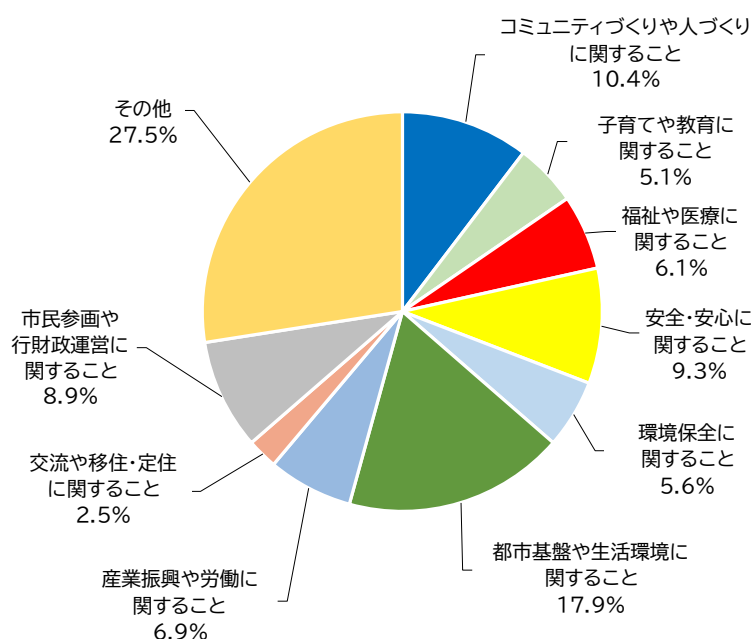
「ゆたかな社会」を、目指すべき理想的なまちについて、709 人から 772 件の具体的な意見をいただきました。内容の内訳と主な理由は下記のとおりです。

設問 26 市では、市民一人ひとりが暮らしの中で心から幸せを感じることができ、あらゆるところに人々の笑顔があふれている「ゆたかな社会」を、目指すべき理想的なまちの姿と考えています。

将来（概ね 20 年後）を思い浮かべた時、あなたが考える「理想的なまちの姿」について自由にご記入ください。

【内容の内訳】

	件数 (件)	割合 (%)
コミュニティづくりや人づくりに関すること	80	10.4
子育てや教育に関すること	39	5.1
福祉や医療に関すること	47	6.1
安全・安心に関すること	72	9.3
環境保全に関すること	43	5.6
都市基盤や生活環境に関すること	138	17.9
産業振興や労働に関すること	53	6.9
交流や移住・定住に関すること	19	2.5
市民参画や行財政運営に関すること	69	8.9
その他	212	27.5
合 計	772	100.0



【主な理由】

《コミュニティづくりや人づくりに関すること》

- 世代を超えて誰もが助け合えるまち。
- 近所での人々の交流の場があり、3 軒両隣で互いに助け合える環境にあること。
- 高齢化、過疎が進む中で、身近な地域活動、コミュニティ活動が大切になってくる。
- 高齢者になっても一人で買い物や病院にも行くことができ、自立した生活が送れるよう、地域コミュニティで支えられるまち。
- 高齢者と若者の交流ができるまち。
- 高齢者に自分になった時に、地域の人と結びつきがあり、安心して生活できるまち。

- 子育てしながら働きやすい環境作り、多様な世代が助け合い、お互い住みやすいまち。
- 市民がいつも明るい顔で人々と会話をしている姿が見られること。
- 市民が交流出来る場があること。
- 市民一人ひとりが安全、健康について考え、行動しお互いを助け合い、声を掛け合うまちに。
- 市民一人ひとりが安全・安心して生活ができる環境づくりを実践するとともに、行政・自治会・市民とのコミュニケーションが図られているまち。
- 市民皆が困っている人を助け、思いやりを持って笑顔で接することができる。
- 思いやりを持って対応できる社会になれるように身近な所（親子、近所）から良い関係をつくっていく。
- 自治会や地域の繋がりを大事にし、みんなで参加できる行事等があること。
- 人と人との繋がりがあること。
- 一人ひとりが少しでも誰かの役に立ち、自分を活かすことができること。
- 心の豊かなまち、笑顔があふれる心の通ったコミュニティがあるまち。
- 人と人が助け合い、お互いを思い合えるまち。
- 世代や人種を超えて協力し合えるまち。
- 世代を超えた交流と笑顔のあるまち。
- 世代を超えて繋がる笑顔のまち。
- 自治会組織を発展的に改善し、全世帯が加入できる組織などがあり、みんなが仲良くゆとりある社会。
- 地域のみんなで意見交換しながら、多様な世代が助け合い、支え合える多世代社会づくり。
- 多様な世代の人との交流を盛んにし、仕事を引退した後でも、安心、安定した生活が送れる社会。
- 誰とも気軽に挨拶ができ笑顔で話しあえる。
- 地域で助け合い、一人暮らしの高齢者でも孤独を感じずに暮らせるまち。
- 市民一人ひとりが、国籍や世代などを超えてつながりを大切にし、平等であること。
- 企業や地域の連携により、災害等にも対応でき、助け合えるまち。

《子育てや教育に関すること》

- あいぱーく光を中心とした充実した子育て支援のさらなる充実を図るため、行政と民間の連携強化が必要と感じる。
- 子育てと仕事が両立できるまち。
- 仕事と子育てを両立できる光市であってほしい。
- 学校で質の良い専門的な教育を受けることができること。
- 学校教育の中で実践・経験を積むことができ、平等な教育を受けることができること。
- 教育が充実したまち。
- 子どもがのびのびと成長できる環境があること。
- 自然を活かした魅力的な学習カリキュラムや、子どもが安全に生活できる環境を整えることで、子育て世帯が住みたくなるまちとなり、まちに子どもがたくさんいること。
- 充実した子育て支援により、子育て世帯が笑顔で生活できるまち。
- まちの至るところで子どもの声が聞こえてきて、それを温かく見守る大人がいるまち。
- 経済的な負担軽減も含めて、子育て支援が充実し、子育てしやすいまち。

- 子育てしやすいまち。
- 子育て支援を充実させ、子育てしやすいまち。
- 未来のある子どもたちを育むため、安心して出産・子育てをすることができるまち。
- 子育て世帯の親を積極的に支援してほしい。
- 子育て世代が増え、子どもや若者の活気が出れば、自然とお年寄りも笑顔が増え、まちが元気になる。
- 医療費や保育料など、子育ての経済的負担の軽減により、子育てしやすいまち。
- しっかりとした学力を身に付けることができる教育があれば、子育て世代も増えると思う。
- 若い人たちが明るく、子どもたちを育てていけるまち。
- たくさん子どもたちが元気で仲良く遊んでいるまち。
- 出産費用の無料化と子育て支援などの少子化対策が重要と思う。
- 未来を担う子どもたちを育むため、教育のさらなる充実が必要と思う。
- 若い力や若者が活躍できる元気なまちの中で、高齢者も共存しながら健康的で心も豊かになれるまち。
- まちのあちこちから子どもたちの弾んだ声が聞こえてくること。
- 幼少期から3世代で暮らす生活や豊かな自然に囲まれた環境の中で、感受性の豊かな子どもが育まれること。

《福祉や医療に関すること》

- 高齢者が自宅でも施設でも、生き生きとした暮らしを送れること。
- 誰でもどの年代の人でも、助けてほしい時に「助けて」と言って行くことができる場所があり、誰もが孤独を感じないまち。
- 高齢化等により身体が不自由になっても、安心して暮らせるまち。
- 医療や介護、障害者福祉サービスが充実したまち。
- 医療体制を他市に依存することなく、自らの市で確立し、安心して暮らせるまち。
- どの地区でも高齢者が健康で安心して生活を送ることができる。
- 元気に自立して生活できる「健康寿命」を延ばすことができること。
- 民間の医療機関の開業等により、市内における医療環境がさらに充実してほしい。
- 高齢者の療養施設の充実や、一人暮らしの高齢者の生活面や病院への送迎等の支援が充実していること。
- 高齢社会に向けて、福祉、医療の更なる充実に力を注いでほしい。
- 高齢者が安心して暮らせる交通手段や福祉の充実により、あらゆる世代が孤立感を感じずに、安心に幸せを実感して暮らせるまち。
- 高齢者が自宅で安心して暮らせること。
- 高齢者が医療や健康面でも、経済面でも安心してくらすことができる。
- 高齢者が住みやすい良いまち。
- 高齢者にやさしく、一人暮らしでも寂しい思いをしなくていいまち。
- 高齢者が経験や能力を発揮でき、活躍できる場があるまち。
- 障害者支援が充実していること。
- 高齢者や身体の不自由な方など、車を運転できない方の移動手段が確保されている。

- 弱い立場にある方に寄り添い、まちの隅々まで支援が行き届いているまち。
- 往診医療の充実などにより、高齢者がいつまでも住み慣れた自宅で生活できること。
- 病気や引きこもりなどでの就労が困難な方への心理面・経済面への支援により、貧困や孤独をなくし、思いやりとつながりのあるまち。
- 幼少期から健康づくりに取り組み、高齢者になっても健康で安心して生活できるまち。
- 診療科目の充実など、民間医療機関や市立病院の充実により、安心して暮らせるまち

《安全・安心に関すること》

- 市民みんながルールを守り、事故や犯罪のないまち。
- コロナが一日も早く収束し、災害にも強いまち。
- 誰もが安全に、安心して日々の生活が送れるまち。
- 安心して過ごせるまち。
- 安心して暮らせるまち。
- 安全で安心して暮らすことができるまち。
- 安全で安心なまち。
- 日常生活に車は欠かせない中でも、交通事故がないまちであってほしい。
- 島田川の早期整備などにより、豪雨にも強いまちになってほしい。
- 水害に強く河川強化を図り、島田流域でも安心して生活が送れる災害のないまちであってほしい。
- 高齢者一人暮らしを狙った電話での詐欺等を予防し、高齢者でも安心して暮らせる。
- 今でも充分住みやすいと感じているが、子ども世代・孫世代までいつまでも安全・安心に暮らせるまちであってほしい。
- 交通事故が少ないまち。
- 災害に強いまち。
- 災害のない、子どもたちが安心して暮らせるまち。
- 災害が発生しても安全に暮らせるまち。
- 子どもが安全に遊べる、遊びに行かせられるまち。
- 激甚化・頻発化する自然災害に対応できる、災害に強いまち。
- 治安が良く、子どもから大人まで安心して過ごせるまち。
- 土砂災害や河川の氾濫など、自然災害に強いまち。
- ハザードマップの充実など、ソフト面も含めて防災対策が充実していること。
- 自然災害の被害を最小限に留めることができる。
- 若い人も高齢者も安心して暮らせるまち。
- 防災対策が充実し、災害に対する備えが万全で安全・安心に暮らせるまち。

《環境保全に関すること》

- きれいな海と山と水に囲まれ、穏やかな日常を送ることができる。
- ごみのないきれいなまち。
- 市民一人ひとりの行動により、ごみ一つないまち。
- 海と山が共にある光市が、いつまでもきれいなままで住みたいまちであってほしい。
- クリーンエネルギーや温暖化対策など、環境衛生が充実したまち。

- 「光」の名前から、自然や景観が美しいまちを連想しやすいので、いつまでもイメージどおりに美しいまちであってほしい。
- 市民みんなが地球規模で考え、ごみの発生抑制など、一人ひとりの協力により、クリーンな空気、環境の中で暮らせるまち。
- ごみが少ない、きれいなまち。
- 自然と共存できるまち。
- 今と変わらず穏やかで、自然豊かで住みよい光市であってほしい。
- 室積・虹ヶ浜海岸など、きれいな景観が整備されている。
- 瀬戸内海の美しい景観が守られていること。
- 一人ひとりが省エネルギーに取り組み、地球温暖化対策に取り組んでいること。
- 一人ひとりが、ポイ捨てをしない、ごみが落ちていたら拾う。行動することできれいなまちを目指す。
- いつまでも美しいまちであってほしい。
- 豊かな自然と人との繋がりを大切にしながら、環境に恵まれたまち。
- 豊かな自然を活かしたまちづくりが進められている。
- 豊かな水資源と温暖な季候で、いつまでも住みやすいまち。
- 緑が残り、きれいな海が残るまち。

《都市基盤や生活環境に関すること》

- 行政施設や生活に必要な施設を集約するコンパクトシティ化により、高齢者になっても安心して生活ができる。
- コンパクトで移動に困る人のいない穏やかなまち。
- スーパーなど食材の買い出しや外食を市内で完結することができ、満足した日常生活を送ることができる。
- 公共交通機関（特にバス、タクシーなど）などが充実し、マイカーがなくても病院や買い物などに不便を感じない。
- 公共交通機関の充実により、運転免許の返納後も移動手段に困らない。
- 光駅前の活性化により、進学等で市外に出ていった子どもたちが駅に着いた時に「帰ってきたな」と実感することができる。
- 免許返納後も安心して、買い物や通院できるよう、公共交通機関が充実している。
- 交通網が充実している。
- 光駅などでＩＣカードを使うことができ、光駅周辺がもっと活気のある場所になっている。
- 光駅周辺がもっと活気づいていたらいいと思う。
- 高齢になって車の運転が難しくなっても、徒歩や公共交通機関で買い物や病院に行けて、日々の暮らしに困らないまち。
- 高齢化社会に向けて、光駅のバリアフリー化の推進。
- 山間部でも住み慣れた場所で、最後まで生活し続けることができるよう、地域公共交通網が整備されている。
- 子どもも高齢者も自由にまちを歩けるよう、車道・歩道がきちんと整備されている。
- 市内全域でコミュニティバスが使用でき、交通弱者が生まれないまち。

- 活動の場は広くても、生活の場はコンパクトで徒歩圏内に買い物や病院がある集約したまち。
- 自家用車の利用できない人が、通院、買い物等のしやすい道路状態、交通システムがある。
- 車で 20 分圏内にスーパーがあり、近くに病院があり、生活する上で必要な物が近場にある。
- 車に乗れなくなった人や高齢者のために、交通手段がしっかりと整備され、病院や買い物へ行くのに困らないまち。
- 車に乗れなくなっても、買い物難民、病院通いに不自由のない交通手段がある。
- 住みやすい生活環境がある。
- 少しでも人が増え、岩田駅周辺が賑やかになっている。
- 道路の白線や周辺の木や草が整備され、安全に利用することができる。
- 瀬戸風線が早期開通している。
- 免許返納した後でも、自立して生活することができる交通手段の確保。
- 安全に利用することができる道路が整備されている。
- 市内全域をカバーするコミュニティバスの整備や移動手段の確保がされている。
- 光駅や、市役所、図書館などの公共施設が新しくなって、景観の整備が行われること。
- 自然環境を取り入れた健全で豊かでコンパクトなまち。

《産業振興や労働に関すること》

- 地元で育った子どもたちが成人後も市外へ流出することなく、地元で働くことができる雇用の場がある。
- 企業の誘致により、若者が定着するために働く場所がある。
- 雇用を確保できる企業の誘致により、Uターンできるまち。
- 外食する場所や服を買う場所など、市外・県外に行かなくても光で買い物をしたいと思えるような場所があること。
- 高齢者が飲食、買い物ができるお店ができたらい。
- 市内に企業をもっと増やして、そこで働く人を増やして人口を増やす。
- 市内に働き場所があり、若い人が出て行かないまち。
- 若い人が働ける企業の誘致。
- 若い人の雇用が確保され、将来に希望を持てるような社会。
- 若者が光市に永住できるように、生活の保障や興味のある仕事があること。
- 商業施設の誘致が進み、若い労働者が他県から移住しやすい環境が整っている。
- 新しい企業の誘致により、市内経済が発展している。
- 雇用を創出する市内企業が元気であること。
- 国道沿いに大規模な商業施設があること。
- 企業誘致やビジネスの創出などにより、雇用を創出。
- 人口が増え、大型ショッピングセンター等、商業施設が充実してまちが発展してほしい。
- 野菜も魚も美味しいので、農林水産業への支援を続けてほしい。
- 大きい商業施設があり、たくさんの人が住み活性化していれば、豊かに暮らせると思う。
- 大型ショッピングセンターをつくって人が光市に来てほしい。
- 大型ショッピングモール等の商業施設を開設することで、人口減少に歯止めをすることができると思う。

- 地産地消を喜び合えるまち（農業の活性化、休耕地をなくす、法人化推進など）。
- 働く場がたくさんあること。
- 日常の食料品以外に、もう少し良い物や大型の物なども市内でも購入できるようなまちになってほしい。
- 年齢に関係なく、働きたい人はいつまでも働くことのできる、多種多様な雇用があるまち。
- 農林水産業の充実（食料自給率の向上）。

《交流や移住・定住に関すること》

- 多様な世代の人が関わり合い、光市に住む人、遊びに来てくれる人が多く、活発なまちであってほしい。
- まずは人口減少を止めるため、若者のＵターンを増やし、魅力ある光市にする。
- 海も山もあるので、しっかりＰＲして他所から人を呼び込んでほしい。
- マリンスポーツや市場で楽しめる、海を活かしたまち。
- 観光に力を入れて市外からの訪問者を増やすとともに、路線バスの増便など交通面の整備や、無料公衆無線ＬＡＮサービスにより、訪れた人が快適に過ごせる。
- 虹ヶ浜の夕焼けやシャボン玉を目的とした観光が増えていると思うので、虹ヶ浜周辺のサービスやお店の充実により、また来たいと思ってもらえる観光客が多いまち。
- 瀬戸内海の自然、風光明媚を活用したまちづくりにより観光都市になっている。
- 雇用の創出により、市外に転出した人が地元でＵターンできる。
- 虹ヶ浜を１年中有効利用し、マリンレジャーを増やす。
- 光市を目当てとした旅行客の増加や、虹ヶ浜などの強みを生かしたビジネスの発展により、まちが活性化している。

《市民参画や行財政運営に関すること》

- ＳＤＧｓを目標として、少しでも近づけることが理想的なまちの姿だと思う。
- 心から幸せを感じることができるのは、ただ、行政の施策のみでなく、一人ひとりの心の持ち方にもよると思う。光市でもＳＤＧｓが進み、子どもから高齢者まで、誰一人取り残さない市になっていたらと思う。
- コンパクトで財政規模が減少しても元気な社会。
- 人口減少は避けられないので、行政もコンパクトにＡＩ化し、人件費を削って行く必要があると思う。
- 何をするにも安定的な財源が必要だと思う。
- 安定的な財源が確保できれば、市民へのサービスも行き届き、みんなに優しい住みやすい市になると思う。
- 現場や市民の声を十分に聞いて市政運営が行われている。
- 市民意見が市政に反映されている。
- 市民同士の日常会話で市政が話題になるほど市民が市政の内容を把握し、市民から意見が活発に出てくる。
- 様々な課題に市民一人ひとりが力を合わせ、光市を大切に守って行けること。
- 人口減少になり、公共サービス等の広域化や近隣都市との連携を行い、行政の効率化を進めるこ

とで行政サービスを維持した社会。

- 人口減少は確実なので、減少を見据えた行政規模の縮小や、逆に必要になるものを想定した早めの対策が必要だと思う。
- 行政や地域から何かを受け身で待つだけでなく、市民一人ひとりが、自発的、能動的に行動できるまち。また、その状態が自然に醸成されて、できあがっていくこと。
- 全ての世代で平等な行政サービスがあり、子どもたちが笑って暮らせるまち。
- 多様性に対応できるまちづくりを調査、研究して今後の施策に活かしてほしい。
- 国も地方も深刻な財政難になっている中、新しいことを行うには何かを諦めたり、従来のサービスを見直すなど、優先順位をつける必要がある。
- 現状の行政サービスの質が低下しないよう、維持されている。

《その他》

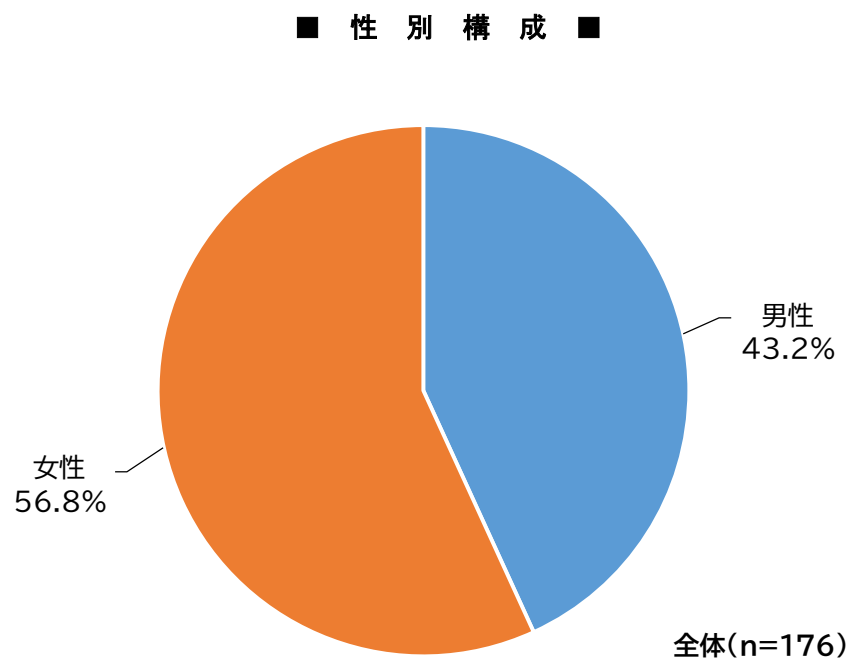
- 若者が定住でき、子育て、教育、仕事と安心して暮らせるまちが理想だと思う。
- いつまでも健康で長く住みやすいまちになってほしい。
- どの世代も幸せを感じて生活できるまち。
- まだ若いから、もう年だからではなく、お互いに尊重し合うことができ、どの世代も主張できる社会。
- 一人ひとりが活力や行動力を持ち、各世代とも一生涯住みたい光市を目指してほしい。
- 一人ひとりが他者への思いやりを持って行動するまち。無知、無関心、無思考にならないよう、行政はもちろん市民も努力するまち。
- みんなが笑顔で暮らせるまち。
- 衣食住を心配することなく、皆が役割や、夢、目標を持って生きている。心の孤立もなく、海、山の美しい自然の中で、公共の施設の中で笑い、話し、食べ、運動し、さらに文化、芸術、スポーツなども、それぞれの好みや得意分野で参加、活躍できる。
- 医療体制をより充実させ、商業施設もあり、自然豊かで過ごしやすいまち。
- 光市に住んで良かったと思えるまちづくり、人づくり。
- 新しさを取り入れつつも、昔からの良い部分も共存しているまち。
- 今が理想的なまちの姿で、特に不満もなく過ごせている。将来もこのまま過ごせることが理想。
- 今の光市にとっても満足している。
- 仕事（学校）もプライベートも充実し、一人ひとりが生きがいを感じることができている。
- 子どもも大人も過ごしやすいまち。
- 子どもも大人も笑顔があふれ、生き生きと暮らせるまち。
- 市民一人ひとりが光に住んで良かったという幸せを感じることができる。
- 県外に出たとしても帰って来たくなるようなまち。

Ⅲ 転出者調査結果

1 あなた（回答者）ご自身について

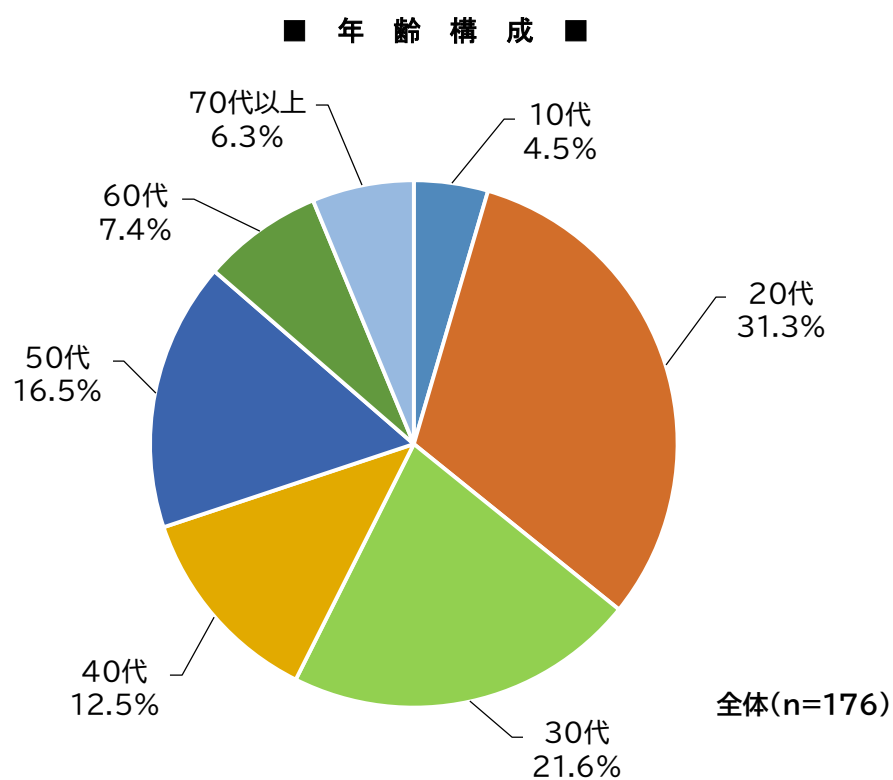
（１）性別（設問１）

男性が 43.2%、女性が 56.8%となっています。



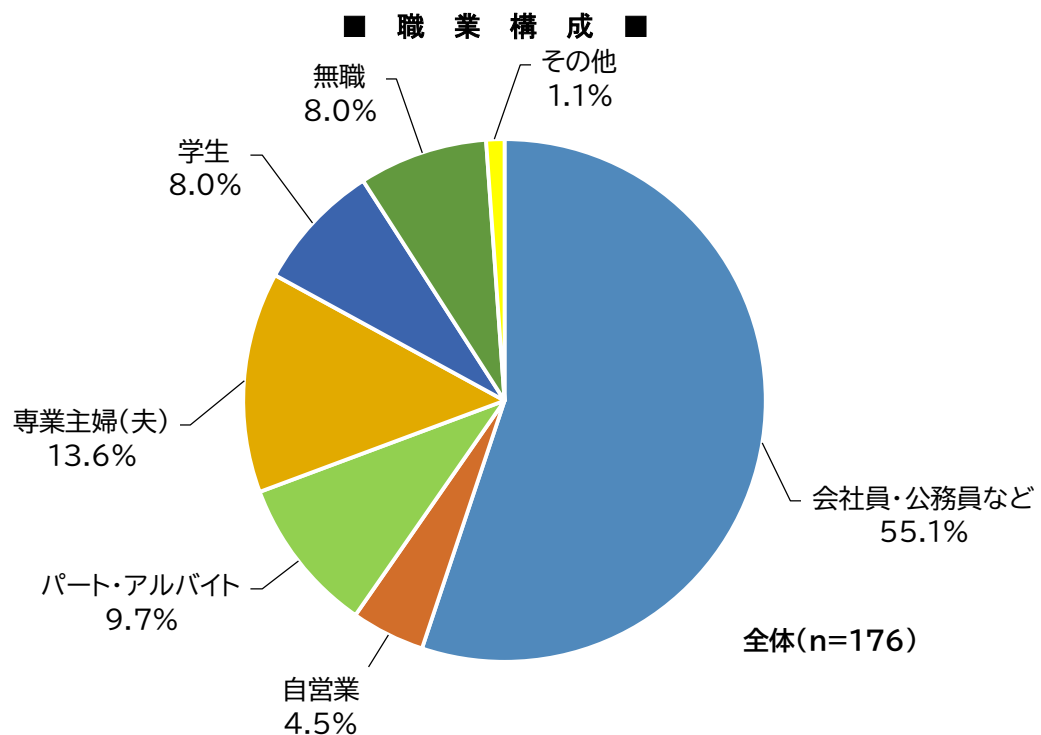
（２）年齢（設問２）

10代が 4.5%、20代が 31.3%、30代が 21.6%、40代が 12.5%、50代が 16.5%、60代が 7.4%、70代以上が 6.3%となっています。



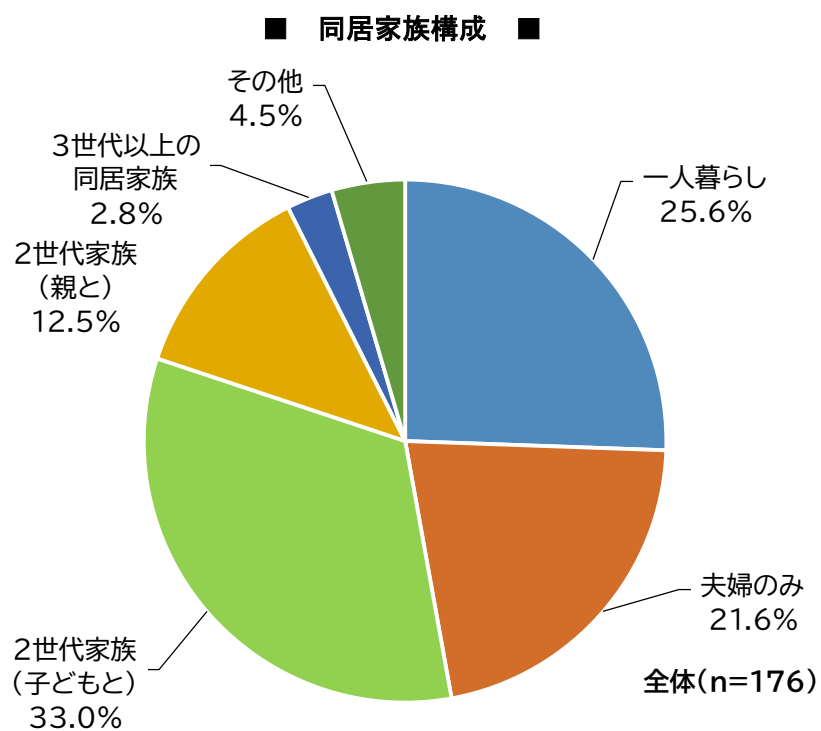
(3) 職業（設問3）

会社員・公務員が 55.1%と最も多く、次いで専業主婦（夫）が 13.6%となっています。



(3) 同居家族（設問4）

2世代家族（子ども）が 33.0%と最も多く、次いで一人暮らしが 25.6%、夫婦のみが 21.6%となっています。



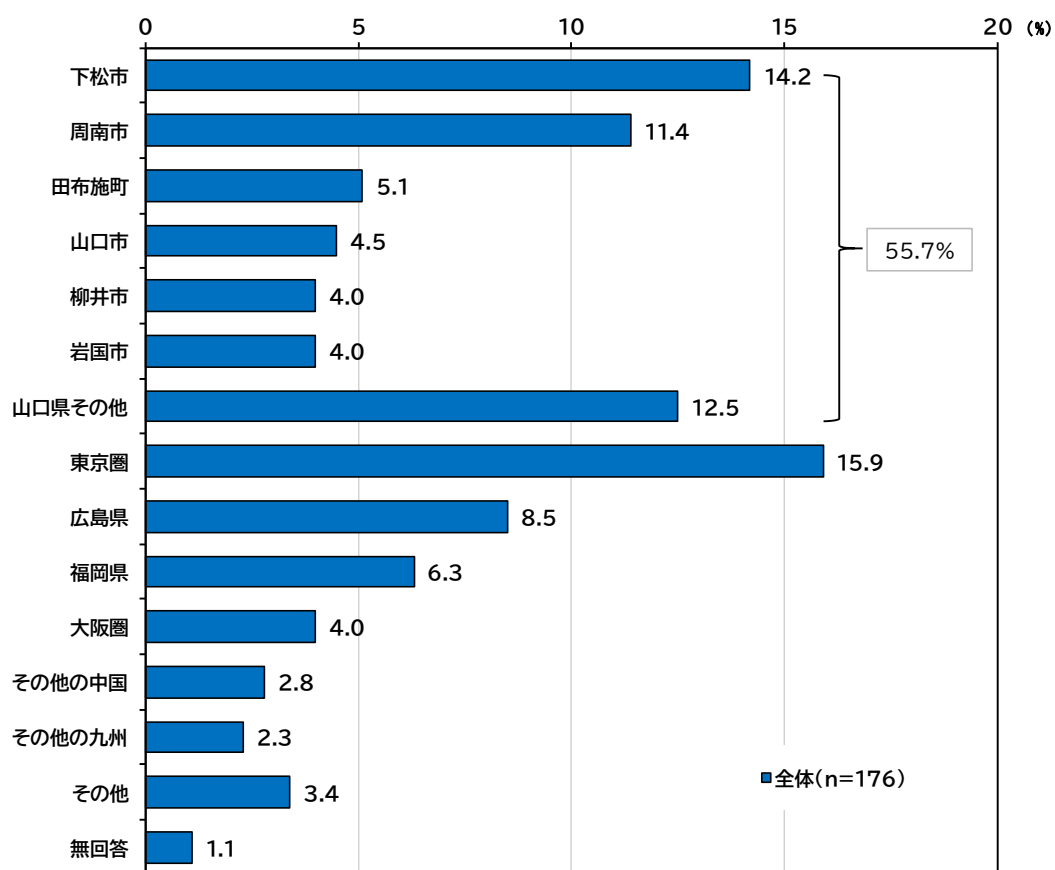
2 現在お住まいの場所について

(1) 現在お住まいの市区町村（設問5）

現在の住まいは、山口県内では、「下松市」が14.2%と最も多く、次いで「周南市」が11.4%となっています。その他の山口県内の市町村を加えると、山口県合計は55.7%となっています。

山口県以外では、「東京圏」が15.9%、次いで「広島県」が8.5%、「福岡県」が6.3%となっています。

設問5 あなたの現在お住まいの市区町村は？



(2) 現在お住まいの場所の住みやすさ（設問6、設問6－1）

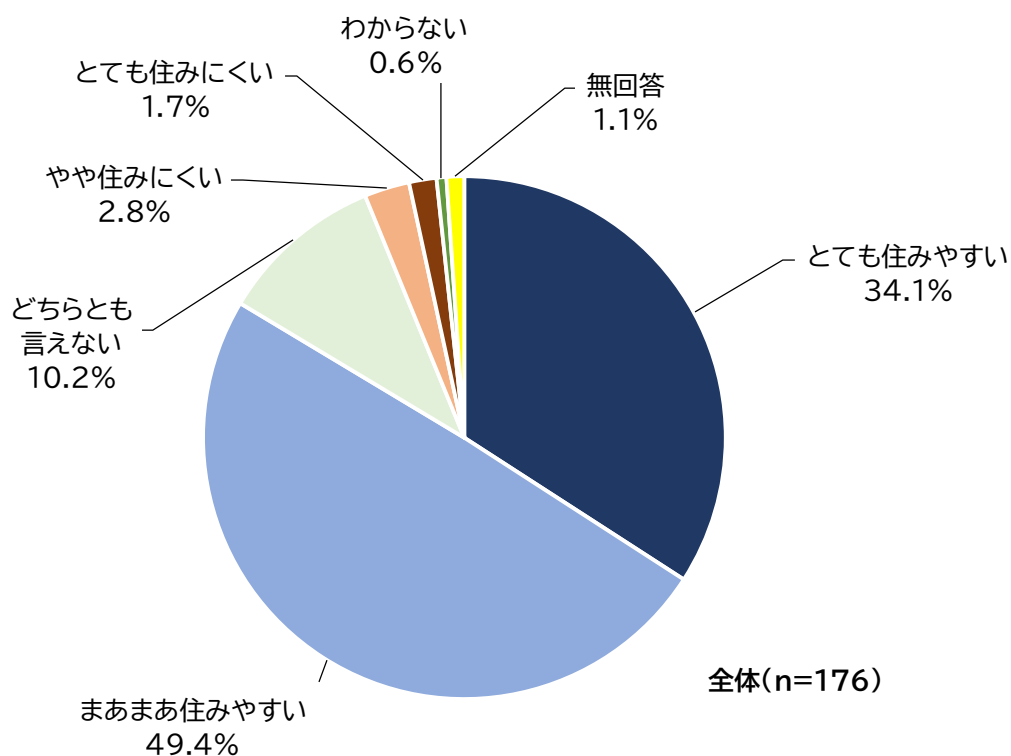
ア 居住地域に対する意識（実感度）

現在お住まいの場所の住みやすさとしては、「とても住みやすい」が 34.1%、「まあまあ住みやすい」が 49.4%、合計すると住みやすいとする割合は 83.5%となっています。

「どちらとも言えない」が 10.2%、「やや住みにくい」が 2.8%、「とても住みにくい」が 1.7%、「わからない」が 0.6%となっています。

設問6 現在お住まいの場所は、住みやすいと感じますか？

＜1つだけに○印

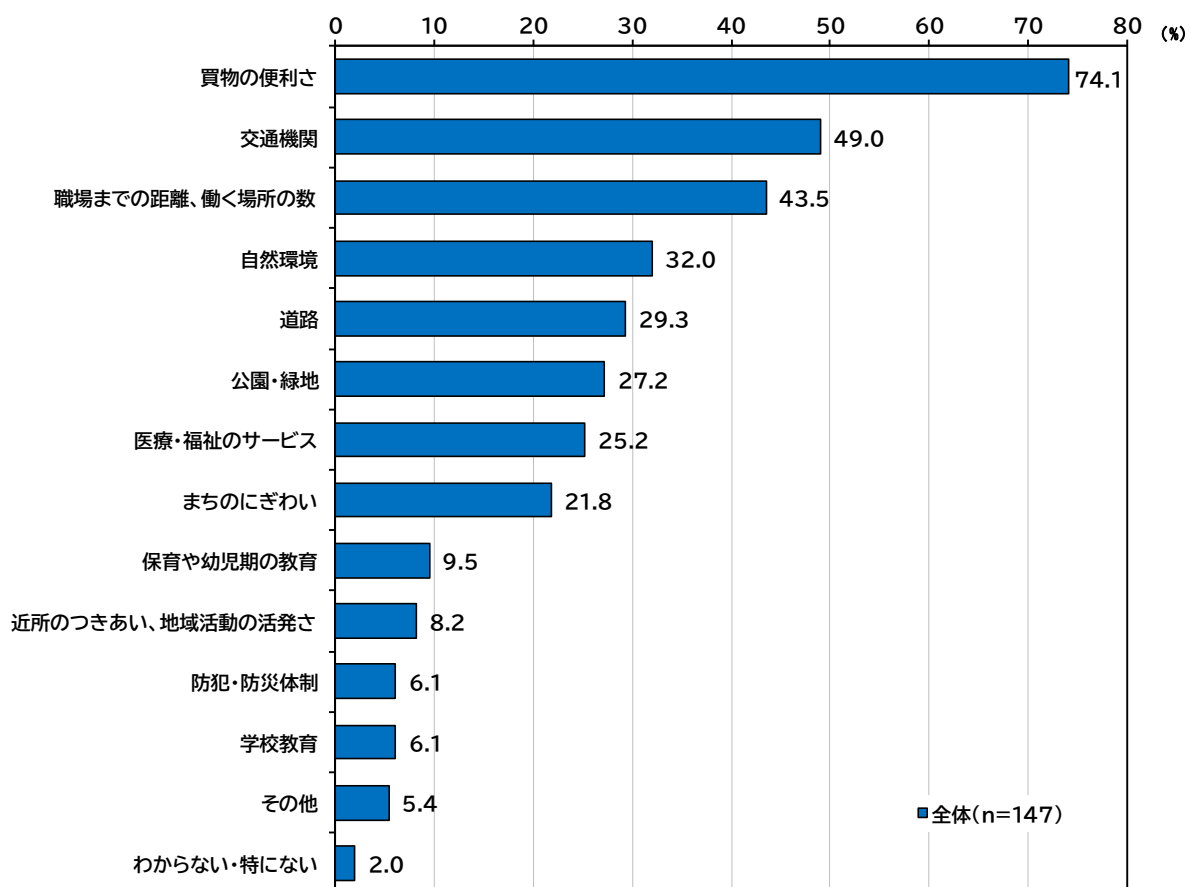


イ 現在お住まいの場所が住みやすいと感じる理由（要素）

現在お住まいの場所が住みやすいと感じる理由（要素）としては、「買物の便利さ」が 74.1% と特に多く、次いで「交通機関」が 49.0%、「職場までの距離、働く場所の数」が 43.5%、「自然環境」が 32.0% となっています。

設問 6-1 現在お住まいの場所が住みやすいと感じる理由（要素）は何ですか？

<あてはまるもの全部に○印>

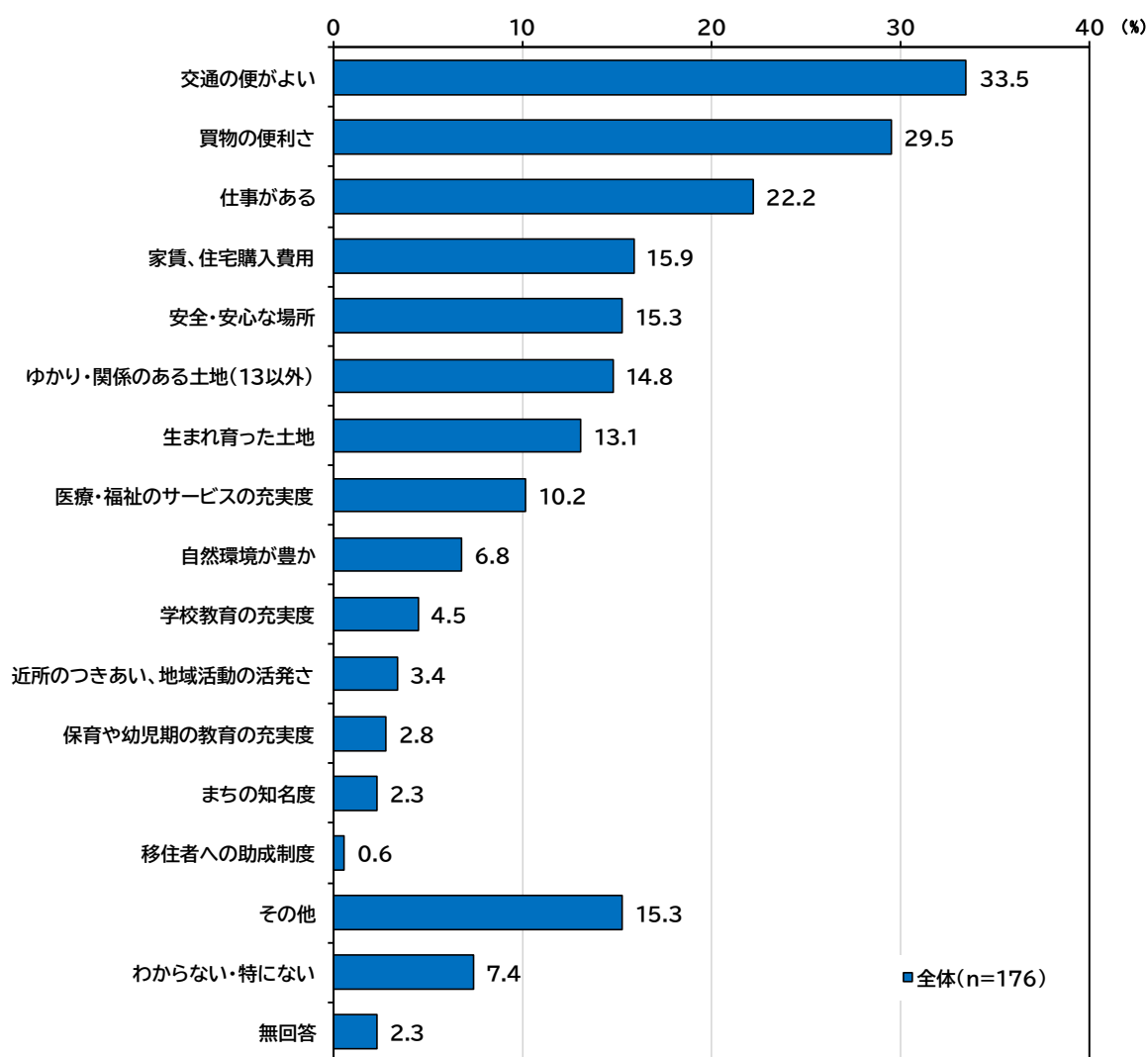


（３）現在お住まいの場所を決定された際に重視した点（設問７）

現在お住まいの場所を決定された際に、重視した点としては、「交通の便がよい」が 33.5%と最も多く、次いで「買物の便利さ」が 29.5%、「仕事がある」が 22.2%となっています。

設問７ 現在お住まいの場所を決定された際に、重視した点は何ですか？

<あてはまるもの全部に○印>

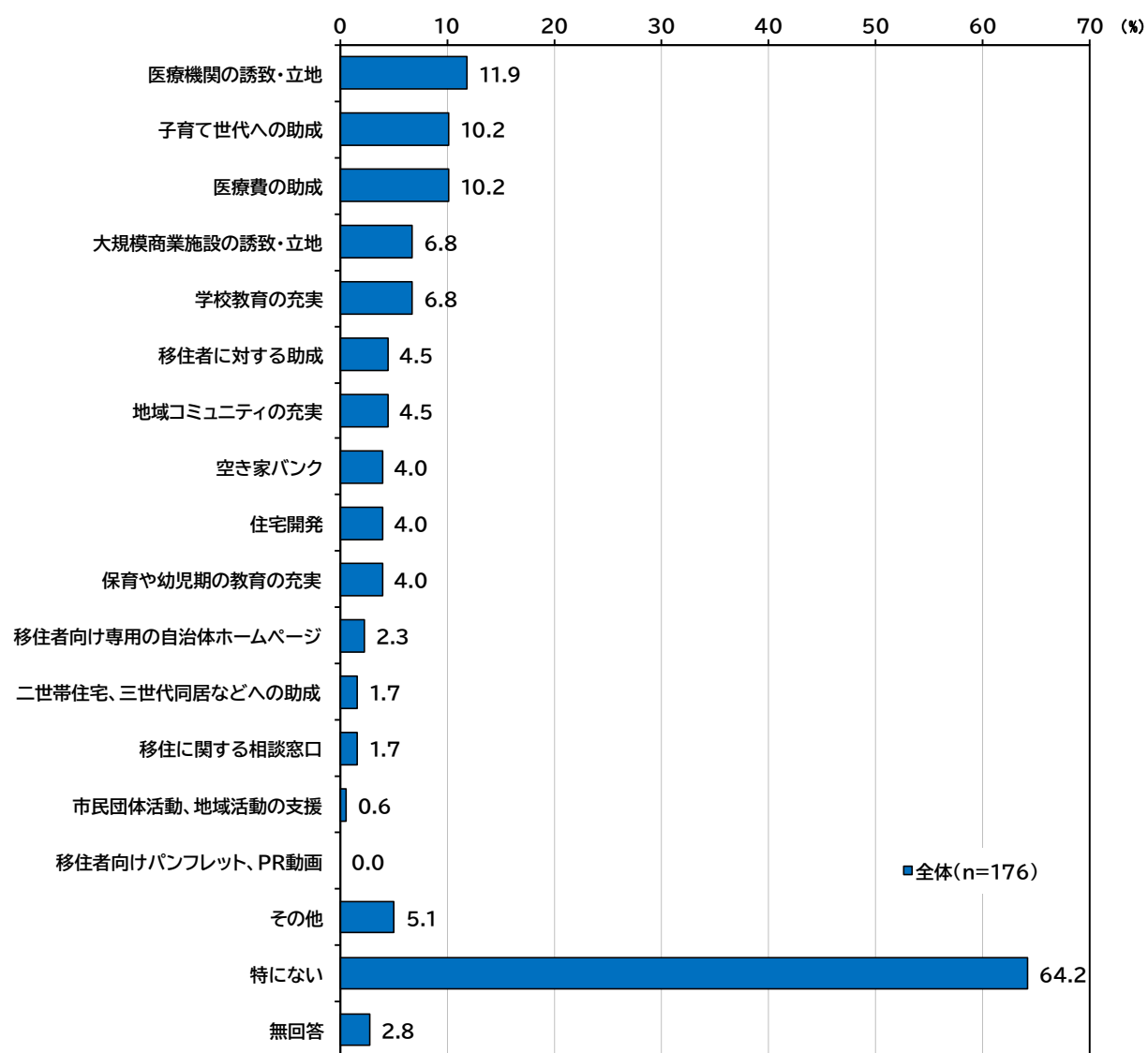


（４）転出先を検討される際に参考にした行政サービス（設問８）

現在お住まいの場所を含めて、転出先を検討される際に参考にした行政サービスとしては、「特にない」が64.2%と最も多くなっています。

参考にした行政サービスとしては、「医療機関の誘致・立地」が11.9%と最も多く、次いで「子育て世代への助成」と「医療費の助成」が各10.2%となっています。

設問 8 現在お住まいの場所を含めて、転出先を検討される際に参考にした行政サービスは何ですか？
 <あてはまるもの全部に○印>

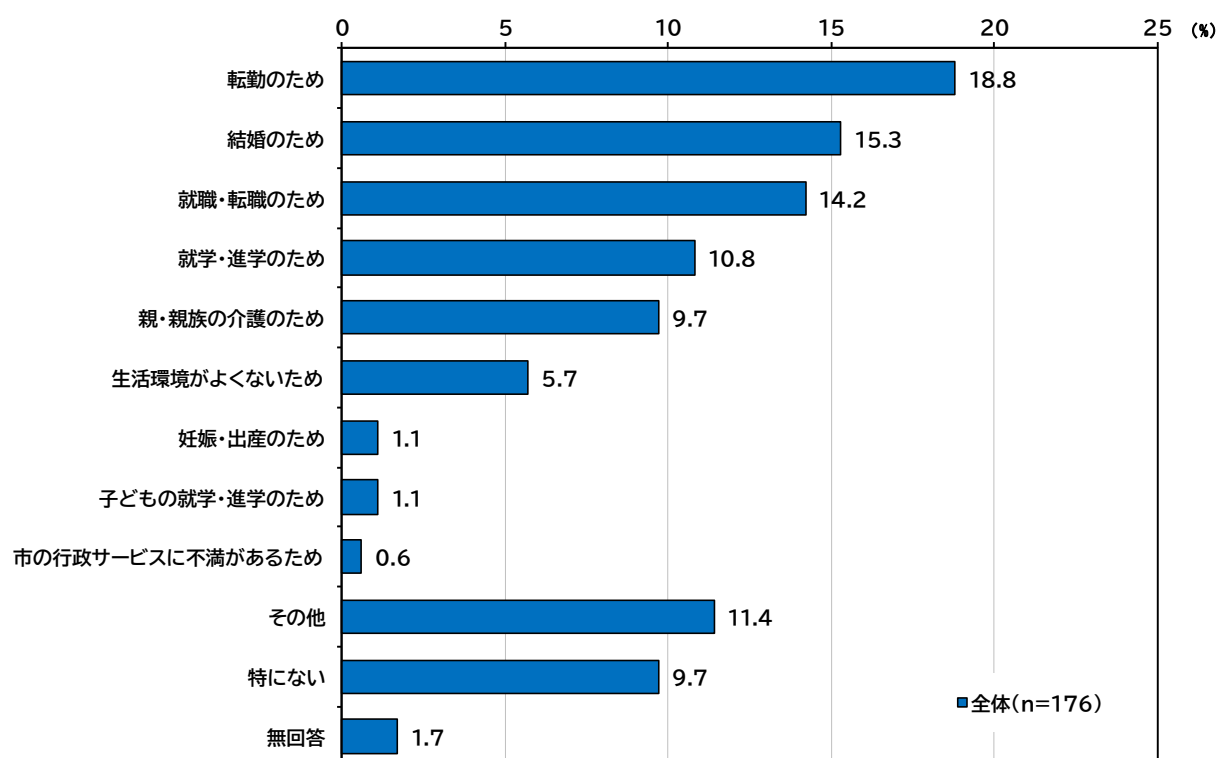


3 光市について

(1) 光市から転出されることとなった最も大きな理由（設問9）

光市から転出されることとなった最も大きな理由としては、「転勤のため」が18.8%と最も多く、次いで「結婚のため」が15.3%、「就職・転職のため」が14.2%、「就学・進学のため」が10.8%となっています。

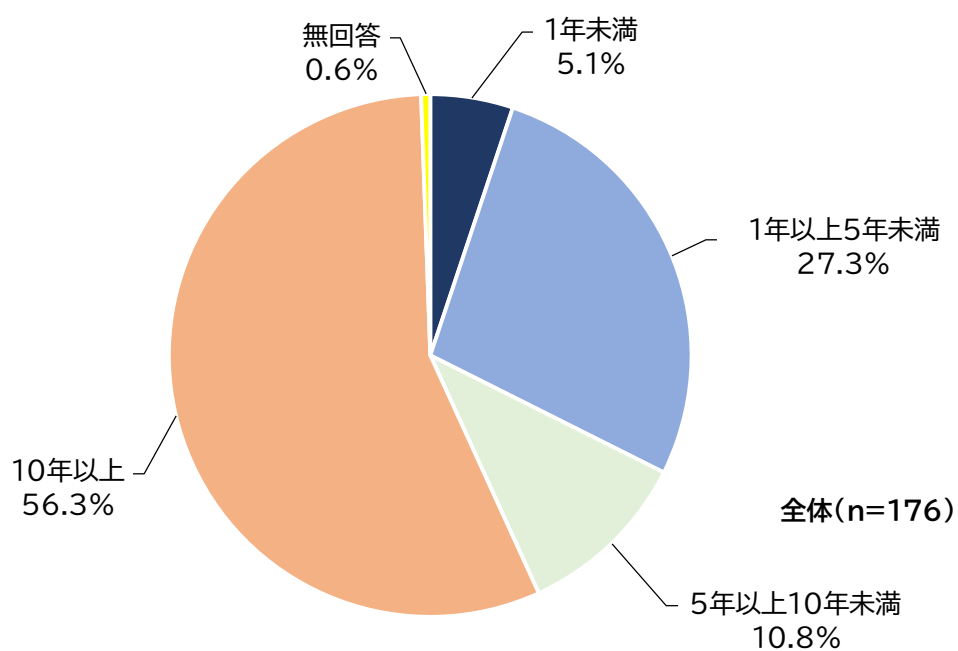
設問9 光市から転出されることとなった最も大きな理由は何ですか？ <1つだけに○印>



(2) 光市の居住年数（設問 10）

光市の居住年数としては、「10 年以上」が 56.3%と最も多く、次いで「1 年以上 5 年未満」が 27.3%、「5 年以上 10 年未満」が 10.8%、「1 年未満」が 5.1%となっています。

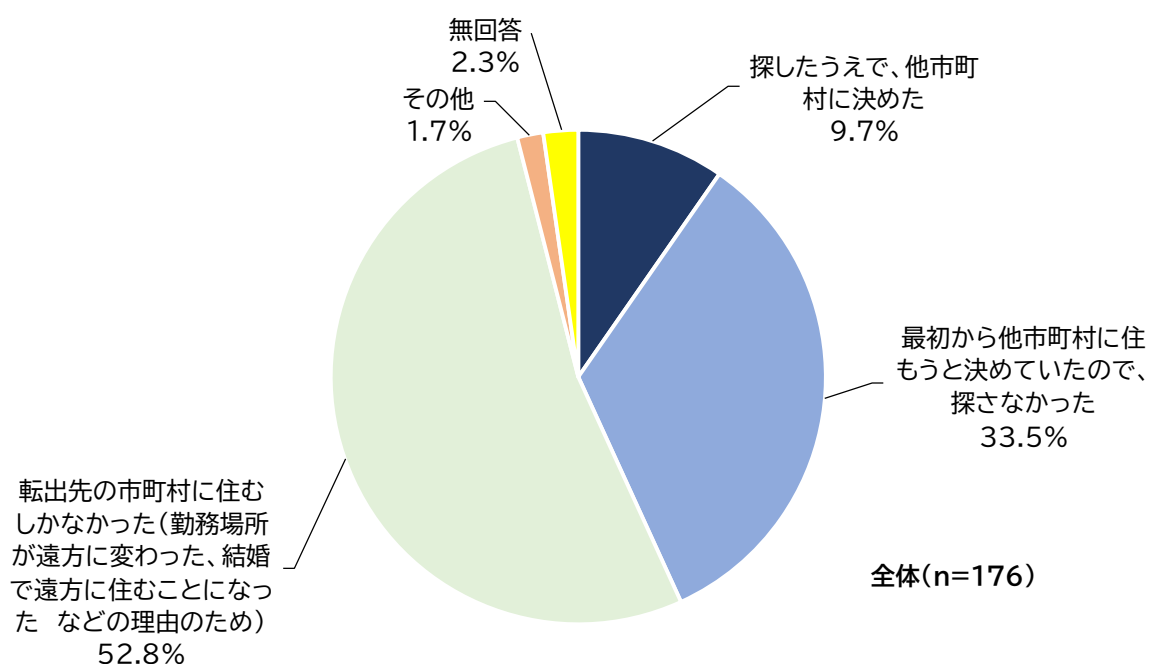
設問 10 光市に何年お住まいでしたか？



（３）光市内でもお住まいを探されたかどうかについて（設問 11）

光市内でもお住まいを探したかどうかについてみると、「転出先の市町村に住むしかなかった（勤務場所が遠方に変った、結婚で遠方に住むことになった などの理由のため）」が 52.8%と最も多く、次いで「最初から他市町村に住もうと決めていたので、探さなかった」が 33.5%、「探したうえで、他市町村に決めた」が 9.7%となっています。

設問 11 光市内でもお住まいを探しましたか？



(4) 光市の住みやすさ（設問 12、設問 12－1、12－2）

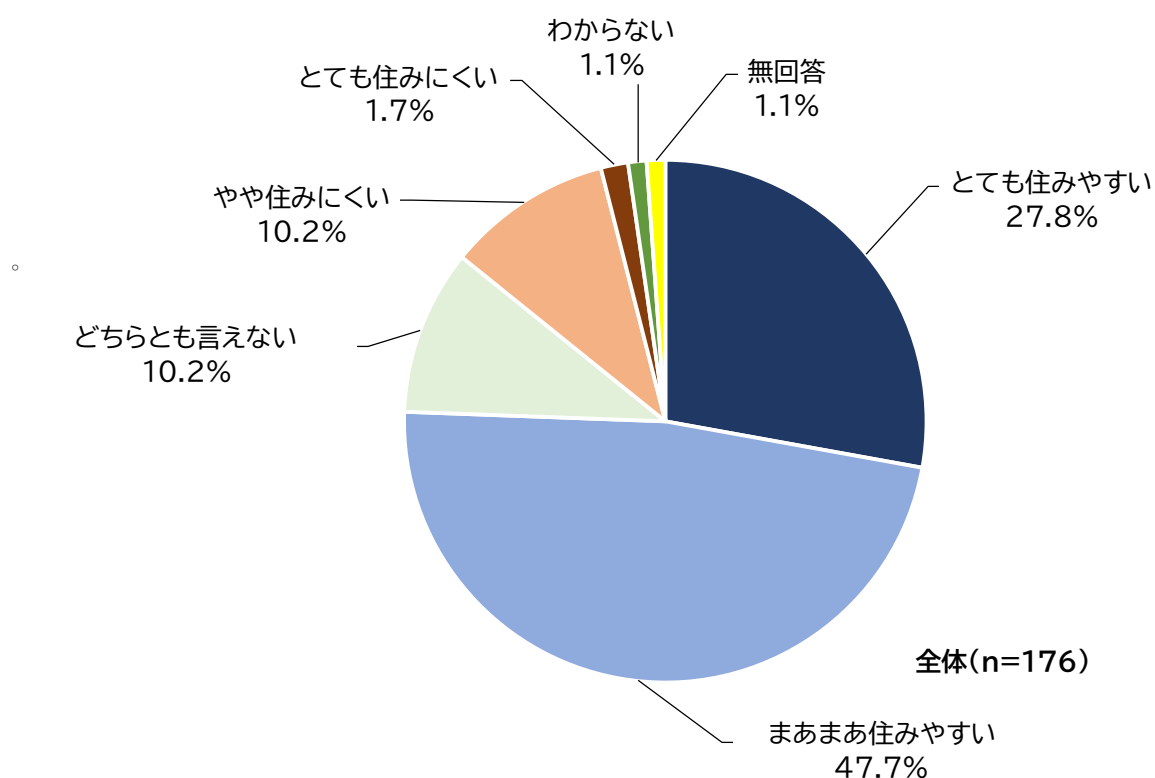
ア 光市の住みやすさに対する意識（実感度）

光市での全体的な住みやすさとしては、「とても住みやすい」が 27.8%、「まあまあ住みやすい」が 47.7%、合計すると 75.5%が住みやすいとしています。一方、「やや住みにくい」が 10.2%「とても住みにくい」が 1.7%と、住みにくいとするのは合計 11.9%にとどまっています。

また、「どちらとも言えない」が 10.2%、「わからない」が 1.1%となっています。

設問 12 光市は全体的に住みやすいと感じましたか？

< 1 つだけに○印 >

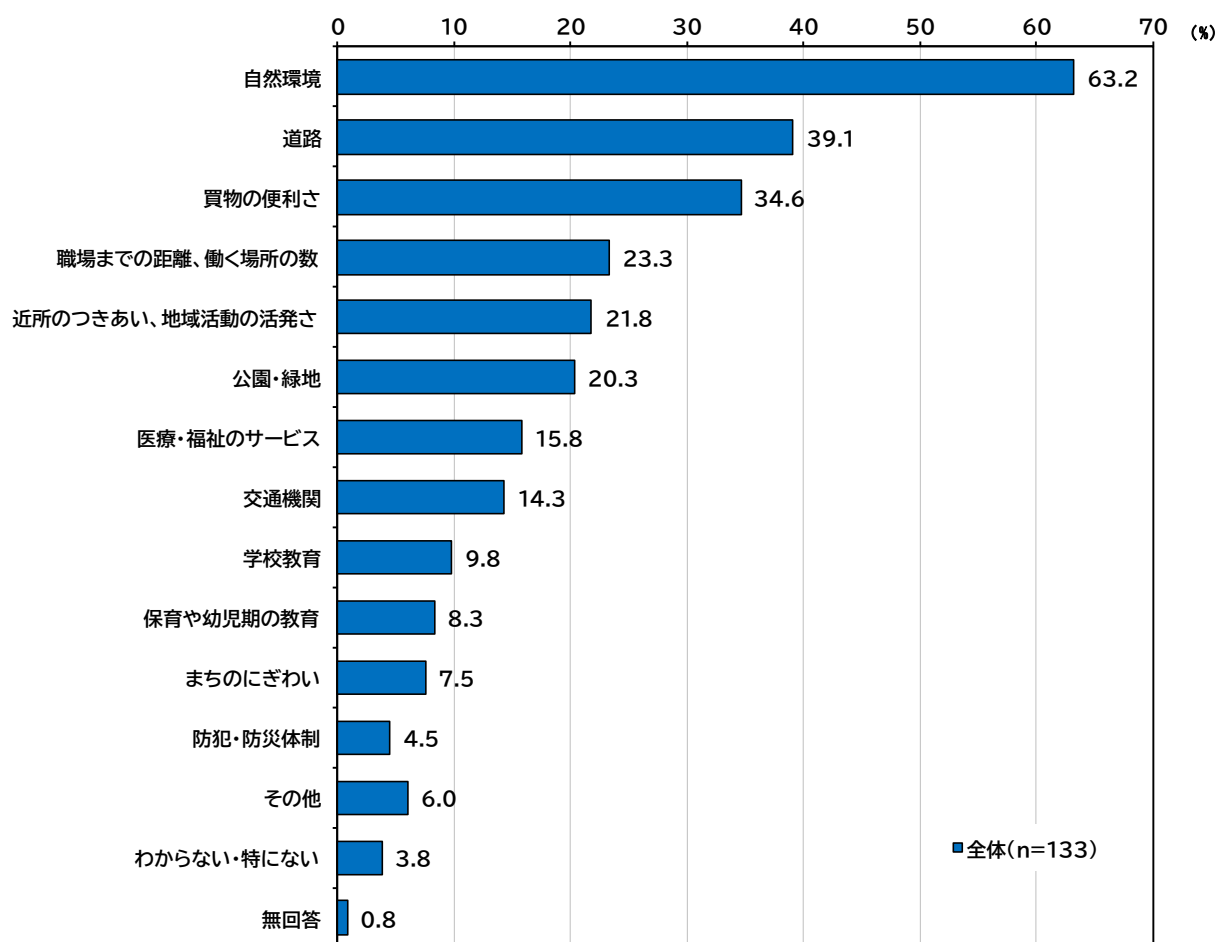


イ 住みやすいと感じた理由

光市が住みやすいと感じた理由としては、「自然環境」が 63.2%と特に多く、次いで「道路」が 39.1%、「買物の便利さ」が 34.6%、「職場までの距離、働く場所の数」が 23.3%、「近所のつきあい、地域活動の活発さ」が 21.8%、「公園・緑地」が 20.3%となっています。

設問 12-1 光市が住みやすいと感じた理由は何ですか？

<あてはまるもの全部に○印>

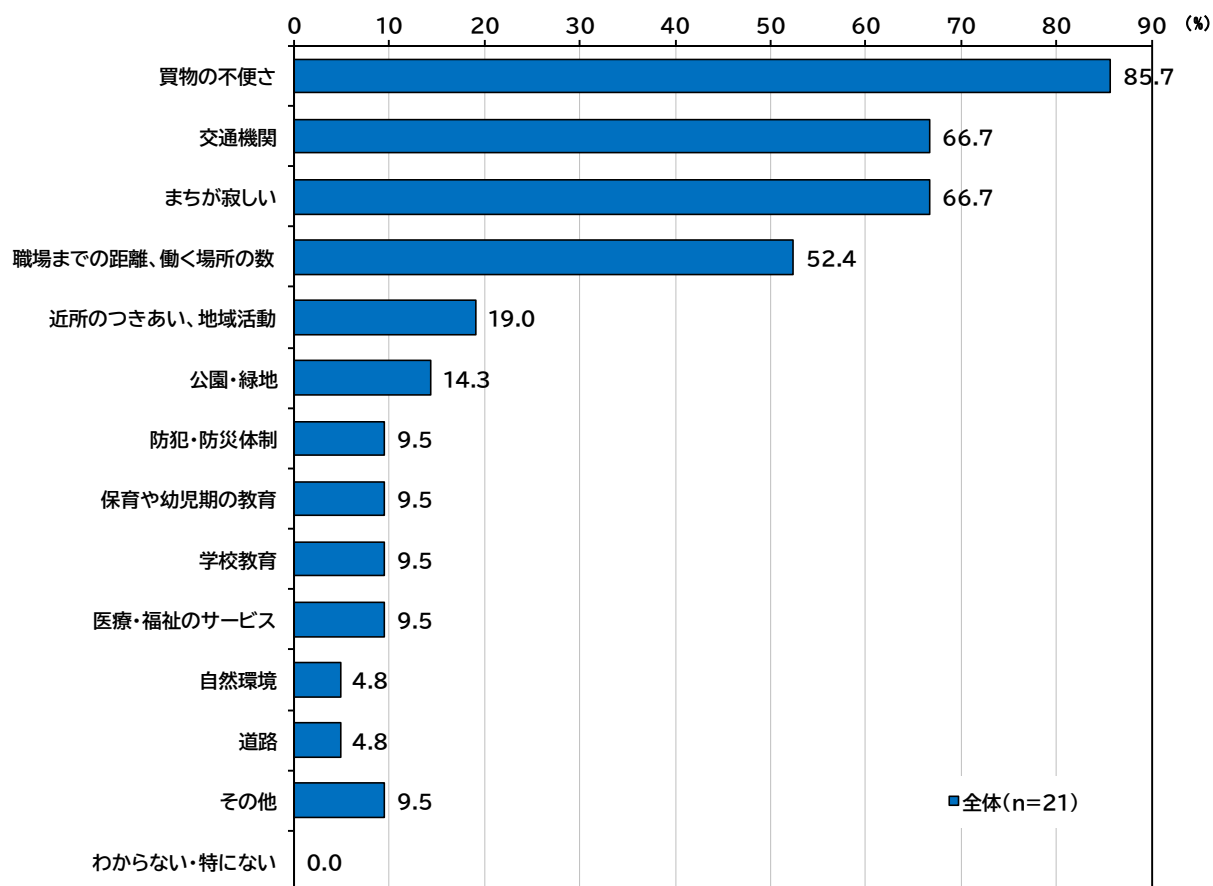


ウ 住みにくいと感じた理由

光市が住みにくいと感じた理由としては、「買物の不便さ」が85.7%と最も多く、次いで「交通機関」と「まちが寂しい」が各66.7%、「職場までの距離、働く場所の数」が52.4%となっています。

設問 12-2 光市が住みにくいと感じた理由は何ですか？

<あてはまるもの全部に○印>



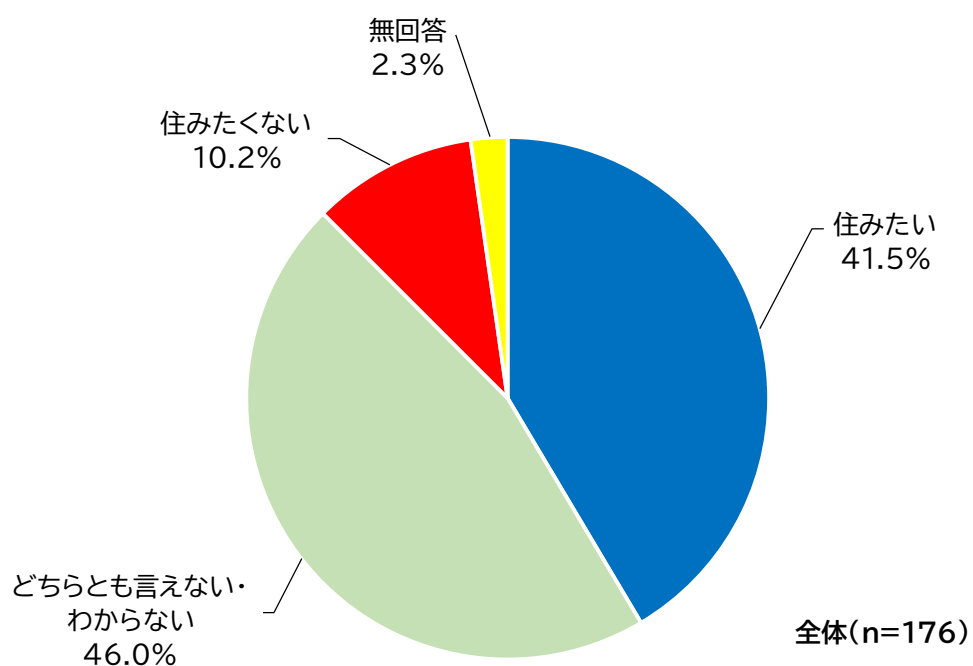
(5) 機会があれば光市への居住意向（設問 13、設問 13－1）

ア 居住意向

もし機会があれば、また光市に住みたいと思うかについてみると、「住みたい」が 41.5%、どちらとも言えない・わからないが 46.0%、「住みたくない」が 10.2%となっています。

設問 13 もし機会があれば、また光市に住みたいと思いますか？

< 1 つだけに○印 >



イ 住みたいと思う理由・思わない理由

① 思う理由

住みたいと思う理由の主な意見は、下記のとおりです。

設問 13-1 設問 13 で回答した理由を教えてください。

＜ご自由に記入してください＞

【「思う」の主な理由】

- 実家があるから。近所の人との交流も多くあり、自然も多く住みよいまちだから。
- できれば生まれ育った地に戻りたい。
- 今まで育てて頂いた光市に恩返しをしたいから。慣れ親しんだ地域で住みやすいと思うから。
- 幼稚園から高校まで光市で過ごし、様々な思い出が残っていると同時に、大好きな地元だから。
- 光市は生まれ育った市で愛着があるため、機会があれば、また光市に戻りたいと思っている。現在の住所に住んだことで、光市は空気がきれいなことに気づかされた。子育てするならば、今の住所よりも光市の方がよいだろうと思う。
- 自然が多く、静かで海もきれいでとても良い環境で、住みやすいまちだった。
- 自然が豊かで、買い物する場所でも適度にあり、住みやすいから。
- 自然や気候が良い。人が優しい。
- 自然環境に恵まれており、医療、買い物の便利さがある。また、交通機関も不便ではない。
- 自然豊かで、子どもを育てるのに環境が良い。近所の方が穏やかで自分自身が落ち着いて生活できる。
- 海や山、川などの自然が豊かだから。
- 温暖で自然環境にも恵まれている。生活する上で必要となる施設等も整備されており、近隣の市町への道路事情も良い。
- 育児世代の支援が充実している。保育園が充実している。
- 人口が密集しておらず、車などで動きやすい。海があり、開放感がある。
- 水がとてもきれいで水道水が飲めたこと。
- 年中から高校まで光市に住んでいたが、僕の青春が詰まっていると言っても過言ではないくらい光市に愛着があり、第2の故郷とも言える所。自然が豊かで歴史もあり、お祭りなど地域の行事も魅力的。今、教師となるべく大学で勉強しているが、いずれは光市で先生をやりたいと思っている。
- とても住みやすく、子育てをする環境にいいと思うから。

② 思わない理由

住みたいと思わない理由の主な意見は、下記のとおりです。

設問 13－1 設問 13 で回答した理由を教えてください。

＜ご自由に記入してください＞

【「思わない」の主な理由】

- 自然環境はとても良いと感じたが、交通の便が良くない。また、買い物についても下松の方が便利。高齢者には住みにくい市だと感じている。
- 若い人が住むにあたって、光市はショッピングモールや大きい公園がないため、他市に行かないといけない。車がないとスーパーにも行きづらいし、光市でも少し田舎な場所は交通の便も悪いし、街灯も少なく暗いから、老後が住みづらいと想定される。生まれた子どもも、他市・他県に出ると想像がつくから、他市・他県に出たいという気持ちがより強くなった。
- 買い物する場所が少ないのと、まちに賑わいがあまり感じられないため。
- 電車の本数が少ないから。店や建物の数が少ないため、生活のパターンが限定されてしまうから。塾や娯楽施設など若者が使用したい建物が少ないから。

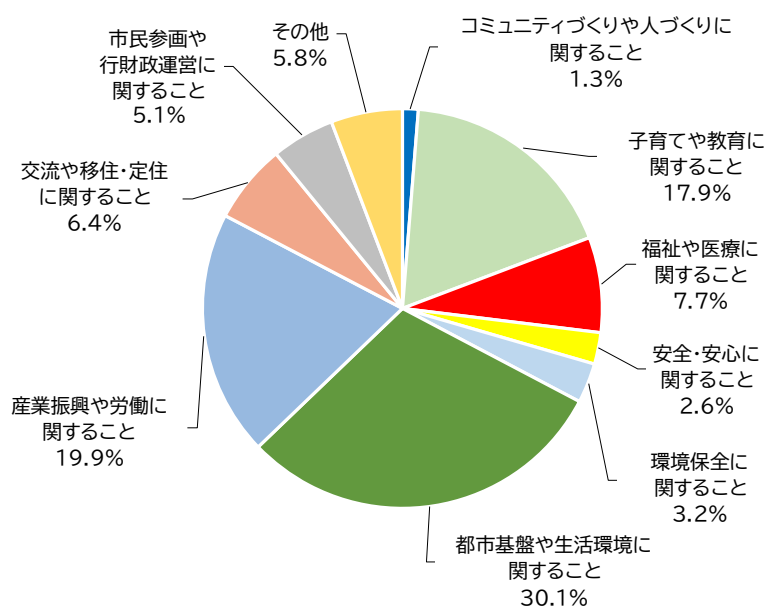
（６）人口減少に歯止めをかけるための施策について（設問 14）

今後、光市が活性化し、（将来的な）人口減少に歯止めをかけるため、より良いまちとなるためのご意見として、110 人から 156 件の具体的な意見をいただきました。内容の内訳と主な理由は下記のとおりです。

設問 14 今後、光市が活性化し、（将来的な）人口減少に歯止めをかけるため、より良いまちとなるためには、市としてどのような施策を重点的に進めるべきだと思いますか？
あなたが普段感じていたことを教えてください。 <ご自由に記入してください>

【内容の内訳】

	件数 (件)	割合 (%)
コミュニティづくりや人づくりに関すること	2	1.3
子育てや教育に関すること	28	17.9
福祉や医療に関すること	12	7.7
安全・安心に関すること	4	2.6
環境保全に関すること	5	3.2
都市基盤や生活環境に関すること	47	30.1
産業振興や労働に関すること	31	19.9
交流や移住・定住に関すること	10	6.4
市民参画や行財政運営に関すること	8	5.1
その他	9	5.8
合 計	156	100.0



【主な理由】

《コミュニティづくりや人づくりに関すること》

- 浅江地区だけでなく、光井地区や室積地区のコミュニティを活発化させる。
- 高齢者が多いため、若い人に自治会の負担が大きくならないよう、自治会行事のあり方も考えないといけないと思う。

《子育てや教育に関すること》

- 子どもが遊具で遊べるような、芝生など充実した公園施設があれば、もっと人が集まって賑わうのではないかなと思う。
- 子育て世代にフォーカス。保育園や学校の教育内容がとても素晴らしいので、そこを発信しつつ守ってあげてほしい。年輩の方も、積極的に子どもとの関わり合いがあり素晴らしいと思う。

- 光市は特に子育て世帯を大事にしていると思う。
- 教育現場において、将来を担う光市の良さを伝えて行くべきだと思う。
- 子育て世代としては、公園を増やしてほしい。
- 他市町村との子どもを育てたい環境づくりの違いをアピール。
- 子育て世代を支える施策の充実。
- 子育て世代の憩いの場を設け、遊びの場を増やす。

《福祉や医療に関すること》

- 下松市は全国的にも珍しく所得制限のない不妊治療助成制度があるため、魅力を感じ転居した。人口減少に歯止めをかけるためには、医療や福祉サービスの充実、住む方としては非常に魅力を感じるため、得策ではないかと思った。
- 福祉の充実。
- 医療施設の充実。
- 子育てや高齢者福祉の充実を図る施策。
- 大和病院に整形、眼科などの診療科を増やしてほしい。
- インフルエンザ予防接種の金額が、他の市町村に比べて支払い金額が高いように思う。
- 子どもの医療費等の医療、福祉のサービスの充実。

《安全・安心に関すること》

- もう少し外灯など増やし、安全にする。
- 大雨が降ると、三井の島田川流域に住んでいる方は不安になるそうなので、今後はこの対策をしていくこと。
- 島田川の魅力、安全アップのために、河川敷の工事を今後も継続してほしい。

《環境保全に関すること》

- 四季折々でカラーを変え、人々を飽きさせることのないまちの雰囲気期待いたします。個人的には国道 188 号の下松に続く直線道路が好きで、海岸沿いがもっと魅力的になれば、夏には楽しみが増えるような気が致します。
- ごみ分別の簡素化。柳井市くらいのごみ分別の仕方だとすごく捨てやすい。暮らす上でのごみ処理は簡単な方がよい。
- イノシシ対策－猟友会をちゃんと機能させること。
- 大規模商業施設の誘致などよりも、今ある自然や地域活動を、どう外へ伝えるかが大切だと感じていた。初めて光市に住み始めた頃は、老朽化したイメージも正直あったが、目に付く所はきれいだといいなと感じていた。きれいで誰もが使いやすいと長く住みたくなる。

《都市基盤や生活環境に関すること》

- 20～50 代が住みたくなるようなまちづくりが大切だと思う。働く所があり、買い物や、外食(ランチや飲み会含め)を光市で済ませることができる、自転車や、バス、J R で移動ができる、まちに活気があって、でも、都会過ぎないこと。
- 小さい子や学生、若者向けの遊び場がなく、同じような店が多い。

- 市街地へのアクセスがしやすいこと、住宅の近くにスーパー等があり、公園で夜走ることができること。
- 交通の便利さ（室積に駅があれば）。
- バス便を増やす。
- 駅周辺の開発。
- 車がなくても生活できる交通機関の充実。高齢化に伴い、免許返納が増えるので、交通機関の充実を望む。
- 市内での移動は車がないととても不便だったので、コミュニティバス等で各地区の移動をやすくしてほしい。
- 交通の充実。近隣の市町村とのアクセス改善。土砂崩れでも安心道路。
- 交通の利便性。
- 各事業者と協力して交通機能の強化。また、光駅前にもっと賑わいがあるべきだと思う。特に南口は、虹ヶ浜海水浴場と合わせて光市の顔だと思っているので期待している。
- 交通の便利さと買い物の便利さがないので、改善されたらよい。
- 公共交通機関が少なく、車がないと生活が不便。
- 空き家が増え、手入れもされていないため、シロアリなどの害虫や、火災や地震の発生時に危険が増しており、安心して暮らせない。
- 高齢者のため、乗り合いタクシーや、病院、役所への無料チケットなど行えば、安心して免許証の返納ができ、どこでも住める。
- 島田駅、岩田駅の段差とエレベーター設置等の改修、公共バスの本数が少ない。
- 高齢者でも容易に日々の買い物を行えるよう商業施設やインフラの整備。治安活動（外灯など）。
- 光市は、自然は多いが、子どもを安心して遊ばせる公園などが少ないので、公園も多くし、定期的に草刈りをして整備する。
- ショッピングモールの誘致。
- J R 西日本に働きかけて、新幹線のぞみ、徳山駅と山陽本線の連絡の良さを図る、山陽本線崖崩れのしない整備、光駅前周辺の活性化。
- 道路の整備は素晴らしいと思っており、今後も継続して頂きたい。
- 光市の温泉施設の更なる充実化。
- 選択的なワークスタイルが重要なのかなと思う。リモートなオフィス空間の提案や、仕事や学校帰りに軽作業を行うことができるスペースなど。定住することを考えた場合、仕事と子育てを両立しながら生活するためのインフラが大切であることが優先的になり、車ありきで社会福祉施設や広場が多く存在する東部と、商業施設や駅、産婦人科が存在する西部に二極化している点が、ハードルを上げている気がする。
- 若者の流出を避けるために、子育て支援や、駅などの整備とバスなどの公共交通機関の発達も必要ではないかと感じる。
- 光市の顔となる光駅の開発。

《産業振興や労働に関すること》

- 仕事ができる場所を増やしてほしい。
- 大型商業施設の誘致や企業誘致。交通の利便性が必要。

- 若い人が働ける所が必要である。また、高齢者が多くなる中で、シルバー等でも働く所がもっとあると良いと思う。
- 企業誘致して住んでもらう。
- もう一度企業に元気になってもらい、働く場を増やすことが第一だと思う。
- 虹ヶ浜を中心にした観光に力を入れるべき。駐車場の整備、温泉施設付きホテル、旅館など。わかば公園は、山陽小野田の花の海のような農場になるといい。冠山総合公園も設備が古いため改装すべき。バラや梅ではなく、ひまわり、コスモス、ネモフィラなど若者向きの植物を育てるべき(インスタに載せたいかなるような)。
- 外食する場所やまちの特産品などの増加。
- 若者の就職先の確保。
- 若い人向けの飲食店や、娯楽施設の増加。
- 企業の更なる誘致。
- 大手企業の支店や営業所を誘致する。
- 子どもが将来働きたいと思う仕事場があること。
- 商業施設の活性化が必要。光市の中に魅力的な商業施設があると、そこで買い物したり、お茶したりして人が集まっていくのではないかなと思う。
- 雇用の確保、増進
- 農業、漁業に特化した施策（機械購入の援助）。
- 大規模な商業施設の整備
- 活気あるまちづくりが必要だと思う。買い物する店が少なく不便さを感じていた。
- 若者にとって働ける場所、遊べる場所は必要だと思う。光市に住んでいる時、休みの日は隣の市まで買い物に出たりしていた。やはりショッピングモール系は必要。
- 大学、専門学校が少ないのに加えて、就職先が限られてしまうため、移動すると思う。

《交流や移住・定住に関すること》

- まちに活気がほしい。観光できる所がほしい。
- もっと観光施設があればよいと思う。
- 光市独自の観光向けイベントがもっとあればいいのかなと思った。
- 光市の特産品（できれば手土産として持って行けそうなもの）ができればよいと思った。
- 冠山公園の頂上にカフェを作ったり、柳井や他市のスポット合わせた観光行事をし、もっと他市へアピールして観光客を増やす。
- 光市は昔から「おっぱい都市宣言」を掲げ、子育てや若者支援の政策を多く行って来ている。光市公式の Instagram に起業している移住者の取り組みや、移住者から見た光市の魅力等を掲載、発信することで、より市内外の人々に魅力が伝わり、移住希望者の増加に繋がるのではないかと考えている。

《その他》

- 市外から市内に移住しようとしている人、検討している人向けに、お試し移住として一定期間住んで見て、その後に引っ越すかどうかを決めるというものがあった。移住希望者への支援についてインターネット等を活用して、宣伝していくことが有効なのではないかなと思う。コロナ禍でリ

- モータ化が進み、地方に住もうと考えている人もいると思うので、今が良い機会かもしれない。
- 企業誘致等で、光市に住む方を増やすため、住宅助成等が充実すればと思う。買い物等は大きなまち（周南市や広島）へ行くので補助等があれば、魅力的に感じる方もいると思う。
 - 定住には足が必要。どんなに素晴らしい施設であっても、交通機関、駐車場の整備が進んでなければ誰も住まない。若者ばかりターゲットにしない。高齢化社会を逆手にとって、高齢者が住みたくなるまち、集まってくるまちを目指すのも一つの手。姥捨て山ではなく、老人憩いのまちづくりが成功すれば、次はそこへ若い年代層も集まってくる。（医療、福祉、介護関係者、求職者等）＋エコ、クリーン、省エネに配慮された環境作りが自然環境とオーバーラップすれば、そこへ若者を呼び寄せる。ファッショナブルなエリア（集客ゾーン）展開も後追いでついてくる。急がば回れで二段階の定住促進をイメージしては。
 - 光の魅力（海、歴史、観光）PRを進める（ホームページ、CMなど）。
 - 若者が住むには少し物足りないです（商業施設等）。他の人口が増加している市町村には何かしらの魅力があるのだと思うので、どんどん取り入れて行ってほしいです。市役所もかなり古いようですので、改修などされると光市に対する印象も変わると思う。

＜第3次光市総合計画の策定に向けた市民意識調査＞ あなたの声をお聞かせください



調査のお願い

平素から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

光市では、平成29年3月にまちづくりの指針として策定しました「第2次光市総合計画」が令和3年度に目標年次を迎えることから、現在、令和4年度から令和8年度までの基本的な方向性を示す「第3次光市総合計画」の策定に取り組んでいます。

この調査は、これからのまちづくりを進めていく上での市民意識を把握するために行うもので、今後の光市のまちづくりに活かしていきたいと考えています。

なお、16歳以上の市民の皆様の中から無作為に抽出した方を対象に、無記名回答方式で実施します。

集計結果は公表させていただく予定ですが、個人に関わる情報が公表されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いします。

令和2年11月

光市

ご記入にあたってのお願い

- ご回答は設問ごとの指示に従い、番号に○印をつけてください。設問によって○印をつける数が異なりますので、間違えないようにご注意ください。
- この調査に、封筒の宛名の方が答えられない場合、ご家族の方がお答えください。
- この調査票は、同封しました返信用の封筒に入れ、**12月2日（水）までに郵便ポストにご投函ください。**
- ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

＜問合せ・連絡先＞

政策企画部 企画調整課 企画係	担当：山本
TEL：0833-72-1407	
FAX：0833-74-1041	

1 あなた(回答者)ご自身について

設問1 あなたの性別は？

1 男性

2 女性

設問2 あなたの年齢は？

1 10代

2 20代

3 30代

4 40代

5 50代

6 60代

7 70代以上

設問3 あなたがお住まいの地区はどこですか？

1 牛島

2 室積（岩屋・伊保木・五軒屋）

3 室積（2以外）

4 島田・中島田

5 上島田

6 浅江

7 光井

8 三井

9 立野・小周防

10 塩田

11 三輪

12 岩田・岩田立野

13 束荷

設問4 あなたの同居家族の構成は？

1 一人暮らし

2 夫婦のみ

3 2世代家族（子どもと）

4 2世代家族（親と）

5 3世代以上の同居家族

6 その他（具体的に

）

設問5 あなたの通勤・通学先はどこですか？

〈1つだけに○印〉

- | | | | |
|--------------|-------|------------|-------|
| 1 光市内（自宅含む） | 2 下松市 | 3 周南市 | 4 柳井市 |
| 5 田布施町 | 6 平生町 | 7 その他（具体的に | ） |
| 8 通勤、通学していない | | | |

設問6 日常的な買い物の行き先はどこですか？

〈2つまでに○印〉

- | | | | |
|--------|-------|------------|-------|
| 1 光市内 | 2 下松市 | 3 周南市 | 4 柳井市 |
| 5 田布施町 | 6 平生町 | 7 その他（具体的に | ） |

設問7 あなたは、お住まいの地区（設問3でお答えになった地区）に住み始めて何年になりますか？

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1 5年未満 | 2 5年以上10年未満 | 3 10年以上15年未満 |
| 4 15年以上20年未満 | 5 20年以上 | |



2 3つの都市宣言について

光市では、まちづくりの普遍・不朽の理念として、

「おっぱい都市宣言」 「自然敬愛都市宣言」 「安全・安心都市宣言」

の3つの都市宣言を掲げ、これらの宣言の理念をまちづくりの基本としています。
以下、3つの都市宣言についてお尋ねします。

設問8 「おっぱい都市宣言」に基づくまちづくりが進められていると思いますか？

<1つだけに○印>

1 思う

2 思わない

3 どちらとも言えない・わからない

※ 1または2を選択した方は **設問8-1** へ、その他の方は **設問9** へお進みください。

設問8-1

設問8

で回答した理由を教えてください。<ご自由に記入してください>

参考：「おっぱい都市宣言」とは

「おっぱい都市宣言」は、「おっぱい（胸）でしっかりと子どもを抱きしめ、愛しむ、愛情豊かなふれあいの子育て」を、お母さん、お父さんだけでなく、地域のみなで進め、応援していきましょう、という宣言です。「地域ぐるみの愛情豊かなふれあいの子育ての推進」を表現しています。

愛情豊かな絆やふれあいが、子どもをつくり、生み、育て、学び、働き、憩い、長寿を全うするまでの人々の営みの中で大切にされ、すべての人が充実した時を過ごせる、住みたいまち・住み続けたいまちを目指しています。



おっぱい都市宣言のまち
イメージキャラクター「きゅっと」

設問 9

「自然敬愛都市宣言」に基づくまちづくりが進められていると思いますか？

<1つだけに○印>

1 思う

2 思わない

3 どちらとも言えない・わからない

※ 1または2を選択した方は **設問9-1** へ、その他の方は **設問10** へお進みください。**設問9-1****設問9**

で回答した理由を教えてください。<ご自由に記入してください>

参考：「自然敬愛都市宣言」とは

「自然敬愛都市宣言」は、自然に対して敬愛という心を持って保全や創造、再生に取り組むことこそ人間らしく心豊かな社会の発展に寄与するとの考えのもと、市民一人ひとりに自然を敬愛する心が育まれ、日々の生活の中に浸透することを願うものです。

自然に対する本市の姿勢を明確にし、施策に独自性を持たせることで、より自立した都市の成長を目指します。同時に、市民が敬愛の心をもって自然を育むことを通じて、社会に新たなネットワークが形成されることも期待されています。

**設問 10**

「安全・安心都市宣言」に基づくまちづくりが進められていると思いますか？

<1つだけに○印>

1 思う

2 思わない

3 どちらとも言えない・わからない

※ 1または2を選択した方は **設問10-1** へ、その他の方は **設問11** へお進みください。**設問10-1****設問10**

で回答した理由を教えてください。<ご自由に記入してください>

参考：「安全・安心都市宣言」とは

「安全・安心都市宣言」は、市民自らが安全意識を高揚し、力を合わせて支えあい助け合い、思いやりの精神に満ちた社会を築いていくことを願うものです。子どもからお年寄りまで、すべての市民が安全で安心して生活できるまちの実現を目指します。



3 行財政運営について

設問 11 市政について、持続可能で健全な行財政運営が行われていると実感しますか？

＜1つだけに○印＞

1 実感する

2 どちらとも言えない

3 実感しない

設問 11-1 実感する理由は何ですか？

＜あてはまるもの全部に○印＞

- 1 市民参画の機会が確保されている
- 2 市民意見が市政に反映されている
- 3 市政に関する情報提供や情報公開がされている
- 4 各種申請や手続などサービスが利用しやすい
- 5 行政運営、財政の効率化が図られている
- 6 事業等の成果や評価が、次の取組みに活かされている
- 7 施設や財産の適正管理・有効活用がされている
- 8 その他

（具体的に

設問 11-2 実感しない理由は何ですか？

＜あてはまるもの全部に○印＞

- 1 市民参画の機会が確保されていない
- 2 市民意見が市政に反映されていない
- 3 市政に関する情報提供や情報公開がされていない
- 4 各種申請や手続などサービスが利用しにくい
- 5 行政運営、財政の効率化が図られていない
- 6 事業等の成果や評価が、次の取組みに活かされていない
- 7 施設や財産の適正管理・有効活用がされていない
- 8 その他

（具体的に

設問 12 行政サービスが多様化する一方、全国的に地方自治体の財政状況は厳しいものとなっていますが、光市も例外ではありません。このような中、これからの行政と市民の役割について、あなたの考えに最も近いものはどれですか？

＜1つだけに○印＞

- 1 税金や使用料など個人の負担を増やしても、従来どおりの行政サービスを維持してもらいたい
- 2 税金や使用料など個人負担は現状のままとし、行政サービスを減らして対応してもらいたい
- 3 民間事業者への業務委託等を進め、行政のスリム化を図るべきである
- 4 市民や地域の力を活用して、きめ細かなサービスを生み出すべきである
- 5 役割分担を明確にし、地域でできることは地域に委ねていくべきである
- 6 その他（具体的に

）

4 分野別の目標について

～ 今後5年間（次期総合計画期間の令和4年度～令和8年度）の各分野における取組みについてお尋ねします。～

設問 13 【コミュニティづくり】や【人づくり】に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？ **< 2 つまでに○印>**

- 1 地域づくり・地域課題等の解決に向けた市民と行政のパートナーシップの強化
- 2 自治会の活性化や地域コミュニティ活動への支援（地域自治の実現）
- 3 市民活動やNPOの育成、支援
- 4 生涯学習・読書環境の充実
- 5 芸術・文化活動の活性化、伝統芸能・文化財の保存・活用
- 6 スポーツ・レクリエーションの振興
- 7 男女共同参画社会の形成
- 8 国際交流、外国人と地域社会の共生に向けた取組み
- 9 その他（具体的に)

設問 14 【子育て】や【教育】に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？ **< 2 つまでに○印>**

- 1 妊娠・出産・子育てに対する相談・支援の充実
- 2 まち全体で支える子育て支援の総合的な展開・充実（医療費助成、サポーター など）
- 3 保育サービスや幼児教育の充実
- 4 「生きる力」を育む質の高い教育の推進、特別支援教育の充実
- 5 学校施設や義務教育教材、ICT活用など教育環境の充実
- 6 小中学校の規模や配置など学校施設のあり方の見直し
- 7 「コミュニティ・スクール」(※)をはじめとする地域ぐるみの教育の推進
- 8 青少年活動の推進など青少年の健全育成
- 9 その他（具体的に)

(※)「コミュニティ・スクール」:「子どもとかわり、見守り、支え、応援していく、地域と連携した学校づくり」のシステムのこと

設問 15 【福祉】や【医療】に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？ **< 2 つまでに○印>**

- 1 多様な世代が助け合い、支え合う多世代共生社会の実現
- 2 食育や心身機能の維持・向上など健康づくりの推進
- 3 疾病予防対策やがん検診・歯科検診など保健事業の充実
- 4 介護予防・介護サービスの充実、「地域包括ケアシステム」(※)の構築・発展
- 5 障害者の自立支援の推進
- 6 光総合病院・大和総合病院を中心とした地域医療体制の充実
- 7 2つの市立病院への交通アクセスの充実
- 8 社会保障の充実（公的扶助の充実、健康保険・介護保険等の適正運営）
- 9 その他（具体的に)

(※)「地域包括ケアシステム」:高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、介護、福祉、医療サービスや様々な生活支援サービスを継続的かつ包括的に提供する仕組みのこと

設問 16 【安全・安心】に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？
＜2つまでに○印＞

- 1 自主防災組織等の育成・支援など、地域における防災・減災対策の推進
- 2 災害時の防災指令拠点の整備や避難場所の確保
- 3 河川改修や高潮対策、土砂災害防止など災害に強い都市基盤の整備
- 4 消防・救急体制の充実
- 5 防犯活動・交通安全の推進
- 6 消費者の安全・安心の確保
- 7 空き家対策の推進
- 8 その他（具体的に

)

設問 17 【環境保全】に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？
＜2つまでに○印＞

- 1 市民総参加の美化活動などによる自然環境の保全
- 2 騒音や悪臭、大気汚染など公害防止対策の推進
- 3 LED照明設備など省エネルギーの普及促進による地球温暖化対策の推進
- 4 ごみ発生抑制・再資源化の促進による循環型社会の構築
- 5 下水道の整備、浄化槽の設置促進、水環境の保全
- 6 その他（具体的に

)

設問 18 【都市基盤】や【生活環境】に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？
＜2つまでに○印＞

- 1 光駅周辺地区の拠点整備の推進（バリアフリー化と南北自由通路などの整備）
- 2 岩田駅周辺地区におけるコンパクトなまちづくりの推進
- 3 幹線道路（国道・県道など）や生活道路の整備
- 4 持続可能な公共交通ネットワークの構築、交通弱者の生活交通の確保支援
- 5 良好なまち並み・景観の整備
- 6 公園、緑地など公共空間の整備、緑化活動の推進
- 7 木造建築物の耐震化促進、市営住宅の整備・提供
- 8 安全でおいしい水の供給（水道事業の健全化、飲料水の確保など）
- 9 離島や周辺地域における生活環境の整備や産業の振興・交流事業の促進
- 10 その他（具体的に

)

設問 19 【産業振興】や【労働】に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？ **< 2 つまでに○印>**

- 1 農林水産業の振興、地産地消・6次産業化の推進
- 2 工業の振興
- 3 商業・サービス業の振興
- 4 企業誘致の強化
- 5 雇用の確保と安定
- 6 創業や新規事業への支援
- 7 その他（具体的に

)

設問 20 【交流】や【移住・定住】に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？ **< 2 つまでに○印>**

- 1 地域資源を活かした観光振興
- 2 特色ある祭りやイベント等の振興やスポーツ大会など、観光以外の交流の促進
- 3 シティプロモーション（まちの魅力の発掘、市内外への発信）の推進
- 4 出会いの場の創出、結婚の希望実現に向けた支援
- 5 地域コミュニティと連携した取組みなどによる移住（U・J・Iターン）の促進
- 6 友好交流都市との交流など、都市間交流の推進
- 7 その他（具体的に

)

設問 21 【市民参画】や【行財政運営】に関する取組みについて、特に必要だと思うことは何ですか？ **< 2 つまでに○印>**

- 1 まちづくりへの市民参画機会の拡充
- 2 広報・広聴活動と情報公開の推進
- 3 ICT技術やマイナンバー制度の活用などによる行政手続のデジタル化
- 4 地方分権の推進と国・県との連携強化
- 5 他市町との共同処理事務や広域行政の推進
- 6 職員の資質向上と意識改革の推進
- 7 PDCAサイクルに基づく行政運営の評価・検証
- 8 財政運営の効率化の推進、安定的な財源の確保
- 9 再編や統廃合などを含めた公共施設の適正規模・適正配置の推進
- 10 市が保有する遊休財産の処分と活用
- 11 その他（具体的に

)

5 社会情勢の変化への対応について

設問 22 2015 年の国連サミットで採択された、2030 年までに「誰一人取り残さない」持続可能でより良い世界を目指すための国際目標『SDGs（エス・ディ・ジーズ）』を知っていますか。

- 1 知っている 2 見聞きしたことはあるが、内容は知らない 3 知らない

参考：SDGs（エス・ディ・ジーズ）とは

2015 年 9 月の国連サミットで採択された SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない」持続可能(*)でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2030 年を達成年限とし、17 のゴール（目標）と 169 のターゲットから構成されており、発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものです。

日本においても、政府に SDGs 推進本部を設置して実施方針を決定するなど、積極的に取り組まれています。地方公共団体においても、地方創生の一層の推進のため、SDGs 達成のための取り組みが求められています。

(*) 持続可能：将来にわたって持続的・永続的に活動を営むこと

～ SDGs 17 のゴール（目標）～

	【目標 1】 貧困をなくそう あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる		【目標 2】 飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する
	【目標 3】 すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する		【目標 4】 質の高い教育をみんなに すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
	【目標 5】 ジェンダー平等を実現しよう ジェンダー平等（男女の平等）を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメント（社会的な地位や権限などの確立）を行う		【目標 6】 安全な水とトイレを世界中に すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
	【目標 7】 エネルギーをみんなに そしてクリーンに すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセス（接続）を確保する		【目標 8】 働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する
	【目標 9】 産業と技術革新の基盤をつくろう 強固なインフラ（社会基盤）構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーション（技術革新）の推進を図る		【目標 10】 人や国の不平等をなくそう 国内及び各国家間の不平等を是正する
	【目標 11】 住み続けられるまちづくりをしよう 包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する		【目標 12】 つくる責任 つかう責任 持続可能な消費生産形態を確保する
	【目標 13】 気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる		【目標 14】 海の豊かさを守ろう 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
	【目標 15】 陸の豊かさを守ろう 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の防止・回復及び生物多様性の損失を阻止する		【目標 16】 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
	【目標 17】 パートナリシップで目標を達成しよう 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップ（地球規模の協力関係）を活性化		

設問 23

SDGsに掲げる17のゴール(目標)のうち、暮らしの中であなた自身が取り組んでいる、または、今後取り組みたいものは何ですか？(※取組内容の一例やイメージを括弧書きで参考記載しています)

<あてはまるもの全てに○印>

- 1 【目標1】 貧困をなくそう(社会活動の共同募金などに寄附をする)
- 2 【目標2】 飢餓をゼロに(栄養バランスを考えた食事をする)
- 3 【目標3】 すべての人に健康と福祉を(徒歩や自転車での通勤・通学に挑戦する)
- 4 【目標4】 質の高い教育をみんなに(福祉イベントなどに家族で参加する)
- 5 【目標5】 ジェンダー平等を実現しよう(家事を平等に分担する)
- 6 【目標6】 安全な水とトイレを世界中に(水道の蛇口をこまめに閉める)
- 7 【目標7】 エネルギーをみんなに そしてクリーンに(太陽光発電などを導入する)
- 8 【目標8】 働きがいも経済成長も(残業をしない、休暇をきちんと取得する)
- 9 【目標9】 産業と技術革新の基盤をつくろう(コミュニティビジネスに協力する)
- 10 【目標10】 人や国の不平等をなくそう(いじめや差別をしない、させない)
- 11 【目標11】 住み続けられるまちづくりをしよう(まちの清掃・防災活動に積極的に参加する)
- 12 【目標12】 つくる責任 つかう責任(マイバック、マイボトルを持参する)
- 13 【目標13】 気候変動に具体的な対策を(電気をこまめに消す)
- 14 【目標14】 海の豊かさを守ろう(海や川に行ったらごみは持ち帰る)
- 15 【目標15】 陸の豊かさも守ろう(飼えなくなったペットを野山に捨てない)
- 16 【目標16】 平和と公正をすべての人に(被爆者や被災地に想いを寄せる)
- 17 【目標17】 パートナーシップで目標を達成しよう(異なる世代が交流するイベントに参加する)
- 18 特になし

設問 24

SDGsに掲げる17のゴール(目標)のうち、光市のまちづくりで特に必要だと思うものは何ですか？

<3つまでに○印>

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1 【目標1】 貧困をなくそう | 2 【目標2】 飢餓をゼロに |
| 3 【目標3】 すべての人に健康と福祉を | 4 【目標4】 質の高い教育をみんなに |
| 5 【目標5】 ジェンダー平等を実現しよう | 6 【目標6】 安全な水とトイレを世界中に |
| 7 【目標7】 エネルギーをみんなに そしてクリーンに | 8 【目標8】 働きがいも経済成長も |
| 9 【目標9】 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10 【目標10】 人や国の不平等をなくそう |
| 11 【目標11】 住み続けられるまちづくりをしよう | 12 【目標12】 つくる責任 つかう責任 |
| 13 【目標13】 気候変動に具体的な対策を | 14 【目標14】 海の豊かさを守ろう |
| 15 【目標15】 陸の豊かさも守ろう | 16 【目標16】 平和と公正をすべての人に |
| 17 【目標17】 パートナーシップで目標を達成しよう | 18 特になし |

設問 25

「新たな日常」に対応した、感染症にも経済危機にも強い持続可能なまちづくりを進めるために、特に必要だと思うことは何ですか？

＜3つまでに〇印＞

- 1 公共施設等における3密対策の実施による快適な空間の創造
- 2 発熱外来の設置や地域への看護師派遣による院内感染の防止
- 3 キャッシュレス決済の普及促進
- 4 行政IT化（行政手続のオンライン化・電子処理化、インターネット発信の強化）
- 5 新型コロナウイルス感染症等に対応した災害対応（避難生活の3密対策、被災者支援手続のデジタル化等）
- 6 再生可能エネルギーの活用など地域の特性を踏まえた多様なエネルギー供給
- 7 児童生徒1人1台端末環境など新たな時代に相応しい教育の実現
- 8 オンライン診療・オンライン服薬指導の支援
- 9 ICTなどデジタル技術を活用した新たな公共交通ネットワークの構築
- 10 文化芸術・スポーツ等を活用した地域の独自性の発掘・配信、収益化
- 11 テレワークなど働き方の変化や過密回避などによる都市から地方への分散に対する受入れ強化
- 12 居場所や人とのつながりの喪失による孤立化防止のため、ひとり親家庭や単身高齢者等への新しいつながりの創出
- 13 強い農林水産業及び食料産業の実現に向けた新たな投資促進・労働力確保
- 14 「新しい旅行スタイル」に対応した宿泊、飲食、運送等の環境整備や新たなビジネス展開の促進
- 15 その他（具体的に

）

6 「ゆたかな社会」の実現に向けて

設問 26

市では、市民一人ひとりが暮らしの中で心から幸せを感じることができ、あらゆる場所に人々の笑顔があふれている「ゆたかな社会」を、目指すべき理想的なまちの姿と考えています。

将来（概ね20年後）を思い浮かべた時、あなたが考える「理想的なまちの姿」について自由にご記入ください。

長時間にわたりお疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

締め切りの12月2日（水）までに、同封の封筒に封入のうえ、ポストにご投函いただきますようお願い申し上げます。

＜第3次光市総合計画の策定に向けた市民意識調査＞

光市から転出された皆様へ

あなたの声をお聞かせください



調査のお願い

光市では、平成29年3月にまちづくりの指針として策定しました「第2次光市総合計画」が令和3年度に目標年次を迎えることから、現在、令和4年度から令和8年度までの基本的な方向性を示す「第3次光市総合計画」の策定に取り組んでいます。

この調査は、皆様が現在お住まいの場所のことや、光市にお住まいの時に感じておられたことなどをお伺いし、今後の光市のまちづくりに活かしていきたいと考えています。

調査にあたりましては、平成29年4月から令和2年3月までに光市から転出された16歳以上の皆様の中から無作為に抽出した方を対象に、無記名回答方式で実施します。

集計結果は公表させていただく予定ですが、個人に関わる情報が公表されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いします。

令和2年11月

光市

ご記入にあたってのお願い

- ご回答は設問ごとの指示に従い、番号に○印をつけてください。設問によって○印をつける数が異なりますので、間違えないようにご注意ください。
- この調査に、封筒の宛名の方が答えられない場合、ご家族の方がお答えください。
- この調査票は、同封しました返信用の封筒に入れ、**12月2日（水）までに郵便ポストにご投函ください。**
- ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

＜問合せ・連絡先＞

光市 政策企画部 企画調整課 企画係 担当：山本
TEL：0833-72-1407
FAX：0833-74-1041

1 あなた(回答者)ご自身について

設問1 あなたの性別は？

1 男性

2 女性

設問2 あなたの年齢は？

1 10代

2 20代

3 30代

4 40代

5 50代

6 60代

7 70代以上

設問3 あなたの職業は？

〈1つだけに○印〉

1 会社員・公務員など

2 自営業

3 パート・アルバイト

4 専業主婦(夫)

5 学生

6 無職

7 その他(具体的に

)

設問4 あなたの同居家族の構成は？

1 一人暮らし

2 夫婦のみ

3 2世代家族(子どもと)

4 2世代家族(親と)

5 3世代以上の同居家族

6 その他(具体的に

)



2 現在お住まいの場所について

設問5 あなたの現在お住まいの市区町村は？ <名称をご記入の上、該当部分に○印>

() 都・道・府・県 () 市・区・町・村

設問6 現在お住まいの場所は、住みやすいと感じますか？ <1つだけに○印>

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1 とても住みやすい | 2 まあまあ住みやすい | 3 どちらとも言えない |
| 4 やや住みにくい | 5 とても住みにくい | 6 わからない |

※ 1または2を選択した方は **設問6-1** へ、その他の方は **設問7** へお進みください。

設問6-1 現在お住まいの場所が住みやすいと感じる理由（要素）は何ですか？
<あてはまるもの全部に○印>

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 自然環境 | 2 公園・緑地 |
| 3 道路 | 4 交通機関 |
| 5 職場までの距離、働く場所の数 | 6 防犯・防災体制 |
| 7 保育や幼児期の教育 | 8 学校教育 |
| 9 医療・福祉のサービス | 10 買物の便利さ |
| 11 まちのにぎわい | 12 近所のつきあい、地域活動の活発さ |
| 13 その他（具体的に) | 14 わからない・特にない |

⇒ 回答後は **設問7** へお進みください。

設問7 現在お住まいの場所を決定された際に、重視した点は何ですか？

＜あてはまるもの全部に○印＞

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 自然環境が豊か | 2 交通の便がよい |
| 3 仕事がある | 4 安全・安心な場所 |
| 5 保育や幼児期の教育の充実度 | 6 学校教育の充実度 |
| 7 家賃、住宅購入費用 | 8 医療・福祉のサービスの充実度 |
| 9 移住者への助成制度 | 10 買物の便利さ |
| 11 まちの知名度 | 12 近所のつきあい、地域活動の活発さ |
| 13 生まれ育った土地 | 14 ゆかり・関係のある土地（13以外） |
| 15 その他（具体的に | ） 16 わからない・特にない |

設問8 現在お住まいの場所を含めて、転出先を検討される際に参考にした行政サービスは何ですか？

＜あてはまるもの全部に○印＞

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 移住者に対する助成 | 2 子育て世代への助成 |
| 3 二世帯住宅、三世代同居などへの助成 | 4 移住者向けパンフレット、PR動画 |
| 5 移住に関する相談窓口 | 6 移住者向け専用の自治体ホームページ |
| 7 空き家バンク | 8 住宅開発 |
| 9 大規模商業施設の誘致・立地 | 10 保育や幼児期の教育の充実 |
| 11 学校教育の充実 | 12 医療費の助成 |
| 13 医療機関の誘致・立地 | 14 地域コミュニティの充実 |
| 15 市民団体活動、地域活動の支援 | 16 その他（具体的に |
| 17 特にない | ） |

3 光市について

設問 9 光市から転出されることとなった最も大きな理由は何ですか？

<1つだけに○印>

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1 就学・進学のため | 2 就職・転職のため |
| 3 転勤のため | 4 結婚のため |
| 5 妊娠・出産のため | 6 子どもの就学・進学のため |
| 7 親・親族の介護のため | 8 市の行政サービスに不満があるため |
| 9 生活環境がよくないため | 10 その他（具体的に |
| 11 特にない | ） |

設問 10 光市に何年お住まいでしたか？

- | | | | |
|--------|------------|-------------|---------|
| 1 1年未満 | 2 1年以上5年未満 | 3 5年以上10年未満 | 4 10年以上 |
|--------|------------|-------------|---------|

設問 11 光市内でもお住まいを探しましたか？

- | |
|---|
| 1 探したうえで、他市町村に決めた |
| 2 最初から他市町村に住もうと決めていたので、探さなかった |
| 3 転出先の市町村に住むしかなかった（勤務場所が遠方に変った、結婚で遠方に住むことになった などの理由のため） |
| 4 その他（具体的に |
| ） |

設問 12 光市は全体的に住みやすいと感じましたか？

<1つだけに○印>

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| ● 1 とても住みやすい | 2 まあまあ住みやすい | 3 どちらとも言えない |
| ◆ 4 やや住みにくい | 5 とても住みにくい | 6 わからない |

※ 1または2を選択した方は **設問 12-1** へお進みください。※ 4または5を選択した方は **設問 12-2** へお進みください。**設問 12-1** 光市が住みやすいと感じた理由は何ですか？

<あてはまるもの全部に○印>

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 自然環境 | 2 公園・緑地 |
| 3 道路 | 4 交通機関 |
| 5 職場までの距離、働く場所の数 | 6 防犯・防災体制 |
| 7 保育や幼児期の教育 | 8 学校教育 |
| 9 医療・福祉のサービス | 10 買物の便利さ |
| 11 まちのにぎわい | 12 近所のつきあい、地域活動の活発さ |
| 13 その他（具体的に | ） 14 わからない・特にない |

⇒ 回答後は **設問 13** へお進みください。**設問 12-2** 光市が住みにくいと感じた理由は何ですか？

<あてはまるもの全部に○印>

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 自然環境 | 2 公園・緑地 |
| 3 道路 | 4 交通機関 |
| 5 職場までの距離、働く場所の数 | 6 防犯・防災体制 |
| 7 保育や幼児期の教育 | 8 学校教育 |
| 9 医療・福祉のサービス | 10 買物の不便さ |
| 11 まちが寂しい | 12 近所のつきあい、地域活動 |
| 13 その他（具体的に | ） 14 わからない・特にない |

⇒ 回答後は **設問 13** へお進みください。

設問 13 もし機会があれば、また光市に住みたいと思いますか？ <1つだけに○印>

1. 住みたい 2. 住みたくない 3. どちらとも言えない・わからない

※ 1 または 2 を選択した方は **設問 13-1** へ、その他の方は **設問 14** へお進みください。

設問 13-1 **設問 13** で回答した理由を教えてください。 <ご自由に記入してください>

⇒ 回答後は **設問 14** へお進みください。

設問 14 今後、光市が活性化し、(将来的な)人口減少に歯止めをかけるため、より良いまちとなるためには、市としてどのような施策を重点的に進めるべきだと思いますか？
あなたが普段感じていたことを教えてください。 <ご自由に記入してください>

長時間にわたりお疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。
締め切りの 12月2日(水) までに、同封の封筒に封入のうえ、
ポストにご投函いただきますようお願い申し上げます。